



平成 27 年度

清流の国ぎふ

森林・環境基金事業成果報告書

(案)



平成 27 年度 女性のための森と水の写真教室
優秀作品 撮影者：三品悦子さん（坂祝町）

～清流の国ぎふ森林・環境税を活用した平成 27 年度事業の取り組み～

平成 28 年 月

岐 阜 県



清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

岐阜県は、古来、山紫水明の自然に恵まれ、世界に誇る伝統と文化を育んできました。豊かな森を源とする「清流」は、県内をあまねく流れ、里や街を潤しています。そして、「心の清流」として、私たちの心の奥底にも脈々と流れ、安らぎと豊かさをもたらしています。

私たちの「清流」は、飛騨の木工芸、美濃和紙、関の刃物、東濃の陶磁器など匠の技を磨き、千有余年の歴史を誇る鶺鴒などの伝統文化を育むとともに、新たな未来を創造する源になっています。

私たち岐阜県民は、「清流」の恵みに感謝し、「清流」に育まれた、自然・歴史・伝統・文化・技をふるさとの宝ものとして、活かし、伝えてまいります。

そして、人と人、自然と人との絆を深め、世代を超えた循環の中で、岐阜県の底力になり、100年、200年先の未来を築いていくため、ここに「清流の国ぎふ憲章」を定めます。

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知

清流がもたらした
自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創

ふるさとの宝ものを磨き活かし、
新たな創造と発信に努めます

伝

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます



<はじめに>

岐阜県では、「全国植樹祭」（平成 18 年開催）、「全国豊かな海づくり大会」（平成 22 年開催）を契機に、森・川・海のつながりの中での環境保全に対する意識が高まるの中、本県のアイデンティティである「清流」を守り育て、緑豊かな「清流の国ぎふ」づくりを県民協働で推進することが、森林・環境行政に求められてきました。

一方で、適切に管理されない森林や野生動物による農作物被害の増加、外来生物の繁殖、水環境の悪化などが懸念されており、これらを放置すると、私たちの生活も深刻な影響を受ける恐れがあります。

県では、こうした意識の高まりと森林・環境対策の緊要性に鑑み、豊かな自然環境の保全と再生に向けた取組みを推進するため、その恩恵を受けている県民全体で支えていく仕組みとして、平成 24 年 4 月に「清流の国ぎふ森林・環境税」を創設し、「豊かな森づくり」、「清らかな川づくり」、「人づくり・仕組みづくり」の 3 つの分野で様々な事業を展開しています。

本書は、森林・環境税の導入目的や税を活用している事業の内容をはじめ、平成 27 年度に実施した各種事業の実績、効果、評価などについて公表するものです。

ぜひご一読いただき、緑豊かな「清流の国ぎふ」づくりの取り組みに対してご理解とご協力をいただきますとともに、今後さらに効果ある事業推進のため、ご意見、ご提案をお寄せいただければ幸いです。

目 次

はじめに

第 1 章 森林・環境税の考え方	・ ・ ・	1
1 森林・環境をとりまく現状		
2 森林・環境施策の方向性		
3 必要となる施策		
4 必要となる経費		
5 新たな財源の必要性		
6 費用負担の方法		
7 管理方法等		
第 2 章 平成 27 年度事業の実績概要	・ ・ ・	8
1 平成 27 年度事業の実績額及び税収等実績額		
2 平成 27 年度事業の実績量		
第 3 章 各事業の概要と実績・評価	・ ・ ・	12
I 環境保全を目的とした水源林等の整備		
II 里山林の整備・利用の促進		
III 生物多様性・水環境の保全		
IV 公共施設等における県産材の利用促進		
V 地域が主体となった環境保全活動の促進		
I～V 共通		
第 4 章 資料編	・ ・ ・	76
1 平成 27 年度実績総括表		
2 平成 27 年度取組実績一覧		
3 清流の国ぎふ森林・環境税条例		
4 清流の国ぎふ森林・環境基金条例		
5 清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会（規則・名簿）		

第1章 森林・環境税の考え方

1 森林・環境をとりまく現状

日本のほぼ真ん中に位置する本県は、森林面積が866千ha（全国第5位）で、県土面積の82%（全国第2位）を占める全国でも有数の森林県です。また、豊かな森から生まれた清らかな水は、清流となって、県全土にわたり、太平洋と日本海に向かって流れています。

こうした豊かな自然環境は、飲料水や産業活動のための水源保全、県土保全や保健休養など、私たちの身近な生活を支える公益的機能を有しています。

また、二酸化炭素の吸収・固定による地球温暖化の防止や、一度損なわれると再生が困難な生物多様性については、地球規模の環境保全としても重要です。

豊かな森林や清らかな川は、私たちの暮らしに大切な役割を果たし、多くの恵みを与えています。

【さまざまな公益的機能】

- 豊かな水を育み、洪水を和らげます
- 地球温暖化を防ぎます
- 多様な生物を育みます
- 災害（土砂崩れ）を防ぎます
- 安らぎ、潤いを与える生活空間です

しかしながら、こうした恩恵を県民に与えてくれる本県の自然環境は、今まさに危機的な状況にあります。

森林については、木材価格の低迷に伴う木材生産活動の停滞、担い手の不足や高齢化などにより、間伐などの手入れをしていくことが困難になっており、森林の荒廃が進んでいます。

また、都市周辺を含めた里山や里地では、生活様式の変化に伴い、薪や炭などの利用が少なくなり、その結果、手入れが行き届かない

ところが増え、降雨などにより表土が流出し、人家を巻き込んだ土砂災害が発生するとともに、竹の侵入や農作物等への鳥獣被害などが深刻化しています。

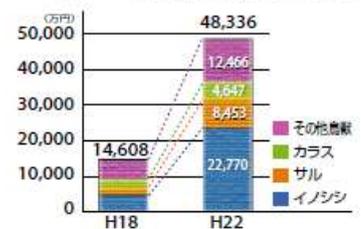
環境保全のため早期に森林整備が必要な面積 3万ヘクタール (H24～H28)



適切に管理されず荒廃した森林 ※県森林整備課調べ

農作物鳥獣被害額の推移

H22年度はH18年度の3倍以上で調査開始以来最高



野生動物による農作物の被害 ※県農村振興課調べ

一方、水質環境基準の類型を指定している県内の河川においては、全て環境基準を達成し、良好な水質が維持されていますが、身近な水環境においては、生活様式の変化に伴い身近な水環境に対する県民の関心が薄れ、ゴミが目立つようになるなど、その良好な景観が損なわれつつあります。

さらに、森林や河川などに生息する野生生物をみると、近年、絶滅の恐れがある野生生物の種類が増加しており、人により持ち込まれた外来種が、地域に生息する野生生物を捕食するなどして繁殖し、地域固有の生態系に影響を及ぼしています。

このように、本県の自然環境は危機的な状況にあり、洪水や土砂災害の多発、水環境の悪化など県民の安全・安心で豊かな生活環境が失われるとともに、地球温暖化や生物多様性の損失など、地球規模の環境にも悪影響を及ぼすことが懸念されています。

岐阜県内において絶滅の危機に瀕している種の例



岐阜県内において生息状況が寄せられた特定外来生物の例

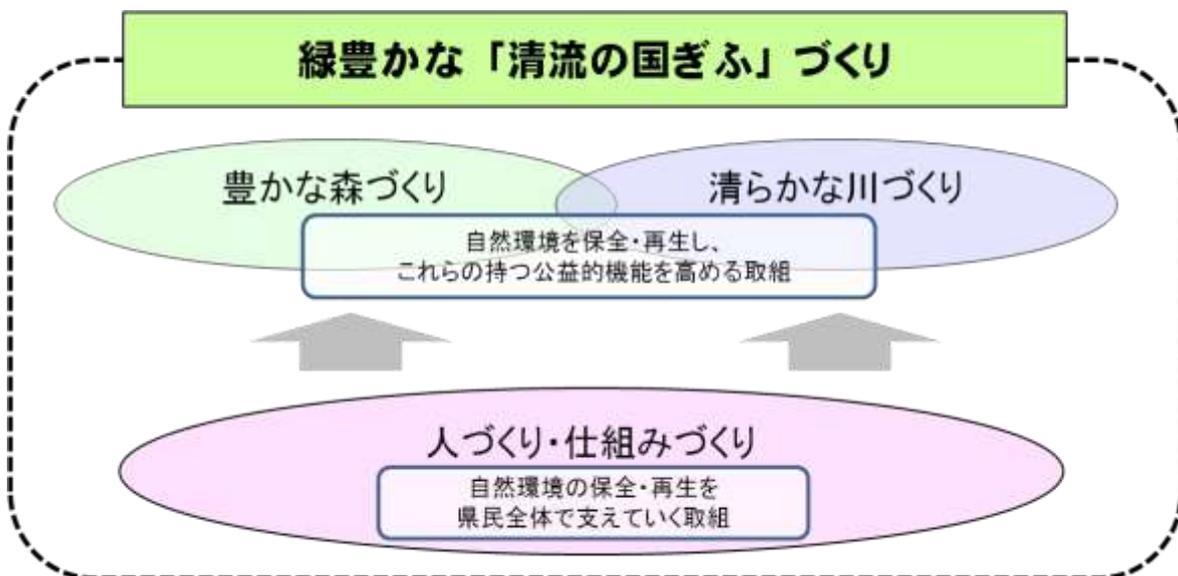


2 森林・環境施策の方向性

平成22年6月に開催した「全国豊かな海づくり大会」で培った、森・川・海のつながりの中での環境保全の意識を継承し、さらに喫緊の課題となっている地球環境の保全にも応えながら、本県のアイデンティティである「清流」を守り育て、緑豊かな「清流の国ぎふ」づくりを県民協働で推進することが、これからの森林・環境行政において求められています。

また、東日本大震災により、改めて自然の恵みを大切にすることや森林をはじめとする自然環境を守っていくことの重要性が高まるとともに、再生可能なエネルギー源の一つである木質バイオマスの関心もますます高まっています。

このようなことから、県土の8割を占める森林や日本海・太平洋にそそぐ河川など、本県の恵まれた自然環境を保全・再生し、これらの持つ公益的機能をより高める取り組みを早急かつ確実に進めること、また、森林や河川は県民の共有財産という認識のもと、これらの持つ公益的機能を県民が将来にわたり享受できるよう、その保全・再生を県民全体で支えていく取り組みを併せて進める必要があると考えます。



3 必要となる施策

(1) 新たな視点に立った施策展開

緑豊かな「清流の国ぎふ」づくりを推進するため、県民の理解のもと、森・川・海のつながりを通じた『環境保全』と『県民協働』という新たな視点に立った施策を展開します。

- 木材生産を目的としたこれまでの林業施策ではない、公益的機能の発揮を重視した森づくりを進めるための施策
- 多様な生物や水環境の保全を進めるための施策
- 地域課題への対応や県民の主体的な参画を促進するための施策

(2) 使途の基本的な考え方

具体的な施策の策定に当たっては、事業効果が広く県民全体に及び、公共性・公益性が高く、事業内容が県民にはっきりと見える事業であることを基本とします。

(3) 具体的施策の内容

具体的施策として、『豊かな森づくり・清らかな川づくり』『人づくり・仕組みづくり』の柱立てのもとに5つの施策とし、その概要については、以下のとおりです。

[具体的施策のイメージ]



(4) 清流の国ぎふ森林・環境税を活用した事業計画
 具体的な施策の概要は、以下のとおりです。

表：清流の国ぎふ森林・環境基金事業 5カ年計画一覧（H24～H28）

施策の区分	森林・環境基金事業名	事業の概要	5年間の必要事業量
I 環境保全を目的とした水源林等の整備	1 環境保全林整備事業	水源林等における間伐を行う市町村等への助成	15,000ha
	1-2 水源林境界明確化促進事業	水源林の機能強化等に必要な境界明確化への助成	400ha
	1-3 県民協働による森の通信簿事業	水源地域内の森林の機能評価活動を行うグループへの助成	11 団体
	2 水源林公有林化支援事業	森林の公有林化を行う市町村への助成	150ha
II 里山林の整備・利用の促進	3 里山林整備事業	里山林整備を行う市町村等への助成	2,600ha
	4 環境保全モデル林整備事業	環境保全モデル林の指定、整備・活用計画の策定	5 箇所
III 生物多様性・水環境の保全	5-1 流域清掃活動推進事業	上下流域一体の河川清掃活動の団体等行う助成等	5 流域
	5-2 流域清掃活動推進事業	上下流域一体の河川清掃活動の団体等行う助成等	5 流域
	6 イタセンパラ生息域外保全推進事業	イタセンパラの生息域外保全の実施	1 箇所
	7-1 野生生物保護管理事業（ニホンジカ）	ニホンジカの個体数調整のための捕獲を行う市町村への助成	市町村の実施計画による
	7-2 野生生物保護管理事業（捕獲オリ・処理設備）	アライグマ等の捕獲オリ及び処理設備の購入を行う市町村への助成	捕獲オリ 500 基 処理設備 50 基
	7-3 野生生物保護管理事業（市町村職員の育成）	有害鳥獣対策に従事する市町村職員の育成の助成	25 人
	8 野生動物総合対策推進事業	鳥獣対策に関する調査研究	1 機関
	9-1 生きものにぎわうため池再生事業	ため池の生態系を回復する外来種駆除等の実施	25 箇所
	9-2 生きものにぎわう水田再生事業	水田魚道の設置の推進（研修会の開催）	5 地区
	9-3 里地生態系保全支援事業（団体支援）	里地生態系を復活させる取り組みを行う団体等への助成	20 地区
	9-4 里地生態系保全支援事業（市町村支援）	里地の生態系保全活動を行う市町村への助成	25 市町村

施策の区分	森林・環境基金事業名	事業の概要	5年間の必要計画量
Ⅲ 生物多様性・水環境の保全	10 河川魚道の機能回復事業	県管理河川の魚道の適切な維持管理の実施	点検：673箇所 修繕：253箇所
	11 地域協働水質改善事業	地域河川の水質問題等に対する地域の取組みへの支援	1 地域
	12 上流域と下流域の交流事業	上流域、下流域の環境を理解するツアーの実施	延べ 75 回
Ⅳ 公共施設等における県産材の利用促進	13 木の香る快適な教育施設等整備事業	教育福祉関連施設等の木造化、内装木質化を行う市町村、関係法人等への助成	65 施設
	14-1 ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業	学校等の机・椅子などの導入を行う市町村等への助成	6,000 セット
	14-2 ぎふの木育教材導入支援事業	ぎふの木を使った教材の導入を行う学校等への助成	250 施設
	15-1 木質バイオマス利用施設導入促進事業	公共施設等の木質バイオマス利用施設の導入を行う市町村等への助成	ボイラー 10 施設 ストーブ 500 基
	15-2 県民協働による未利用材の搬出促進事業	県民協働による未利用材の搬出を行う市町村への助成	20,000 t
Ⅴ 地域が主体となった環境保全活動の促進	16 清流の国ぎふ地域活動支援事業	森、川づくり等環境保全活動を行う団体等への助成	130 件・団体
	17 森と木と水の環境教育推進事業	子どもたちを対象とした環境教育の実施	400 校・園
	18 森から生まれる環境価値普及促進事業	カーボン・オフセットを行う団体への助成等	助成団体 45 団体 普及啓発 一式
	19 エコツーリズム促進事業	エコツアー実施団体等への助成等	助成団体 18 団体 連携会議 5 回
	20-1 生物多様性に係る専門家の派遣事業	生物多様性の専門家派遣	一式
	20-2 清流の国ぎふ森林・環境税事業推進事業	事業評価審議会開催 税の広報 PR 事業	委員会 15 回 計画による
I～V 共通施策	21 清流の国ぎふ市町村提案事業	市町村が提案する事業への助成	提案数による
5 施策	21 事業		

4 必要となる経費

今後必要となる施策を実施するために必要な県費は、今後5年間で約60億円と試算し、単年度平均すると約12億円となります。

(単位：億円)

施 策	今後5年間に想定される必要額	年間必要額
I 豊かな森づくり・清らかな川づくり	55.90	11.18
① 環境保全を目的とした水源林等の整備	25.75	5.15
② 里山林の整備・利用の促進	4.50	0.90
③ 生物多様性・水環境の保全	12.00	2.40
④ 公共施設等における県産材の利用促進	13.65	2.73
II 人づくり・仕組みづくり	4.10	0.82
⑤ 地域が主体となった環境保全活動の促進	4.10	0.82
合 計	60.00	12.00

5 新たな財源の必要性

(1) 施策の緊急性

森林の荒廃などによる公益的機能の低下への危惧が増しており、地球温暖化防止や生物多様性確保への対応も待ったなしの状況にあることを考慮すると、本県の自然環境を保全・再生するためには、これまでの既存の施策に加え、新たな施策を緊急的かつ継続的に行うことが必要な状況にあります。

(2) 県の財政状況

平成21年度から10年間の行財政改革の方向性を明らかにした「岐阜県行財政改革指針」を策定し、行財政改革に取り組んでいます。このうち、特に平成21年度から平成24年度までの4年間で「緊急財政再建期間」と位置づけ、「行財政改革アクションプラン」を策定し、徹底した行財政改革を実行しています。

この期間に、あらゆる角度から現在の財政構造を見直し、アクションプランを着実に実行することにより、起債許可団体から早期に脱却し、構造的な財源不足の解消に向け、持続可能な財政基盤の確立を目指していますが、厳しい財政状況が継続することが想定されます。

(3) 新たな財源の確保

こうした中、これまでの既存の施策に加え、新たな施策を行う場合には、引き続き徹底した行財政改革を行うことを前提に、新たな財源を求めざるを得ない状況にあります。

6 費用負担の方法

(1) 県民税均等割の超過課税方式の採用

本県の恵まれた自然環境の保全、再生を通じて得られる恩恵は、全ての県民が享受していること、また、今後新たに必要となる施策は社会全体で支えていくことを基本的な考え方のもと、県民や企業に広く公平に負担いただく「県民税均等割の超過課税方式」を採用しています。

この方式は、既存の税制度を活用することから仕組みが簡便で、徴税コストも新たな税制度を創設するより安価であるなどのメリットがあります。

さらに、新たな負担は、県民一人ひとりが本県の恵まれた自然環境の価値やそれらを保全・再生することの重要性に対する理解・関心をより一層深め、森づくり・川づくりに積極的、主体的に参画しようとする意識の醸成につながることを期待できます。

《税のしくみ》

●税の名称	清流の国ぎふ森林・環境税
●課税方式	県民税均等割に加算
●納める方	県民税均等割を納めている方
●税率	個人:年額1千円 法人:年額2千円～8万円
●期間	5年間(H24～H28)
●税収見込み	5年間で60億円

(2) 県外下流域からの協力

一方、本県の自然が持つ公益的機能の恩恵は、「水」を通して県外下流域の住民にも広く及ぶものです。

このため、県外下流域から本県の森づくりや川づくりに対して協力が得られる取組みも強化しています。例えば、「ふるさと納税制度」を活用し、県外下流域の方が寄付金を納めていただく際に、森林・環境税の使途事業に充当することを選んでいただく、メニューを新たに設けて、県外下流域の皆さんにこの制度を広く呼びかけています。

7 管理方法等

(1) 基金設置による使途の管理

県民税はその使途を特定されない普通税であるため、そのままでは徴収した税収は既存の普通税と区分されません。

新たな財源として上乗せする税収と既存の税収を区分し、その使途を県民に対して明確にするため、新たに基金「清流の国ぎふ森林・環境基金」を設置し、税収相当額から賦課徴収に要する費用を控除した後の額を積み立てて、毎年度必要となる額を取り崩して施策に充当することとします。

(2) 使途事業実施に伴う透明性の確保

県民意見の反映や事業過程の透明性を確保するため、外部有識者や県民の代表等を構成員とする第3者機関を新たに設置し、使途事業への意見や提案、事業実施後の評価を行います。毎年実施する使途事業の内容及び結果については、県民に対して公表します。

(3) 効果の検証

課税期間中に使途事業の達成状況や効果を検証し、継続等の見直しを行います。

第2章 平成27年度事業の実績概要

1 平成27年度事業の実績額及び税込等実績額

(1) 平成27年度事業実績額

平成27年度は、清流の国ぎふ森林・環境税の税込額等を12億1千390万4千円と見込み、平成25年度の残額3億8千720万3千円から、平成26年度9月補正額の6千555万5千円を除いた額の、15億3千555万2千円で当初計画を立てました。

また、木育の推進のために「清流の国ぎふ森のおもちゃ美術館2015」の開催経費300万円を6月補正予算で、要望の多い里山林整備事業や野生生物保護管理事業に対応するための経費6千643万円を9月補正予算で加え、合計16億498万2千円を計画額として各種の森林・環境基金事業を実施しました。

一方、平成27年度森林・環境基金事業の実績額は13億6千620万5千円で、計画額に比べ、2億3千877万円7千円の残余となりました。

表：平成27年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業 計画額及び実績額一覧

森林・環境基金事業名	計 画 額	実 績 額
1-1 環境保全林整備事業	486,508千円	449,087千円
1-2 水源林境界明確化促進事業	15,170千円	11,502千円
1-3 県民協働による森の通信簿事業	3,000千円	2,866千円
2 水源林公有林化支援事業	24,228千円	21,738千円
3 里山林整備事業	258,868千円	252,162千円
4 環境保全モデル林整備事業	105,000千円	93,241千円 (うち、次年度繰越28,974千円)
5-1 流域清掃活動推進事業	3,300千円	604千円
5-2 流域協働による効率的な河川清掃事業	49,300千円	44,978千円
6 イタセンパラ生息域外保全推進事業	618千円	588千円
7-1 野生生物保護管理事業（ニホンジカ）	92,430千円	45,209千円
7-2 野生生物保護管理事業（捕獲オリ・処理設備）	1,800千円	811千円
7-3 野生生物保護管理事業（市町村職員の育成）	6,500千円	3,083千円
8 野生動物総合対策推進事業	21,248千円	20,982千円
9-1 生きものにぎわうため池再生事業	3,000千円	2,516千円
9-2 生きものにぎわう水田再生事業	4,000千円	2,990千円
9-3 里地生態系保全支援事業（団体支援）	20,200千円	9,584千円
9-4 里地生態系保全支援事業（市町村支援）	8,570千円	8,113千円
10 河川魚道の機能回復事業	50,000千円	49,969千円
11 地域協働水質改善事業	8,673千円	8,484千円
12 上流域と下流域の交流事業	9,997千円	9,154千円
13 木の香る快適な教育施設等整備事業	158,000千円	102,755千円 (うち、次年度繰越30,411千円)
14-1 ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業	31,000千円	28,796千円
14-2 ぎふの木育教材導入支援事業	4,000千円	3,227千円
15-1 木質バイオマス利用施設導入促進事業	35,000千円	27,495千円
15-2 県民協働による未利用材の搬出促進事業	6,400千円	4,493千円
16 清流の国ぎふ地域活動支援事業	23,000千円	19,280千円
17 森と木と水の環境教育推進事業	15,000千円	12,765千円
18 森から生まれる環境価値普及促進事業	5,000千円	3,425千円
19 エコツーリズム促進事業	9,568千円	7,272千円
20-1 生物多様性に配慮した地域づくりの普及推進事業	1,000千円	187千円
20-2 清流の国ぎふ森林・環境税事業推進事業	15,700千円	12,024千円
21 清流の国ぎふ市町村提案事業	125,000千円	106,823千円
合 計	1,604,982千円	1,366,205千円

(注) 最下欄の合計と、個々の事業実績額の合計は合わない。

(2) 平成27年度税収等実績額

平成27年度の税収等実績は12億1千2万7千円で、計画に比べ、387万7千円の減少となりました。

表：税収等実績一覧

区 分	計 画	実 績	増 減
<収入>			
①清流の国ぎふ森林・環境税等	1,213,904千円	1,210,027千円	▲3,877千円
○清流の国ぎふ森林・環境税	(1,213,000千円)	(1,204,726千円)	(▲8,274千円)
○ふるさとぎふ振興寄附金	-	4,693千円	4,693千円
○運用益(利子)	904千円	608千円	▲296千円

(*) 森林・環境税実績内訳(個人県民税：1,008,941,435円、法人県民税：195,785,072円)

(3) 森林・環境基金等の繰越金(残金)の取扱い

平成27年度の森林・環境基金事業の計画に対する残余额2億3千877万円7千円と平成26年度までの残余额の一部1億4千758万3千円の合計から、平成27年度税収等の減少額387万7千円を除いた、3億8千248万3千円が平成28年度以降への繰越金となりました。

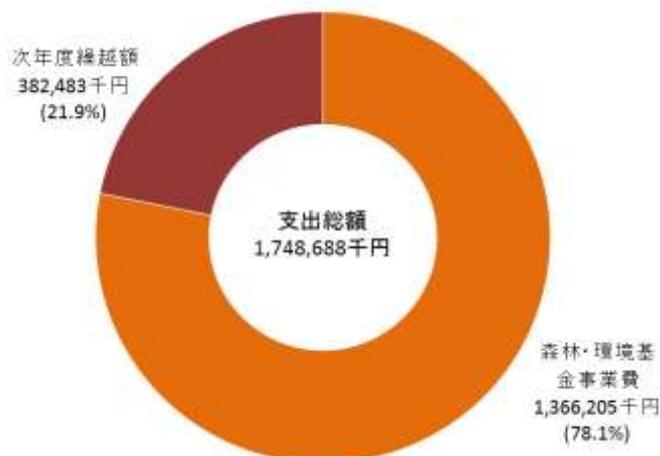
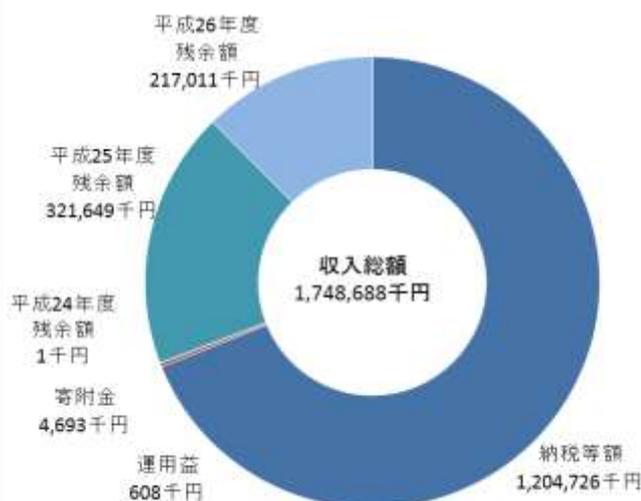
この繰越金については、5年間の事業目標を達成するため、森林・環境基金事業評価審議会の意見を踏まえ、平成28年度の事業に有効活用していくことを基本としています。特に事業実績の低調な事業は、見直し・改善を図っていきます。

区 分	金 額	備 考
平成27年度森林・環境基金事業費の残余额	238,777千円	
平成26年度繰越金の残余额	147,583千円	
税収等減少額	▲3,877千円	
繰越金(基金残金) 合計	382,483千円	

平成27年度 森林・環境基金の収入及び支出実績

収入

支出



2 平成27年度事業の実績量

表：清流の国ぎふ森林・環境基金事業実績量一覧

事業名	平成24年度 実績量	平成25年度 実績量	平成26年度 実績量	平成27年度 実績量	実績量 (累計)	5年間の 計画量
1 環境保全林整備事業	1,633ha	2,181ha	2,643ha	3,382ha	9,839ha	15,000ha
1-2 水源林境界明確化促進事業	— ha	79.33ha	68.21ha	85.33ha	232.87ha	400ha (H25～H28)
1-3 県民協働による森の通信簿事業	— グループ	— グループ	5 グループ	3 グループ	8 グループ	11 グループ
2 水源林公有林化支援事業	4.03ha (白川町)	11.30ha (白川町)	32.85ha (白川町)	25.63ha (八百津町・白川町)	73.81ha (八百津町・白川町)	150ha
3 里山林整備事業	整備：240.83ha 改修：8箇所	整備：454.31ha 改修：9箇所	整備：923.92ha 改修：16箇所	整備：544.44ha 改修：13箇所	整備：2,153.50ha 改修：47箇所	整備：2,600ha
4 環境保全モデル林整備事業	計画：1箇所(美濃市)	計画：1箇所(可児市) 整備：1箇所(美濃市)	計画：2箇所(土岐市、 中津川市) 整備：1箇所(可児市)	計画：1箇所(揖斐川町) 整備：2箇所(土岐市、 中津川市)	計画：5箇所 整備：4箇所	5箇所
5-1 流域清掃活動推進事業	2 流域 (長良川・揖斐川)	3 流域 (長良川・揖斐川・ 土岐川)	3 流域 (長良川・揖斐川・ 土岐川)	3 流域 (長良川・揖斐川・ 土岐川)	3 流域 (長良川・揖斐川・ 土岐川)	5 流域
5-2 流域協働による効率的な河川清掃事業	2 流域 (長良川・揖斐川)	3 流域 (長良川・揖斐川・ 土岐川)	4 流域 (長良川・揖斐川・ 土岐川・宮川)	3 流域 (長良川・揖斐川・ 土岐川)	4 流域 (長良川・揖斐川・ 土岐川・宮川)	5 流域
6 イタセンパラ生息域外保全推進事業	1 箇所 (各務原市内)	1 箇所 (各務原市内で継続)	1 箇所 (各務原市内で継続)	1 箇所 (各務原市内で継続)	1 箇所 (各務原市内で継続)	1 箇所 (各務原市内)
7-1 野生生物保護管理事業(ニホンジカ)	捕獲 1,362 頭	捕獲 1,884 頭	捕獲 5,653 頭	捕獲 2,916 頭	捕獲 11,815 頭	市町村の計画による
7-2 野生生物保護管理事業(捕獲オリ・処理設備)	捕獲オリ 74基 処理設備 2基	捕獲オリ 34基 処理設備 1基	捕獲オリ 35基 処理設備 0基	捕獲オリ 88基 処理設備 0基	捕獲オリ 231基 処理設備 3基	捕獲オリ 500基 処理設備 50基
7-3 野生生物保護管理事業(市町村職員の育成)	1 人	6 人	4 人	7 人	18 人	25 人
8 野生動物総合対策推進事業	1 機関 (岐阜大学)	1 機関 (岐阜大学で継続)	1 機関 (岐阜大学で継続)	1 機関 (岐阜大学で継続)	1 機関 (岐阜大学で継続)	1 機関 (岐阜大学で継続)
9-1 生きものにぎわうため池再生事業	5 箇所	5 箇所	5 箇所	6 箇所	21 箇所	25 箇所
9-2 生きものにぎわう水田再生事業	1 地区 (可児市)	1 地区 (中津川市)	2 地区 (養老町、北方町)	3 地区 (大垣市、海津市、北方町)	7 地区 (北方町、大垣市、海津市、 養老町、可児市、中津川市)	5 地区
9-3 里地における生態系保全事業(団体支援)	4 団体	5 団体	5 団体	5 団体	19 団体	20 団体

事業名	平成 24 年度 実績量	平成 25 年度 実績量	平成 26 年度 実績量	平成 27 年度 実績量	実績量 (累計)	5 年間の 計画量
9-4 里地における生態系保全事業(市町村支援)	4 市町	6 市町	6 市町	6 市町	22 市町村	25 市町村
10 河川魚道の機能回復事業	点検：673 箇所 修繕：33 箇所	点検：672 箇所 修繕：40 箇所	点検：672 箇所 修繕：57 箇所	点検：672 箇所 修繕：99 箇所	点検：672 箇所 修繕：229 箇所	点検：673 箇所 修繕：253 箇所
11 地域協働水質改善事業	1 地域 (輪之内町内)	1 地域 (輪之内町内で継続)	1 地域 (輪之内町内で継続)	1 地域 (輪之内町内で継続)	1 地域 (輪之内町内で継続)	1 地域
12 上流域と下流域の交流事業	延べ 17 回	延べ 16 回	延べ 13 回	延べ 18 回	延べ 64 回	延べ 75 回
13 木の香る快適な教育施設等整備事業	3 施設	9 施設	12 施設	10 施設	34 施設	65 施設
14-1 ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業	688 セット	767 セット	578 セット	1,895 セット	3,928 セット	6,000 セット
14-2 ぎふの木育教材導入支援事業	70 施設	89 施設	51 施設	57 施設	267 施設	250 施設
15-1 木質バイオマス利用施設導入促進事業	ボイラー1 施設 ストーブ 97 台	ボイラー0 施設 ストーブ 5 台	ボイラー0 施設 ストーブ 42 台	ボイラー1 施設 ストーブ 51 台	ボイラー2 施設 ストーブ 195 台	ボイラー10 施設 ストーブ 500 台
15-2 県民協働による未利用材の搬出促進事業	512 t	964 t	2,282 t	2,971 t	6,729 t	20,000 t
16 清流の国ぎふ地域活動支援事業	31 件・団体	36 件・団体	36 件・団体	42 件・団体	145 件・団体	100 件・団体
17 森と木と水の環境教育推進事業	100 校・園	103 校・園	120 校・園	116 校・園	延べ 441 校・園	延べ 400 校・園
18 森から生まれる環境価値普及促進事業	8 団体 普及啓発 一式	7 団体 普及啓発 一式	4 団体 普及啓発 一式	2 団体 普及啓発 一式	21 団体 普及啓発 一式	45 団体 普及啓発 一式
19 エコツーリズム促進事業	4 地域(団体) 連携会議 1 回	5 地域(団体) 連携会議 1 回	5 地域(団体) 連携会議 1 回	5 地域(団体) 連携会議 1 回	19 地域(団体) 連携会議 4 回	18 地域(団体) 連携会議 5 回
20-1 生物多様性に係る専門家の派遣事業	専門家派遣 8 回	地域セミナー 5 回	シンポジウム 2 回 専門家派遣 0 回	シンポジウム 1 回 専門家派遣 0 回	シンポジウム等 8 回 専門家派遣 8 回	別途計画による
20-2 清流の国ぎふ森林・環境税事業推進事業	委員会 3 回 計画による (H24 のみ委員会という 名称)	審議会 3 回 計画による	審議会 3 回 計画による	審議会 3 回 計画による	審議会 12 回 計画による	審議会 15 回 計画による
21 清流の国ぎふ市町村提案事業	66 件	62 件	53 件	48 件	229 件	提案数による

第3章 各事業の概要と実績・評価

I 環境保全を目的とした水源林等の整備

1-1 環境保全林整備事業

(H27 実績額：646,385 千円/H27 予算額：725,588 千円)
(うち、森林・環境基金 H27 実績額：449,087 千円/H27 予算額：486,508 千円)

【事業概要】 水源林、溪畔林、奥山林等における間伐等の助成

【担当課】 林政部 森林整備課

1 事業の目的

- ・既存の林業経営では採算の合わない飲用水や農業用水等の水源地域や渓流域、急傾斜地等の森林の整備・保全を推進するため、間伐等を支援し、環境を重視した森林づくりを推進します。
- ・水源地域周辺や急傾斜地等における森林環境の改善により、森林の公益的機能の維持増進が図られます。

2 事業の内容

- ・市町村森林整備計画で水源涵養機能維持増進森林又は山地災害防止機能/土壤保全機能維持増進森林に区分された水源林、溪畔林等において間伐を実施します。
 - 補助対象者：市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会
森林整備法人、林業事業体、特定非営利活動法人等
 - 補助率：10/10（間伐上限 200 千円/ha、関連条件整備 38 千円/ha）

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値/計画値	H27 年度までの実績値 /5 年間の目標値
間伐面積	5 年間で早期に間伐が必要な森林 62 千 ha のうち、環境保全林 30 千 ha の 1/2 (森林施業計画等が策定されていない森林)	3,382ha/3,500ha *市町村別実施一覧 資料編参照	9,839ha/15,000ha

4 事業担当課における自己評価

- ・目標面積 3,500ha に対して約 97%とほぼ計画通り事業を実施しました。
- ・5 年間の目標値達成に向け、事業執行に努めた結果、前年度実績に対して約 28%、739ha 増加となった点は評価できます。
- ・平成 25 年度に間伐を実施した箇所について、平成 27 年度にモニタリング調査を実施した結果、21 か所中 17 か所で形状比（樹高÷胸高直径）の改善が見られたほか、12 か所では下層植生被覆率（地表から高さ 50cm 以下の植物が地面を覆っている割合）も増加していました。森林環境に改善が見られ、事業の目的を達成しつつあります。

5 事業評価審議会における第三者評価

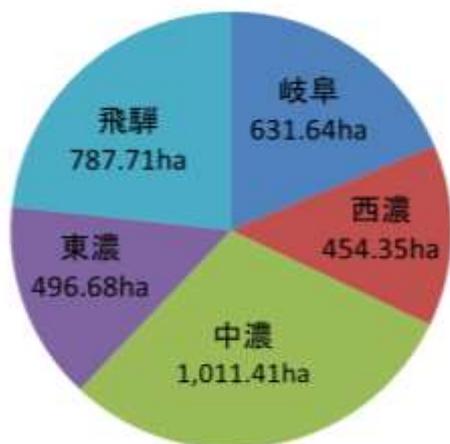
--

6 平成27年度事業の実施状況

29市町村において事業を実施しました。

実施市町村数	実施面積	事業費（千円）	森林・環境税（千円）
29市町村	3,381.79ha	641,496	441,198

（その他事務費 4,889千円）



間伐を実施することで林床に光が入り、下層植生の生育が促進され、健全な水源林等への誘導が期待されます。

また、事業の効果を検証するため、実施後及び3年後と5年後に森林の状況（林内の光環境、林床の被覆状況、土壌の状態など）のモニタリング調査を実施していきます。

平成27年度においては、平成25年度の事業地から22箇所を抽出して、3年後の状況調査を行いました。

実施状況写真



1-2 水源林境界明確化促進事業

(H27 実績額：11,502 千円／H27 予算額：15,170 千円)

【事業概要】 水源林の機能強化等に必要境界の明確化作業等の助成

【担当課】 林政部 治山課

1 事業の目的

- ・水道水源等の周辺上流域の森林であって、境界が不明確な森林において境界を明確にしたうえで、水源かん養や干害防備保安林の指定推進、間伐などの森林整備の促進を図ることにより、重要な水源林の保全を推進します。

2 事業の内容

- ・市町村による重要な水源林における森林境界の明確化を支援します。
 - 補助対象者：市町村
 - 補助率：10／10以内
 - 要件：以下の全てを満たす森林。
 - ①地域森林計画の対象民有林であること。
 - ②地域の重要な水源林であること。
 - ③保安林に指定されることが確実であること。
 - ④国や県、市町村が所有する森林、(独)森林総合研究所や森林公社などが所管する分収林、大企業の所有する森林、国立大学法人が所有する森林ではないこと。
 - ⑤地籍調査事業等により、既に森林境界の明確化が行われた森林ではないこと。

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値／計画値	H27 年度までの実績値 ／5年間の目標値
境界明確化 の面積	市町村からの要望による 推計値	85.33ha／100ha *実施市町村 高山市	232.87ha／400ha (H25~H28 の4年間)

4 事業担当課における自己評価

- ・目標面積に対して約85%の達成率でした。事業実施後の保安林指定によって、法律による伐採制限など一定の制約を受けることに森林所有者が躊躇したことが、事業が進まなかった要因となっています。
- ・ただし、実際に事業が実施された箇所(85.33ha)の約89%(76.03ha)で、森林所有者から保安林指定の同意を得ており、保安林化が進められる見込みです。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

事業主体： 高山市

事業費： 11,475 千円

実施箇所： 高山市荘川町三谷 外1地区

実施面積： 85.33ha

○事業の流れ

1 境界明確化に向けた事前調査



2 境界明確化のための現地調査



3 間伐等の森林整備や保安林の指定に向けた成果の整理

○事業実施状況



地元説明会



現地調査（杭打ち作業）



現地調査（測量作業）



データ整理作業

1-3 県民協働による森の通信簿事業

(H27 実績額 : 2,866 千円 / H27 予算額 : 3,000 千円)

【事業概要】 水源地域内の森林の機能評価活動を行うグループへの助成

【担当課】 林政部 恵みの森づくり推進課

1 事業の目的

- ・水源林の維持のためには、県民等の水源林の保全に対する理解や協力が不可欠なことから、水源林の保全に関する理解の促進が重要です。岐阜県水源地域保全条例の施行を契機として、県内各地域のグループが主役となって水源林の現状認識を行い、水源林を保全していく機運を助長させるとともに、意欲的で模範となるグループを育成します。

2 事業の内容

- ・【補助】 水源地域内の森林において、森林機能の評価に関する活動を行うグループに助成します。
 - 事業主体：NPO、学校、自治会、企業その他グループ
 - 補助率等：10/10以内（1グループあたりの補助金上限額：500千円）
 - 対象森林：岐阜県水源地域保全条例（平成25年岐阜県条例第24号）第13条に基づく水源地域に指定されている森林
- ・【委託】 森林機能の評価に関する活動の指導等を委託し、森の通信簿(*)を作成します。
 - *：森の通信簿とは、簡単な調査手法により、森や川の環境状況を点数化し、森林の健全度を評価するものです。

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値 / 計画値	H27 年度までの実績値 / 5年間の目標値
活動を行う グループ数	意欲的で模範となるグループの育成	3グループ / 3グループ	8グループ / 11グループ (H26~H28)

4 事業担当課における自己評価

- ・当初目標3グループに対して、実績は3グループと計画どおりに実施できました。
- ・県内で特に水源林の指定面積の割合の高い中濃圏域、東濃圏域において実施され、水源林保全活動に取り組むグループを育成することができました。
- ・継続的な実施をしていきたいという意欲を示すグループもあったほか、参加者からは、「参加した子どもたちに、森を守ることがおいしい水を飲むことに繋がることを知ってもらえた」、「点数化することで評価が分かりやすく、また、同じ水源地内においても調査地点により異なることが分かった」などという前向きな意見がありました。
- ・事業を実施することにより、グループ員や一緒に参加した地元住民等に水源林の現状を知っていただくことができ、水源林保全の機運を高めることができました。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

(1) 補助事業

県内3地域の3グループに対して助成を行い、水源地域内の森林において、森の通信簿を活用した水源かん養機能、土砂流出防止機能、生態系保全機能、快適環境機能、木材生産機能の5つの機能に関する調査活動を行うほか、水源林を理解するために必要な研修会等を開催しました。

圏域 (市町村)	グループ名	水源地域の名称 (水道区分・取水状況)	活動内容	森林・環境税
中濃 (郡上市)	高鷲町林業グループ	切立水源 (簡易水道・河川自流)	調査活動2回	403,000円
中濃 (白川町)	特定非営利活動法人 美濃白川どんぐり会	黒川浄水場 (簡易水道・河川自流)	調査活動2回 研修会等3回	500,000円
東濃 (恵那市)	特定非営利活動法人 奥矢作森林塾	岩倉取水 (簡易水道・河川自流)	調査活動4回 研修会等2回	500,000円

(2) 委託事業

森林機能の評価に関する活動を行う3グループの指導を岐阜大学に委託し、調査結果の分析及び大学の有する知見を加えた森の通信簿を作成しました。



水源地域内の下層植生調査 (郡上市)



水源地域内の水質調査 (郡上市)



水源地域内の河川調査 (白川町)



水源地域内の樹木調査 (恵那市)

2 水源林公有林化支援事業

(H27 実績額：21,738 千円／H27 当初予算額：24,228 千円)

【事業概要】 森林の公有林化の助成

【担当課】 林政部 恵みの森づくり推進課

1 事業の目的

- ・水源林の水源涵養機能を保全するため、水道水源等の周辺上流域の森林のうち、荒廃した森林（恐れのある森林含む）で早急に公的な管理が必要な森林を、市町村が公有林化し、適正な管理を推進します。
- ・森林の公有林化により、森林の公益的機能の維持増進が図られます。

2 事業の内容

- ・市町村による水源林の公有林化を支援します。
 - 補助対象者：市町村
 - 補助率：10／10以内（上限は、10,000千円。森林購入後、保安林に指定し、将来にわたり森林として管理する場合、10／10以内。森林購入後、保安林以外の方法で将来にわたり森林として管理する場合、1／2以内）
 - 要件：以下の全てを満たす森林。
 - ①岐阜県水源地域保全条例（平成25年岐阜県条例第24号）第13条第1項の規定により水源地域に指定された森林又は指定される予定の森林
 - ②保安林に指定されることが確実であること又は市町村の条例により公の施設として位置づけられること等、将来にわたって森林の状態が担保されること。
 - ③取得面積が1ha以上の森林であること。
 - ④市町村森林整備計画において、公益的機能別施業森林として位置づけられていること。

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値／計画値	H27年度までの実績値 ／5年間の目標値
公有林化の面積	市町村からの要望による推計値	25.63ha／35ha *実施市町村 八百津町、白川町	73.81ha／150ha

4 事業担当課における自己評価

- ・水源林公有林化事業については、水資源の安定的な確保のための『セーフティネット』としての役割と事業の必要性に対する理解が進んでいます。
- ・27年度は、2町が事業を活用し、2か所で合計25.63haの面積の山林を公有林とすることができました。
- ・公有林化された山林では、保安林化の手続きが進められており、将来にわたり森林として適切に管理される環境整備が進んでいます。
- ・公有林化の推進にあたっては、県民の水源林保全に関する意識の醸成が必要であることから、女性のための森と水の写真教室やショッピングセンターでの写真展を開催した結果、特に、普段水源林とは接点の少ない都市部の地域住民に水源林の魅力や必要性を理解していただくことができました。

5 事業評価審議会における第三者評価

6 平成27年度事業の実施状況

○白川町

所在地：加茂郡白川町字黒川丸山6793-2、6796～6799、6805、
6807、6896

林小班：303イ11～303イ20

森林の現況：普通林（林齢 ヒノキ16～91年生、その他広葉樹57～81年生）

公有林化面積：6.9086ha

○八百津町

所在地：加茂郡八百津町福地字蔵橋1-3～1-12、1-16～1-18、
1-25～1-29、1-31、1-37～1-42、1-48～1-56、
1-96、1-97

加茂郡八百津町福地字菖蒲谷973、974

林小班：108ニ1、108ホ1、108ハ1～108ハ5

森林の現況：普通林（林齢 ヒノキ39～66年生、アカマツ66年生、
その他広葉樹62～66年生）

公有林化面積：18.7206ha



公有林化された森林（八百津町）



上流の水源地域内で約19haの森林が公有化された取水施設（八百津町）

3 里山林整備事業

(H27実績額：252,162千円/H27当初予算額：208,868千円、9月補正後予算額：258,868千円)

【事業概要】集落・農地等周辺の里山林整備の助成

【担当課】林政部 恵みの森づくり推進課

1 事業の目的

- ・野生鳥獣による被害の軽減など地域住民の生活環境の保全や生物多様性の保全を図るため、里山林の整備を支援し、環境を重視した里山づくりを推進します。
- ・住宅街・集落、農地周辺や生活道路沿線の森林整備等が行われることにより、里山林の快適環境形成機能や保健文化機能の維持増進が図られます。

2 事業の内容

- ・市町村森林整備計画で快適環境形成機能増進森林又は保健・文化機能維持増進森林に区分された里山林の各種森林整備事業を支援します。
 - 補助対象：市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、森林整備法人
林業事業体、特定非営利活動法人等
 - 補助率：10/10以内
 - 整備の種類：侵入竹の除去、森林病虫害の防除、広葉樹等の植栽、修景等の環境保全、
不用木の除去、附帯施設整備、既存施設の改修、危険木の除去
バッファゾーンの整備

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値/計画値	H27年度までの実績値 /5年間の目標値
森林整備の面積	里山林128千haのうち、人家、田畑等周辺など、より身近な里山林の整備面積	森林整備544.44ha/600ha 施設改修13箇所/11箇所 *実施市町村 資料編参照	2,163.50ha/2,600ha

4 事業担当課における自己評価

- ・600haの計画に対し544.44haと整備面積は計画をやや下回りました。26年度の雪害をふまえ、選木や対象樹木の状況に応じた整備などに経費と時間が必要な期限木除去が多く実施されたことが要因の一つとなっています。
- ・整備実施後の地域住民に対するアンケート調査結果では、高い満足度を得ることができ、住民から好評を得ています。(結果は次ページ参照)
- ・地域住民から高く評価されており、平成26年度の雪害を踏まえた倒木等の予防対策を引き続き実施するとともに、鳥獣害の被害対策としてのバッファゾーン整備の要望も高いことから、今後も対応が必要と考えられます。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

24市町村において事業を実施しました。

事業種別	事業量	事業費 (千円)	森林・環境税 (千円)
侵入竹の除去	1.28ha	383	383
森林病虫害の防除	(246m ³)	3,527	3,527
広葉樹等の植栽	1.42ha	698	698
修景等の環境保全	31.47ha	3,896	3,896
不用木の除去	415.28ha	81,143	81,143
危険木の除去	21.29ha	66,100	66,100
バッファークーンの整備	73.70ha	49,465	49,465
附帯施設の整備	4箇所	2,247	2,247
既存施設の改修	13箇所	44,529	44,529
計	森林整備 544.44ha 施設改修等 17箇所	251,989	251,989

※事業種別に千円切捨てで記入しているため合計と一致しません。(その他事務費 173 千円)

◇地域住民満足度調査結果について

<調査先> 平成27年度里山林整備事業実施箇所の自治会等 100団体

<調査方法> アンケート形式

<実施期間> 平成28年4月～5月

<調査結果>

- 森林・環境税を活用しての里山林整備：「よかった」96%
- 景観：「美しくなった」96%
- 自然観察や散策、里山の手入れ：「しやすくなった」91%
- 住宅周辺や、学校の通学時の安全・安心：「向上した」78.5%
- 野生鳥獣の住宅等への出没：「減りそう」61.8%、「減りそうにない」9.3%
- 野生鳥獣による農業被害：「減りそう」60%、「減りそうにない」12.6%
- 今後の里山林を地域全体で保全していきたい：「そう思う」94%

バッファークーンの整備（美濃加茂市内）



実施前



実施後

4 環境保全モデル林整備事業

(H27 実績額：93,241 千円 (うち、28,974 千円は次年度繰越) / H27 予算額：105,000 千円)

【事業概要】 環境保全モデル林の指定、整備・活用計画の策定

【担当課】 林政部 恵みの森づくり推進課

1 事業の目的

- ・既存の林業経営では採算の合わない里山林等の整備・保全を推進するため、環境保全モデル林の指定、整備・活用計画策定、森林や施設の整備を行い、環境を重視した森林づくりを推進します。
- ・環境保全モデル林を指定して整備・活用計画を策定します。計画に基づき整備を行い、その後は里山活動団体により継続的な森林整備や森林資源の利活用が図られます。

2 事業の内容

- ・環境保全モデル林の指定
- ・整備・活用計画の策定
- ・整備の実施

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値/計画値	H27 年度までの実績 値/5 年間の目標値
環境保全モデル林の指定	多様な里山の取り組みを広めるため、モデル的な取り組みを5箇所設定	1 箇所/1 箇所 *実施箇所 揖斐川町	5 箇所/5 箇所

4 事業担当課における自己評価

<平成 24 年度選定 美濃市古城山>

- ・カブトムシのすみか作りのイベントなど、年間 40 回以上の体験プログラムが企画され、延べ 1,000 人以上が参加しました。
- ・また、広葉樹林整備、枯損木伐採など森林整備も定期的に行われ、当初策定した整備・活用計画に則した形で環境教育、森林環境整備のフィールドとしての利活用が進められています。
- ・労働金庫連合会の森林環境活動支援「ろうきん森の学校」に選定され、今後 10 年活動支援を受けることができるようになり、さらなる発展が期待されます。

<平成 25 年度選定 可児市我田の森>

- ・平成 27 年 5 月にオープンし、以前よりも活発な活動を進め、平成 27 年度中には延べ 4,200 人以上の入り込み者数がありました。地元の親子から一般成人を対象にした幅広いイベントを開催し、着実に当該モデル林の認知度を高めています。

<モデル事業全体>

- ・平成 27 年度選定の揖斐川町城台山は、揖斐城址を中心とした歴史・文化の体感を核とした里山利用が計画されています。選定済みの箇所と合わせ、地域の資源と里山を結び付け、相乗効果を得る里山利活用のモデル確立が期待されます。今後、こうしたモデルの県全域への普及を図っていく必要があります。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

【第5号揖斐川町城台山】

○モデル林の概要

	第5号 揖斐川町城台山
場所	揖斐郡揖斐川町三輪 (揖斐総合庁舎の北)
面積	38.12ha
現況	ヒノキ、アカマツの針葉樹、コナラ、アベマキ等の広葉樹が植生する。林内は急峻で樹木が大きい。人家に隣接した森林。

○整備・活用計画の概要

コンセプト	ふるさとの歴史を学び 多世代交流や体験、遊びを通じて 子どもたちが育つ里山“揖斐川町城台山”
想定利用者	10,900人/年
活動計画	環境学習プログラム(柿渋染め体験など)、里山体験プログラム(森林作業や薪づくりなど)の提供。散策の場として、また、子どもや学生の歴史教育や遊び場として活用。
必要な整備	遊歩道の 신설、改修。施設(管理棟、展望休憩施設、標識、樹園地など)。竹の伐採等の森林整備。



整備・活用計画策定会議



現地調査の様子



現地調査の様子

【第3号土岐市高山城跡の森】

施設整備

- ・歩道 計486.1m、作業道 計407.3m
- ・作業小屋一棟、東屋一棟、バイオトイレ二基など



東屋

【第4号中津川市加子母福崎の森】

施設整備

- ・遊歩道・木馬道 計1,261m
- ・作業道 計755m
- ・作業小屋一棟、バイオトイレ二基
- ・薪小屋一棟、木材搬出架線一式など



木材搬出架線



木馬道

5-1 流域清掃活動推進事業

(H27実績額：604千円／H27予算額：3,300千円)

【事業概要】 上下流域が連携した河川清掃活動への支援（団体支援）

【担当課】 環境生活部 自然環境保全課

1 事業の目的

- ・流域で活動する環境保全団体等と関係機関が連携し、流域全体に着目した河川清掃活動に取り組むことにより、流域ごとの河川清掃モデルの確立と県民の河川環境保全意識の向上を図ります。

2 事業の内容

①流域協働を目指したネットワークづくり

- ・県内5流域（長良川、揖斐川、木曾川・飛騨川、土岐川・矢作川、宮川・庄川）について、流域全体をカバーする協働体の形成を目指し、核となる団体の掘り起しやネットワーク化を推進します。

②河川清掃活動の実施（補助金）

- 補助対象者：NPO法人、地域団体等（1団体／流域）
- 補助率：10／10（補助金の上限額1,000千円）
- 補助期間：3年間

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値／計画値	H27年度までの実績値 ／5年間の目標値
対象流域数	県内の主要河川流域における上下流域が連携した河川清掃活動の実施数	3流域／5流域 *実施流域 長良川、揖斐川、土岐川	3流域／5流域

4 事業担当課における自己評価

- ・長良川流域では、清掃地点数は昨年度より3地点減った4地点（郡上市、関市、岐阜市、桑名市）となりましたが、約20団体と連携して河川清掃を実施し、ゴミ回収量も合計で約4トンに到達することができました。
- ・揖斐川流域では、昨年度より2地点増えた計12地点（揖斐川町、池田町、大野町、大垣市垂井町、養老町）で、約200団体と連携して河川清掃を実施し、合計で約2トンのゴミを回収することができました。
- ・土岐川流域では、昨年度より2地点増えた計5地点（多治見市、土岐市、瑞浪市）で、13団体と連携し河川清掃を実施し約210kgのゴミを回収することができました。
- ・木曾川・飛騨川流域及び宮川・庄川流域においては核となる団体の掘り起しを進めていますが、現在まで見つかっていません。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

① 長良川流域

- ・ NPO法人長良川環境レンジャー協会を中心に他 20 団体が連携した河川清掃を支援
- ・ 開催日：平成 27 年 11 月 14 日（土）、15 日（日）
- ・ 実施場所：郡上市、関市、岐阜市、桑名市 4 地点
- ・ 参加人数：各会場合計 約 220 人、ゴミ回収量合計：約 3,800 k g

② 揖斐川流域

- ・ NPO法人いびがわみずみずエコステーションを中心に他 200 団体が連携した河川清掃を支援
- ・ 開催日：平成 27 年 5 月 31 日（日）
- ・ 実施場所：揖斐川町、池田町、大野町、大垣市（上石津、墨俣）、養老町、垂井町 12 地点
- ・ 参加人数：各会場合計 約 2,500 人、ゴミ回収量合計：約 2,000 k g

③ 土岐川流域（補助先：NPO法人明るい未来のある地域づくりを進める会）

- ・ NPO法人明るい未来のある地域づくりを進める会を中心に他 12 団体が連携した河川清掃を支援
- ・ 開催日：平成 27 年 10 月 18 日（日）
- ・ 実施場所：多治見市、土岐市、瑞浪市 5 地点
- ・ 参加人数：各会場合計 約 141 人、ゴミ回収量合計：約 210 k g



長良川流域（岐阜市）



揖斐川流域（揖斐川町）



土岐川流域（多治見市）



回収したゴミの一部

5-2 流域協働による効率的な河川清掃事業

(H27 実績額：44,978 千円／H27 予算額：49,300 千円)

【事業概要】 上下流域が連携した河川清掃活動の実施（県実施）

【担当課】 県土整備部 河川課

1 事業の目的

- ・流域の環境保全団体等が連携し、流域全体に着目した河川清掃活動に取り組むことにより、流域ごとの河川清掃モデルの確立と県民の河川環境保全意識の向上を図ります。
- ・上下流の地域住民が協働し、流域全体で清掃活動に連帯して取り組むことができる環境を整えます。

2 事業の内容

- ・流域が一体となった効率的な河川清掃モデルを確立するため、流域清掃活動推進事業団体と協働し、河川管理者としての河道内樹木の伐採・除去や、不法投棄廃棄物等の回収を行います。

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値／計画値	H27 年度までの実績値 ／5年間の目標値
実施流域数	県内の主要河川流域における NPO や地域住民と連携した河道内樹木除去等の実施数	3 流域／5 流域 *実施流域 長良川、揖斐川、土岐川	4 流域／5 流域

4 事業担当課における自己評価

- ・流域の NPO 団体、自治体及び自治会等の要望を聞きながら、多くの箇所での清掃を実施することができました。
- ・土木事務所と清掃を実施する NPO 団体が打合せを行うだけでなく、要対策箇所について現地確認を行いました。
- ・今後は、実施エリアの拡大や、当事業と NPO が連携して活動できる箇所の拡大等を図っていく予定です。

5 事業評価審議会における第三者評価

6 平成27年度事業の実施状況

27 河川、47 箇所 of 県管理河川において、河道内樹木の伐採・除去や、不法投棄廃棄物等の回収を実施しました。

実施項目	実施内容	実施量
環境整備要望対応河川数	要望を受け環境整備を実施した河川数	27 河川
環境整備要望対応箇所数	要望を受け環境整備を実施した箇所数	47 箇所
環境整備実施面積	要望を受け樹木を伐採・除去した面積	106,297 m ²
環境整備での回収量	回収した不法投棄廃棄物等の量（木くず）	924 m ³
環境整備での回収量	回収した不法投棄廃棄物等の量（鉄くず）	20 m ³



長良川（岐阜市長良古津） 施工前



長良川（岐阜市長良古津） 施工後



桂川（揖斐川町） 施工前



桂川（揖斐川町） 施工後

6 イタセンパラ生息域外保全推進事業

(H27 実績額 588 千円/H27 予算額 : 618 千円)

【事業概要】 イタセンパラ（種の保存法の国内希少野生動物種）の生息域外保全

【担当課】 環境生活部 自然環境保全課

1 事業の目的

- ・ 県水産研究所に鉄筋コンクリート製保存池（約 140m²）を整備し、産卵母貝（イシガイ）を含めた総合的な飼育繁殖技術に関する研究を行いながら、野生復帰に向けた木曽川産イタセンパラの維持・繁殖を推進します。
- ・ 木曽川産イタセンパラの野生絶滅を回避することができるとともに、イタセンパラの繁殖等の生態（淡水二枚貝に産卵する等）を通じて、生物多様性保全に関する県民の理解を促進します。
- ・ 産卵母貝を含めた総合的な飼育繁殖技術を確立することで、県内に生息する他のタナゴ類や希少な淡水二枚貝の保護に役立てます。

2 事業の内容

- ・ イタセンパラの自然産卵による効率的な繁殖技術の開発（H25 年度～）
- ・ イタセンパラが産卵基盤として利用する二枚貝（イシガイ）の長期間飼育技術及び人為環境下での再生産技術の開発（H24 年度～）

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値/計画値	H27 年度までの実績値 / 5 年間の目標値
飼育繁殖技術の確立数	総合的な飼育繁殖技術の確立（産卵母貝を含む）	－件 / 1 件 （実施継続中）	1 件 / 1 件（継続中）

4 事業担当課における自己評価

- ・ H27 年度の繁殖率は、H26 年秋の親魚 80 尾に対して、H27 年春に浮上した稚魚が 404 尾で、505%となり、繁殖技術の確立が確認できました。
- ・ 当該事業により人為飼育下での繁殖技術が確立され、野生復帰用個体の量的確保が可能になったことから、環境省中部地方環境事務所が策定する「木曽川水系イタセンパラ保護増殖事業実施計画書」に具体的な野生復帰の時期（H28～29）が記載され、「木曽川水系イタセンパラ放流ガイドライン（案）」が示されました。
- ・ 個体の量的確保が可能となったこと、また、環境省等関係省庁の協力を得られたことから、次年度の繁殖に用いない成魚を羽島市立図書館、国土交通省木曽川上流河川事務所、OKB ぎふ清流アリーナ（農業フェスティバル）等で生体展示を通じ、絶滅危惧種の保存に関する啓発を行うことができました。

5 事業評価審議会における第三者評価

6 平成27年度事業の実施状況

① イタセンパラの自然産卵による効率的な繁殖技術の開発

- ・昨年度の繁殖試験の結果、過産卵による産卵母貝の死亡が稚魚の泳出数に与える影響が高いことが観察されました。このため、イタセンパラとイシガイの最適な同時収容期間を検討するため、1週間、2週間、3週間、6週間と4つの試験区ごとに、産卵後の貝の死亡、貝からの稚魚の泳出等への影響について評価しました。(平成26年度からの継続調査)
- ・試験の結果、同時収容期間を1週間とすることが、貝への過剰産卵のおそれが少なく、結果的により多くの稚魚を泳出させることができると判断しました。
- ・1つのイシガイからは、最大、40尾の稚魚が泳出しました。
- ・平成27年秋季の第4世代の作出に当たり、これまでの結果から、産卵母貝の底質材料として“容器”を用い、イタセンパラとイシガイの同時収容期間を1週間と決めて、9月半ばから6週間、産卵母貝を毎週交換して産卵させました。



② 産卵母貝（イシガイ）を開けずにイタセンパラの産卵を確認する方法の開発

- ・イタセンパラがイシガイに産卵したことを確認する方法として、イシガイを開口させて観察する方法がありますが、貝に対するストレスが大きく、早期に死亡してしまうことがしばしば認められます。そこで貝の中のイタセンパラの卵や仔魚から遊離する微量なDNA断片を検出する技術、いわゆる“環境DNA分析”を応用した新たな確認方法の開発を、龍谷大学との共同研究により目指しています。
- ・今年度の予備試験では、あらかじめ開口して確認した産卵されていない貝と産卵された貝を用い、貝の中から遊離するイタセンパラのDNAをリアルタイムPCRにて増幅した結果、産卵状況の確認が可能であることが確認できました。



③ 水産研究所において繁殖させたイタセンパラを活用した啓発事業

- ・昨年度の繁殖試験では、9月中旬に池内のイタセンパラを全て捕獲、計数した結果、404尾（平成26年度1,201尾）の生息を確認し、成熟期までの繁殖率は、505%（導入親魚数80尾）となりました。
- ・昨年度繁殖させた1201尾の第2世代、及び今年度繁殖させた第3世代のうち次世代作出に必要な尾数以外のイタセンパラは、希望により、県内はもとより、愛知県でも各地で生体展示用として活用されました。
- ・自然繁殖個体の生息する羽島市では、羽島市立図書館で市民向けの希少魚保護のシンボルとして8月20日から平成28年3月末まで生体展示され、水産研究所が飼育に協力しました。



7-1 野生生物保護管理事業（ニホンジカ）

（H27実績額：84,559千円／H27当初予算額：104,400千円、9月補正後予算額136,350千円）
 （うち、森林・環境基金 H27実績額45,208千円／H27当初予算額：80,000千円、9月補正後予算額：92,430千円）

【事業概要】ニホンジカの個体数調整のための捕獲に係る助成

【担当課】農政部 農村振興課 鳥獣害対策室

1 事業の目的

- ・個体数調整を目的としたニホンジカの捕獲を実施することで、農林業や生活環境等への被害軽減を図ります。

2 事業の内容

- ・市町村が作成する実施計画に基づくニホンジカの捕獲に対する経費を支援
 - ①捕獲従事者への日当（5,000円／日を上限）
 - ②捕獲された個体数に応じた報償（10,000円／頭を上限）
 - ③捕獲事業の安全確保、住民への周知に必要な消耗品費（上限200千円）
- ・「鳥獣捕獲等事業者育成事業」に係る経費（上限300千円）
- ・「わな捕獲を中心としたモデル事業」に係る経費（上限1,200千円）
- ・わな捕獲技術向上研修会の開催
- ・「指定管理鳥獣捕獲等事業」にかかる経費

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値／計画値	H27年度までの実績値 ／5年間の目標値
捕獲報償	期待する捕獲効率とメス捕獲のインセンティブから想定	オス・メス計 2,916頭／3,100頭	13市町／市町村の実 施計画による

4 事業担当課における自己評価

- ・ニホンジカの個体数調整捕獲が13市町で実施され、2,916頭を捕獲することができました。
- ・捕獲頭数は26年度と比較すると2,737頭の減ですが、26年度は積雪が多かったため、エサを求めて里に下りてくる個体が多く、捕獲が容易になったことで、捕獲頭数が狩猟、有害捕獲含め、例年以上に増加したことによるものと考えられます。一方、25年度の捕獲頭数と比較すると1,032頭の増となり、捕獲圧を高めることができています。
- ・モデル事業および認定鳥獣捕獲等事業者育成事業については、意欲のある地区や事業者への情報提供を積極的に行い事業の拡大を目指します。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

(1) ニホンジカの個体数調整捕獲の実施

今年度は近年生息頭数の増加が推察される飛騨南部（高山市）、中濃東部（七宗町、白川町）でも事業が実施され、事業を実施した13市町で合計2,916頭を捕獲することができました。

(2) 鳥獣捕獲等事業者育成事業

鳥獣捕獲等事業者となることを希望する法人に対し、備えなければならない技能や知識といった専門的な体制を構築するために必要な経費について助成を行いました。

27年度には1法人が助成を受けました。今後は、地域の鳥獣管理を担う専門集団として捕獲等の活動が行われることが期待されます。

(3) わな捕獲を中心とした捕獲体制整備モデル事業

5市町7地区に対し支援を行い、各地区で行われた研修会に210人が参加し、合計154頭のニホンジカを捕獲することができました。

(4) わな捕獲技術向上研修会の開催

くくりわなによる先進的な捕獲技法の普及を目的とした研修会を県内3か所で開催し、141人のわな免許所持者が参加しました。

(5) 指定管理鳥獣捕獲等事業の実施

国が指定した指定管理鳥獣（ニホンジカ）について、集中的かつ広域的に管理するため岐阜県猟友会へ委託し、捕獲を実施しました。

- 実施区域 郡上市・下呂市の市境
恵那市
中津川市
- 捕獲期間 平成27年11月～平成28年3月
(各地区42日間程度)
- 捕獲対象 ニホンジカ
- 捕獲方法 わな猟（くくりわな）
(3地区合計：860基設置)

<ニホンジカの個体数調整捕獲実績>

	捕獲頭数	H27年度から実施
山県市	106	
本巣市	264	
大垣市	30	
養老町	50	
垂井町	10	
揖斐川町	650	
池田町	99	
七宗町	145	○
白川町	48	○
関市	218	
郡上市	774	
高山市	94	○
下呂市	428	
計	2,916	



わな捕獲を中心とした捕獲体制モデル事業
集落環境点検の様子
(郡上市提供写真)



わな捕獲技術向上研修会（実技研修）
(高山会場の様子)

7-2 野生生物保護管理事業（捕獲オリ・処理設備）

（H27実績額：811千円／H27予算額：1,800千円）

【事業概要】 特定外来生物捕獲用のオリ及び処理施設の購入費の助成

【担当課】 農政部 農村振興課 鳥獣害対策室

1 事業の目的

- ・特定外来生物であるアライグマやヌートリアの捕獲を推進し、農業等への被害低減を図ります。

2 事業の内容

①補助対象者：市町村

補助率：・捕獲オリの購入費補助

1／2（上限13,000円／1基）

・処理設備（二酸化炭素による殺処分機）の購入費補助

1／2（上限50,000円／1基）

②補助対象者：NPO法人等

補助率：・捕獲オリの購入費補助

10／10（上限26,000円／1基）

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値／計画値		H27年度までの実績値 ／5年間の目標値
		市町村	NPO法人等	
捕獲オリ	アライグマ、ヌートリア 生息地域での捕獲をより 推進するための算定値	58基 ／50基	30基 ／25基	231基／500基
処理設備	動物愛護の面から適切な 殺処分が実施できる体制 整備ための算定値	0基 ／10基	補助対象外	3基／50基

4 事業担当課における自己評価

- ・従来から、市町村が購入したオリを住民に貸し出す等の取組みが行われてきましたが、より広く多様な取組みを進めるため、NPO団体等に補助対象を広げたこと、これまでの最大値である74基を上回る88基の導入数があり、捕獲体制の充実が図られました。
- ・本事業で購入したオリにより、アライグマ52頭（市町：50頭、NPO法人等：2頭）、ヌートリア64頭（市町：41頭、NPO法人等：23頭）計116頭を捕獲することができました。
- ・今年度より実施したNPO法人等に対する補助により購入されたオリはすべて稼働し、捕獲の推進に貢献できました。

5 事業評価委員会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

(1) 捕獲オリの購入数

市町村	購入数
岐阜市	20
羽島市	4
各務原市	3
岐南町	5
笠松町	5

団体等	購入数
ぎふハンターネットワーク (岐阜圏域・西濃圏域)	20
金華山えこねっと (岐阜市)	10
計	30

合計	88 基
----	------

富加町	6
多治見市	15
計	58

(2) 購入した物品の活用

市町においては、市町が住民に捕獲オリを貸し出したり、職員が捕獲オリを設置し、NPO法人等においては、構成員が捕獲オリを設置することで、特定外来生物であるアライグマやヌートリアの捕獲を実施しています。

住民に貸し出す場合には、捕獲に関する研修を受講いただくことを基本としており、安全に捕獲活動が行われるように留意しています。



捕獲オリと捕獲されたヌートリア
(ぎふハンターネットワーク提供)



捕獲オリと捕獲されたアライグマ
(岐阜市提供)

7-3 野生生物保護管理事業（市町村職員の育成）

（H27実績額：3,083千円／H27予算額：2,500千円、9月補正後予算額：6,500千円）

【事業概要】市町村職員が有害鳥獣捕獲に従事するための銃所持などに係る助成

【担当課】農政部 農村振興課 鳥獣害対策室

1 事業の目的

- ・農林業や生活環境被害の拡大に伴う有害鳥獣捕獲に対応できる市町村職員を育成し、従事者の減少に対応できる体制づくりを推進します。

2 事業の内容

有害鳥獣捕獲従事者の育成を支援します。

○補助対象者：市町村

○補助率：10／10（上限500,000円／人）

- 補助の内容
- ・銃猟免許の新規取得に係る費用
 - ・猟銃の所持許可に係る費用
 - ・銃器等の購入に係る費用

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値／計画値	H27年度までの実績値 ／5年間の目標値
育成人数	有害鳥獣捕獲に従事する銃所持者の減少に対応できる市町村の体制づくりを支援する必要人数	7人／5人	18人／25人

4 事業担当課における自己評価

- ・6市町（山口市、美濃加茂市、七宗町、中津川市、飛騨市、下呂市）で事業を実施し、計7名の捕獲従事者を育成することができました。
- ・平成24～26年度に本事業により育成された従事者は、現在、有害捕獲隊の一員として活動に従事し、地域の捕獲体制整備の一翼を担っています。
- ・平成27年度育成された職員も、有害捕獲隊としての活動が見込まれます。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

(1) 職員の銃猟免許取得を実施した市町村

市町	育成職員数
山田市	2名
美濃加茂市	1名
七宗町	1名
中津川市	1名
飛騨市	1名
下呂市	1名
計	7名

(2) 職員の活動状況

平成24～26年度に本事業を活用した銃猟免許を取得した職員は、有害捕獲隊の一員として地域の見回り、捕獲および捕獲個体の止めさし等を実施し、地域の捕獲活動に従事しています。

平成27年度に銃猟免許を取得した職員は、平成28年度から有害捕獲隊員として、地域の鳥獣被害防止に貢献すべく活動をしていきます。



ニホンジカの捕獲

(中津川市提供：平成24～27年度実施)



クマの出没に際し合掌集落を警戒する職員

(白川村提供：平成25年度実施)

8 野生動物総合対策推進事業

(H27 実績額：20,982 千円／H27 予算額：21,248 千円)

【事業概要】野生動物保護管理体制及び被害対策の課題と解決策に関する調査研究等の実施
 【担当課】環境生活部 自然環境保全課

1 事業の目的

- ・県鳥獣保護行政と緊密な連携のもとに地域ごとの野生動物問題に取り組む「鳥獣対策研究部門」を岐阜大学に設置します。
- ・従来の個別の事業による縦割りの関係ではなく、県鳥獣被害対策本部を中核とした野生動物総合対策を推進する上で不可欠なシンクタンク機関としての役割を担います。
- ・鳥獣被害対策に対する専門家の養成を図ります。

2 事業の内容

(1) 事業主体：国立大学法人岐阜大学（寄附研究部門）

(2) 取組内容

- ①被害問題が大きい野生動物（哺乳類）に関する調査・研究
 - ・野生動物に関する情報収集（実態把握）、科学的データの収集・蓄積・分析による分布予測及び政策提言
- ②施策の企画立案の支援
 - ・各特定鳥獣保護管理計画の見直し支援、モニタリング手法の提案、課題の明確化
- ③現場対応の技術的支援
 - ・県事務所環境課、農林事務所、市町村担当者、地域住民への現場対応の支援
- ④人材育成
 - ・県・市町村担当職員の研修、狩猟者の確保と育成、県民向けセミナー等の開催による合意形成支援、相談窓口の設置

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値／計画値	H27 年度までの実績値 ／5 年間の目標値
研究課題の実施数	被害対策及び人材育成の課題を研究	6 課題／6 課題 (実施継続中)	6 課題／6 課題
政策提案数	鳥獣害対策事業への提言	6 提案／6 提案	24 提案／県の取組事業数による

4 事業担当課における自己評価

- ・岐阜大学において、5ヶ年で取り組む6つの研究課題について、26年度に引き続き6課題の全てに対して取り組みが行われました。
- ・平成27年度に県が行った野生鳥獣関係事業の6事業（捕獲技術普及・集落ぐるみ対策支援・人材育成講座・ジビエ利活用・鳥獣害対策月間・特定鳥獣保護管理計画）について、岐阜大学から内容改善につながる提案・情報提供が行われました。
- ・平成27年度の研究成果と次年度の研究計画を県関係部（環境生活部・農政部・林政部）へ報告した結果、県の関連施策へ反映されました。

5 事業評価審議会における第三者評価

6 平成27年度事業の実施状況

(1) 被害・問題が大きい野生動物（哺乳類）に関する調査・研究

○寄附研究部門の研究課題（6課題）

- ① 野生動物管理の現状と課題に関する研究（H27 狩猟者意識調査）
- ② 理想的な野生動物管理システムに関する研究（H27 集落ぐるみ対策支援）
- ③ 効果的な野生動物管理手法に関する研究（H27 誘引誘導型捕獲法の普及）
- ④ 野生動物保護管理に係わる事業に対する施策提言（H27 各研究課題に基づく提言）
- ⑤ 野生動物管理の人材育成プログラムの策定と普及（H27 サテライト授業の実施）
- ⑥ 県内教育機関との連携による教育の充実と活性化（H27 教員免許講習の講座実施）

(2) 施策の企画立案の支援

○施策等の現状把握と課題の洗い出し

- ・ニホンジカによる森林下層植生衰退度調査を終え、県内全域にシカの分布が拡大していることを明らかにし、個体数調整事業の対象地域拡大を提案するなどの政策提案を行いました。

(3) 現場対応の技術的支援

○現場における被害防止対策・捕獲対策に関する活動支援

- ・「わな捕獲モデル事業」において、モデル集落の住民に対して、集落点検、センサーカメラを使った観察方法、捕獲に関する各種制度の説明などの指導を行いました。
- ・「わな捕獲技術向上研修会」において、誘引誘導型捕獲法の技術指導を行いました。

(4) 人材育成

○人材育成に関わる講習会

- ・野生動物捕獲の手法と体制論、鳥獣行政における専門家配置のあり方などについて、県民、県職員、市町村職員、捕獲従事者などを対象に、講習会を開催しました。
- ・野生動物管理学の科目について、一般公開授業の開催や教員免許更新講習の選択科目に組み入れるなど、野生動物に関わる基礎知識の普及を図りました。

○野生動物の生態や農作物被害防止対策研修会等への講師派遣

- ・野生動物の生態、農作物被害防止対策について、県・市町村・農業協同組合・農業共済職員を対象に、県林政部・森林管理署職員研修会などに講師を派遣しました。



シンポジウム H27. 8. 30
「新米猟師のための 超速！捕獲技術向上法」



わな捕獲技術向上研修の指導
H27. 11. 29



教員免許状更新講習 H27. 6. 28
「野生動物の管理学について」

9-1 生きものにぎわうため池再生事業 ※里地里川における生態系保全事業

(H27実績額：2,516千円／H27予算額：3,000千円)

【事業概要】ため池に生息する外来種の駆除の実施

【担当課】農政部 農地整備課

1 事業の目的

- ・ため池に生息する外来種を駆除することにより、里地の生態系の保全を図るモデル的な取り組み等を推進します。

2 事業の内容

- ・生きもの調査
- ・外来種の捕獲、駆除作業
- ・外来種の放流防止対策

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値／計画値	H27年度までの実績値 ／5年間の目標値
実施箇所数	モデル的な取り組みとして、目標値を設定 (ぎふ農業農村整備アクションプラン目標値)	6箇所／5箇所	21箇所／25箇所

4 事業担当課における自己評価

- ・本事業の実施にあたり、地元関係者には事業の意義を理解していただき事前準備及び当日の捕獲作業を、委託事業者には捕獲作業の計画策定や、落水時に外来種が下流へ逃げないための下流水路への網設置、捕獲作業の補助及び捕獲した魚類の同定計測業務を行ってもらい、官民が協働して活動のバックアップ態勢を整えました。
 - ・協働した活動を実施した結果、6箇所のため池でオオクチバスやブルーギル等をはじめとした約13,900匹の外来種を駆除するとともに、コイやフナをはじめ、オイカワ、カワムツ等、多種多様な在来種を保護できました。
 - ・外来種の駆除はもちろん、予想を上回る地域の住民の参加があり、ため池の環境回復をおし「清流の国ぎふづくり」の理念が地域に浸透するきっかけになりました。
 - ・今後は計画に沿って事業を進めると同時により効果を発揮するため、地元関係者と早い段階で接触し、環境意識の向上にも努めていきます。
- 【参考】駆除した外来種：約13,900匹 保護した在来種：約21,000匹 事業に参加した地元住民：96人

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

6箇所の農業用ため池において、生息する外来種約1万3千9百匹の駆除を実施しました。

【H27年度 事業実施ため池一覧】

No	ため池の名称	市町村	実施日	駆除した外来種		保護した在来種	
				種類	数量(匹)	種類	数量(匹)
1	浮沼ため池	恵那市	H27.9.25	ウシガエル	8	ヤマ、マツモシ等	465
2	井戸上上の池	多治見市	H27.10.1	オクチバス、ブルーギル等	11,828	コイ、ハゼ等	30
3	上之平2号	中津川市	H27.10.16	オクチバス、ブルーギル等	1,271	コイ、ハゼ等	24
4	追洞池	美濃加茂市	H27.10.17	ウシガエル	2	カマツ、カヨシホリ等	4,716
5	伊自良溜池	山県市	H27.11.12	オクチバス、タイリクバラタナゴ等	370	オカワ、モツゴ等	15,121
6	上野池	美濃加茂市	H27.11.14	オクチバス、ウシガエル等	452	コイ、ハゼ等	688
合計					13,931		21,044

延べ参加者数：253名（地元及び市町村職員：96人、建設コンサルタント：26人、県職員：75人、その他：56人）



捕獲状況 —伊自良溜池（山県市）—



捕獲状況 —井戸上上の池（多治見市）—



開始前ミーティング —上之平2号（中津川市）—



捕獲した外来種 —新池（岐阜市）—

9-2 生きものにぎわう水田再生事業 ※里地里川における生態系保全事業

(H27 実績額：2,990 千円／H27 予算額：4,000 千円)

【事業概要】 水田魚道の設置推進

【担当課】 農政部 農村振興課

1 事業の目的

- ・水田魚道の設置を促進することで、生態系保全とともに地域の環境意識の高揚、環境保全型農業を推進します。

2 事業の内容

①水田魚道の設置促進のための研修会の開催

水田魚道を県内に普及させるため、農地や水路の管理に関わる地域住民を対象に開催

②水田魚道の効果検証

水田魚道の有効な場所選定や効果的な運用方法などについての検証

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値／計画値	H27 年度までの実績値 ／5 年間の目標値
研修会の開催箇所	水田魚道の設置促進のため、毎年度、研修会を開催	3 地区／1 地区 *実施箇所 大垣市 海津市 北方町	7 地区／5 地区

4 事業担当課における自己評価

- ・水田魚道を活用した生きもの調査を継続して実施されている地域も出てきている。
- ・岐阜農林高等学校での教育活動の一環として取り組みにより、モデル地区としての環境、営農、販売に関する各種調査が可能となったことから、連携の元、効果検証を図り、水田魚道の設置促進へ繋げていく。
- ・水田魚道を設置した水田で栽培されたお米の付加価値販売の取組も出てきている。(岐阜農林高等学校、養老町、海津市)

5 事業評価審議会における第三者評価

6 平成27年度事業の実施状況

水田魚道設置研修会 【平成28年2月28日（日）：大垣市川口町 地内】
 参加者：10名（農地や水路等の管理に関わる地域住民等）
 水田魚道設置研修会 【平成28年2月29日（月）：海津市南濃町 地内】
 参加者：8名（農地や水路等の管理に関わる地域住民等）

講師の指導による参加者が自ら組み立て設置する現場研修を実施し、水田魚道の設置促進を図りました。



設置状況（大垣市川口町地内）



設置状況（海津市南濃町地内）

水田魚道設置研修会 【平成28年3月12日（土）：北方町北方地内】
 参加者：14名（岐阜農林高校環境科学学科の生徒等）



講義（水田魚道の概要や設置方法）



現場研修（生徒による魚道の設置）

農業排水路における生物相や水田魚道での魚類の遡上の調査
 生物相調査：県内272地点 遡上調査：3地点 降下調査3地点

水田魚道の設置に有効な場所や条件等を検証するため、水路に生息する魚類等の調査や遡上・降下調査を実施しました。また、河川の合流点に落差工の有無の影響を検証しました。

【自動計数装置を通過した魚類】

ナマズ

メダカ



排水路の生物相調査



9-3 里地里川生態系保全支援事業（団体支援）

※里地里川における生態系保全事業
 （H27 実績額：9,584 千円／H27 予算額：20,200 千円）

【事業概要】 里地の生態系を復活させるモデル的取り組みへの支援

【担当課】 農政部 農村振興課

1 事業の目的

- ・ 団体がおこなう里地の生態系を復活又は保全するモデル的な取り組みを支援し、県内の里地における生態系保全を推進します。

2 事業の内容

- ・ 生態系に配慮した農業用水路の整備、水田や用排水路等を活用した環境教育の実施など里地の生態系を復活するモデル的取り組みを支援します。
 - 補助対象者：特定非営利活動法人、地域団体等
 - 補助率：10/10（補助金の上限額 2,500 千円/団体）
 - 実施方法：公募により選定

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値/計画値	H27 年度までの実績値 / 5 年間の目標値
実施団体数	モデル的な取り組みとして、目標値を設定	5 団体/8 団体	19 団体/20 団体

4 事業担当課における自己評価

・ 採択された団体では、これまで実施してきたビオトープ等の水辺環境の整備、薬草による耕作放棄地の再生、ウシモツゴの増殖・保護活動、小学生を対象とした環境教育の実施、ため池の池干しによる外来種駆除など里地の生態系を復活するモデル的な取り組みが行われました。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

5 団体に助成を行い、里地の生態系の復活に向けたモデル的な取り組みが行われました。

実施団体名	活動市町村	活動内容
東海タナゴ研究会	海津市、養老町	池干しによる外来種駆除と在来種の調査の他、ウシモツゴの保護活動を実施
特定非営利活動法人 山菜の里いび	揖斐川町	耕作放棄地を有効活用し薬草の保全を実施
里山クラブ可児	可児市	棚田跡でのビオトープ池及び水路の整備
かわせみの杜 関山田・棚田の会	関市	耕作放棄地、畔、農作業通路、水路の整備、保全管理、山土の流出防止作業。
上白金生態景協議会	関市	田園の生態系保全及び荒廃地活用による景観形成のための整備活動等を実施



池干しと生きもの調査
(東海タナゴ研究会)



再生した耕作放棄地での薬草栽培
(山菜の里いび)



再生した耕作放棄地での田植え
(かわせみの杜 関山田・棚田の会)



再生した耕作放棄地での稲刈り
(里山クラブ可児)



公園候補地での保全作業
(上白金生態景協議会)

9-4 里地里川生態系保全支援事業（市町村支援）

※里地里川における生態系保全事業
(H27実績額：8,113/H27予算額：8,570千円)

【事業概要】里地の生態系保全活動の実施への支援

【担当課】農政部 農村振興課

1 事業の目的

- ・市町村が行う里地の生態系保全の取り組みを支援し、県内の里地における生態系保全を推進します。

2 事業の内容

- ・水田や用排水路におけるスクミリンゴガイの駆除など、農地・農業用施設を対象とする生態系保全に取り組む市町村を支援します。

○補助対象者：市町村

○補助率：1/2以内

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値/計画値	H27年度までの実績値 /5年間の目標値
実施市町村数	里地の生態系保全に取り組む市町村数を想定	6市町/5市町村	22市町/25市町村

4 事業担当課における自己評価

- ・3市3町で活動を行いスクミリンゴガイの成貝及び卵を18.23t駆除することができました。
笠松町：3.85t(H26:3.00t) 瑞穂市：4.97t(H26:4.18t) 本巣市：1.23t(H26:1.11t)
岐南町：1.14t(H26:0.40t) 各務原市：3.69t(H26:2.64t) 輪之内町：3.35t(H26:3.35t)
- ・駆除総量は概ね前年を上回る実績となっているが、事業費千円当たりの駆除量（駆除効率）には市町により乖離があります。
- ・総駆除量、駆除効率は各市町村とも年々上がってきているが、引き続き関係市町で情報交換会を開催するなどし、駆除技術を共有し、より効果的な事業推進に努めます。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

6市町に助成を行い、18.23tのスクミリンゴガイの駆除が進みました。

実施市町村名	事業費 (千円)	森林・環境税 (千円)	捕獲数量 (スクミリンゴガイ)
各務原市	8,100	4,050	3.69 t
瑞穂市	1,895	947	4.97 t
笠松町	1,246	623	3.85 t
岐南町	1,182	500	1.14 t
本巣市	1,976	988	1.23 t
輪之内町	2,010	1,005	3.35 t
合計	16,409	8,113	18.23 t



水路での駆除作業状況
(笠松町)



駆除したスクミリンゴガイ
【通称：ジャンボタニシ】
(瑞穂市)

10 河川魚道の機能回復事業

(H27実績額：316,482千円/H27予算額：250,000千円)

(うち、森林・環境基金 H27実績額：49,969千円/H27予算額：50,000千円)

【事業概要】 県管理河川および砂防施設に設置された魚道の適切な維持管理の実施

【担当課】 県土整備部 河川課

1 事業の目的

- ・魚道の状態の把握と適切な維持管理によって、河川の連続性の確保を図り、魚がすみやすい環境の創出を図ります。

2 事業の内容

- ・県管理河川及び砂防施設に設置されている魚道 672 箇所を対象に、漁業協同組合、県民等を新たに「フィッシュウェイ・サポーター（以下FWS）」に委嘱し、県職員とともに年 1 回程度点検を行い、魚道の状態を把握します。
- ・点検を効果的・効率的に行うため、点検の際には、岐阜県自然共生工法研究会（魚道研究専門ワーキンググループ）と連携して作成した、魚道の機能を簡便に評価できる「清流の国ぎふ・魚道カルテ」を用います。
- ・魚道カルテの結果により、魚道内の堆積土砂の除去等を実施し、魚道の機能回復を図ります。

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値/計画値	H27までの実績値 /5年間の目標値
魚道の点検 箇所数	点検実施魚道数	672箇所/672箇所	672箇所/672箇所 (年1回程度実施)
修繕の魚道 箇所数	土砂除去などにより状態 が改善された魚道数	99箇所/50箇所	229箇所/253箇所

4 事業担当課における自己評価

- ・県管理河川及び砂防施設に設置された全ての魚道 672 箇所に対して点検を実施しました。
- ・計画を上回る数の魚道に対して修繕・改修を行いました。大規模改修ではなく、土砂除去等維持修繕の範囲内で対応可能な箇所が複数あるため魚道 1 箇所あたりの機能回復費が計画値を下回る結果となりました。
- ・今後は関係機関と連携し、より面的な広がりを持った生息空間の確保に向けた取り組みを実施する必要があります。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

河川の連続性の確保を図り、魚がすみやすい環境を創出するため、県管理河川及び砂防施設に設置されている魚道 672 箇所について、漁業協同組合、県民等を FWS に委嘱し、県職員とともに魚道カルテを用いた点検を実施しました。

点検の結果、対策が必要な魚道 99 箇所について、魚道内の堆積土砂の除去等を実施し、魚道の機能回復を図りました。



FWSによる魚道点検状況【左：武儀川（山県市） 右：日吉川（瑞浪市）】



竹原川（下呂市）における魚道の改善状況【左：改善前 右：改善後】

1 1 地域協働水質改善事業

(H27実績額：8,484千円／H27予算額：8,673千円)

【事業概要】 地域河川の水質問題等に対する地域の取り組みへの支援

【担当課】 環境生活部 環境管理課

1 事業の目的

- ・地域の小河川が抱えている水環境保全上の課題に対して、地域住民、事業者、市町村等の協働により流域が一体となって行う地域協働水質改善活動を支援し、課題の改善を図ります。

2 事業の内容

- ・平成24年度から28年度の5年間で地域住民、事業者、市町村等が協働し、地域の水環境の課題を解決するモデル的な1事業について、県が河川環境調査、水質改善策の提案、補助金の交付（補助率：1／2）を行うなど幅広い支援を行います。
- ・平成24年度には、輪之内町を流れる大樽川及び流域河川における地域協働水質改善事業をモデル事業として採択しました。
- ・輪之内町では、平成24年11月に輪之内町地域協働水質改善協議会を設置し、大樽川流域の水質改善について協議を行いながら、環境用水による導水、河川直接浄化施設等の設置、住民参加による河川環境保全活動などを行っています。

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値／計画値	H27年度までの実績値 ／5年間の目標値
地域水質改善協議会の設置数	5年間で1つのモデル事業を実施	1地域／1地域 (輪之内町地域協働水質改善協議会)	1地域／1地域 (実施継続中)

4 事業担当課における自己評価

- ・大樽川の流域河川の一つである中江川の上流に水質浄化用井戸を設置し、地下水を流すことで河川水の滞留を解消され、中江川における透視度の改善が今後見込まれます。
- ・中江川は役場周辺を流れる河川であり多くの町民の目にも触れやすいため、住民等が協働して実施する水質改善事業の機運が高まることが期待されます。
- ・町民及び住民団体が主体となって、ひも状接触材を用いた水質浄化設備を町内の用水路に設置し、水質浄化効果の検証実験を実施しており、ひも状接触材による透視度の改善が見込まれれば、町内における他の地点にも設置することが検討されています。
- ・町内の全小学校を対象に、岐阜大学と連携した環境学習を平成28年度から開始することとし、若年層に対する河川環境意識の向上が図られています。

5 事業評価審議会における第三者評価

6 平成27年度事業の実施状況

(1) 大樽川及び流域河川の水質調査結果

- 事業開始時と比較して改善傾向にあります。

水質指標	事業開始時 (平成25年度)	平成26年度	平成27年度	目標値 (平成28年度)
BOD (5.0mg/L 以下) 達成率	53.8 %	92.3 %	84.6 %	100 %
透視度 (30cm 以上) 達成率	38.5 %	100 %	69.2 %	100 %

(達成率=基準をクリアした調査地点/全調査地点)

(2) 中江川浄化用井戸施設及び住民協働型浄化施設の設置

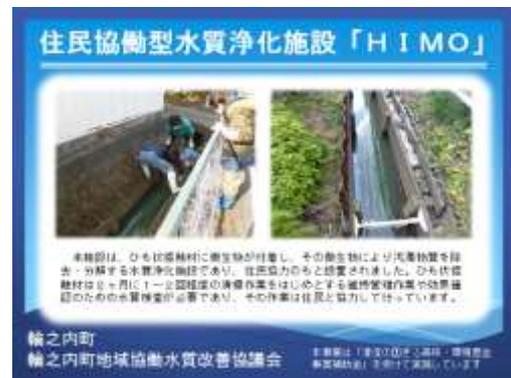
- 河川水の滞留を解消するため、大樽川流域河川の一つである中江川の上流に水質浄化用井戸を設置しました。
- 地域の住民及び団体が主体となって、ひも状接触材を利用した直接浄化施設を設置しました。

(3) 大樽川環境保全事業による河川環境保全活動

- 岐阜大学と連携した環境学習を平成28年度から開始するため、導入にあたっての事前学習を行いました。
- 大樽川環境保全事業として、環境 NPO や市民団体の協力により「大樽川を美しくする町民参加大会（河川一斉清掃）」、生活排水対策に関する環境出前講座、廃油石鹸づくりなどが実施され、延べ1,455名の町民に参加いただきました。



中江川浄化用井戸施設井戸完成式



ひも状接触材を利用した住民協働型浄化施設



岐阜大学と連携した環境学習の事前講義

1 2 上流域と下流域の交流事業

(H27 実績額 : 9,154 千円 / H27 予算額 : 9,997 千円)

【事業概要】 上流域、下流域の自然環境等を相互に理解する交流ツアーの実施

【担当課】 環境生活部 自然環境保全課

1 事業の目的

- ・上下流域での自然体験や環境保全活動等による交流を通じて、上下流域の地域住民や次世代の担い手となる子どもたちが、森川海のつながりやその大切さへの関心を高めるとともに、相互の自然環境等に理解を深め、環境保全意識を育み活動の実践につなげます。

2 事業の内容

- ・森川海のつながりを踏まえた環境保全への理解を深めるツアーを、上下流域の住民（親子）を対象として実施します。
- ・ツアーでは、上流域又は下流域ならではの自然体験や環境保全活動等のプログラムを、現地のNPO等の指導により行います。
- ・ツアー造成及び催行は、県が委託した旅行業者が各地で活動するNPO等と連携して企画・実施します。

(主なプログラム)

自然体験活動：沢登り体験、生き物観察、カヌー体験、自然散策ほか

環境保全活動：森林整備活動、海岸清掃活動、外来植物駆除活動ほか

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値 / 計画値	H27 年度までの実績値 / 5 年間の目標値
実施回数	県内主要河川流域における上下流交流ツアーの実施回数	18 回 / 20 回 * 実施内容 資料編参照	64 回 / 75 回

4 事業担当課における自己評価

- ・ツアー終了後に行うアンケート調査では、環境保全意識の向上に関して約 9 割の参加者から「意識が高まった」との評価を得ました。
- ・保護者からは、子どもが自然のなかで積極的に活動する姿がよかったという声もあり、参加者、特に次世代を担う子どもたちに対して、自然環境に対する興味や理解を深める機会を提供できたと考えられます。
- ・平成 27 年度夏、当ツアー参加を機とした環境保全に対する意識変化を問う追跡調査を行ったところ、回答者の 76% から「ツアー参加を機に意識変化があった」との回答を得ました。

5 事業評価審議会における第三者評価

6 平成27年度事業の実施状況

- ・小中学生とその保護者を対象としたツアーを18コース実施し、390人が参加しました。
- ・訪問先ではNPO等の指導により、自然体験活動や環境保全活動を実施しました。

○夏期（7月～9月 13コース）

（主なプログラム）川遊び、沢登り体験、水辺（河川・干潟）の生き物観察、海岸清掃、外来植物駆除、自然散策

○秋冬期（11月・1月 5コース）

（主なプログラム）森林・里山学習、アニマルトレッキング

●体験の様子



外来植物（オオバコ）の駆除活動
（飛騨市・天生県立自然公園）



川の生き物観察
（揖斐川町藤橋・水と森の学習館）



海岸清掃（三重県津市・マリーナ河芸）



自然散策（中津川市・けやき平公園）

●参加者の声

- ・岐阜の森と川の美しさを実感しました。この自然を大切にしたいと思います。
- ・子どもの自然への関心が増したことが嬉しいです。
- ・現地の取り組みも、子どもなりに理解できていました。

1.3 木の香る快適な教育施設等整備事業

(H27 実績額：102,755 千円 (うち、次年度繰越 30,411 千円) / H27 予算額：158,000 千円)

【事業概要】 教育福祉関連施設等の木造化、内装木質化、重要文化財修復の助成

【担当課】 林政部 県産材流通課

1 事業の目的

- ・公共建築物等木材利用促進法に基づき、公共施設等における県産材利用をより一層促進するとともに、木材利用や環境保全に対する理解を深めるため、特に啓発効果の高い教育福祉関連施設等の木造化や内装木質化を推進します。

2 事業の内容

○補助対象者：市町村、学校法人、社会福祉法人、医療法人 NPO法人等

○補助率：①木造化 17,000 円/m² 以内 (補助金の上限額 30,000 千円)

②内装木質化 10,000 円/m² 以内 (補助金の上限額 30,000 千円)

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値 / 計画値	H27 年度までの実績値 / 5 年間の目標値
施設整備数	公共施設の木造化及び内装木質化施設数の内数 (岐阜県森林づくり基本計画の目標値)	10 施設 / 8 施設 (内 3 施設は平成 28 年度 完成予定の繰越事業)	34 施設 / 65 施設

4 事業担当課における自己評価

- ・ 7 市 1 町・ 10 施設の整備に対し支援を行いました (木造化・ 4 施設、内装木質化・ 6 施設)。
- ・ 公募後も事業の周知活動を継続した結果、年度途中の追加申請もあり、施設整備数は目標値を上回る整備実績となりました。
- ・ 1 施設あたりの整備に使用された県産材量 (平均) は、目標値 (74.5m³) を上回る 83.0m³ となりました。
- ・ 平成 26 年度に整備した施設利用者に対しアンケートを実施した結果、木の温もりや香りについて、肯定的な意見が多く示されました。
- ・ 当該事業により実際に木にふれる機会を提供することができ、木材利用に対する理解が深まっています。
- ・ 県内の全市町村で木材利用推進方針が作成されたことにより、公共施設の木造化、内装木質化の気運が高まりつつあります。
- ・ 平成 28 年度については 5 市 3 町において 10 施設の整備が計画されており、整備数とともに県産材使用量の増加も図られるよう取組みを進めていく必要があります。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

1. 事業整備内訳

10の事業主体に助成を行い、スギやヒノキなど県産材をふんだんに使用した学校や保育園、老人ホーム等が整備されました。

No	事業主体	整備施設の名称	施設所在 市町村	事業区分	規模 (m ²)	事業費 (円)	森林・環境 税 (円)
1	学校法人 小島学園	木の香るだいちこども園 ※	各務原市	内装木質化	1,715	250,992,000	8,770,000
2	海津市	海津市立城南中学校	海津市	内装木質化	2,230	580,705,200	11,420,000
3	揖斐川町	谷汲デイサービスセンター	揖斐川町	木造化	528	311,008,000	8,976,000
4	関市	関市立関商工高等学校	関市	内装木質化	1,263	237,600,000	7,250,000
5	関市	関市立西部保育園	関市	内装木質化	978	197,640,000	6,890,000
6	社会福祉法人 清流会	きらら美濃加茂	美濃加茂市	木造化	642	103,753,000	10,914,000
7	多治見市	多治見市立星ヶ台保育園	多治見市	内装木質化	2,011	446,602,000	12,240,000
8	NPO法人ぎふ村	ぎふ村高齢者健康増進施設 ※	中津川市	木造化	972	216,000,000	16,524,000
9	社会福祉法人 たんぽぽ福祉会	就労継続支援事業所 くりくりの 里中津川 和風レストラン ※	中津川市	木造化	301	137,679,000	5,117,000
10	社会福祉法人清徳会	清徳会宙	高山市	内装木質化	2,334	696,816,000	14,530,000
計						3,178,795,200	102,631,000
県事務費						123,303	123,303
合計						3,178,918,503	102,754,303

※H28年度へ完成を繰り越した事業



海津市立城南中学校
(海津市)



きらら美濃加茂
(美濃加茂市)



多治見市立星ヶ台保育園
(多治見市)

2. 利用者の声

調査先 : 平成26年度に木の香る快適な教育施設等整備事業で実施した補助事業者

調査方法 : アンケート形式

調査期間 : 平成28年2月～平成28年3月

調査結果 : 利用者の方の評判、ご意見

- ・ストレスを感じることが少なくなり、気分が落ちつく。
- ・木のあたたかみを感じられ、心が安らぐ。
- ・見た目や木の香りがよく、癒される感じがする。

14-1 ぎふの木で学校まると木製品導入事業

(H27 実績額 28,795 千円/H27 予算額 : 31,000 千円)

【事業概要】 学校等の机・椅子等の導入の助成

【担当課】 林政部 県産材流通課

1 事業の目的

- ・公共建築物等木材利用促進法に基づき、公共施設等における県産材利用をより一層促進するとともに、木材利用や環境保全に対する理解を深めるため、特に啓発効果の高い教育関連施設等の木製の机、椅子等の導入を推進します。

2 事業の内容

- ・保育園や小中学校等で使用する木製の机、椅子等の導入を支援します。
 - 補助対象者：市町村、学校法人、社会福祉法人 等
 - 補助率：1/2以内（机・椅子については補助金の上限額 18 千円/セット）
 （※常設版木育ひろばの認定を受け、当該事業により木製品（家具等）を購入する場合は10/10以内。上限400千円/施設）

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値/計画値	H27 年度までの実績値 /5年間の目標値
導入製品数	教育関連施設への木製品導入数	1,895 セット/ 1,200 セット	3,928 セット/ 6,000 セット

4 事業担当課における自己評価

- ・13市6町で事業を実施し、保育園、学校等への木製品導入について14施設、木育ひろば設置について21施設に対し、県産材木製品1,895セットの導入を支援しました。
- ・H27年度より実施されることとなった木育ひろばへの木製品導入が増加し、導入数、利用者数ともに計画値を上回る結果となり、多くの公共施設で利用者に対し木製品を利用する機会を提供でき、効率的に木材利用をPRすることができました。
- ・平成26年度に導入を図った学校等にアンケートを実施した結果、森林や自然に対する興味を持ってたという意見が多くありました。

5 事業評価審議会における第三者評価

6 平成27年度事業の実施状況

1 施設整備内訳

26の事業主体に助成を行い、35施設において1,895セットの木製机・椅子等の導入が進みました。

施設所在市町村	事業主体	導入施設名称	導入製品	導入数量(セット)	森林・環境税(千円)
岐阜市	岐阜市 (社福) 和光会 (社福) ともいき福祉会	岐阜市立中央図書館★ 加納西、沖ノ橋、三里保育園	テーブル、椅子 スタッピングチェア ロッカー、本棚	56	1,181
瑞穂市	瑞穂市	瑞穂市図書館分館★	書架	1	400
北方町	北方町	北方町立図書館★ 北方町新庁舎★	図書展示架、掲示板、 本立て、本棚等	24	790
羽島市	(社福) 正木保育園会	正木保育園	テーブル等	42	324
海津市	(社福) 八実会	石山保育園	本棚	2	388
大垣市	(社福) 竜谷福祉会	ながさわ保育園	机、椅子、下駄箱等	165	1,642
揖斐川町	揖斐川町	揖斐川子育て支援センター★	テーブル、棚	7	400
池田町	養基学校組合 池田町	養基児童館★ 池田町図書館★	テーブル、ロッカー、 本棚等	16	579
大野町	(社福) 大野社会福祉協議会 (社福) 樹心会	萩原園(子育てセンター付)★ 豊林園(子育てセンター付)★	棚、サークル、テーブ ル、ベビーチェア等	19	800
関市	関市	市内小学校 わかくさ児童センター★ むげがわ児童館★	机(天板) 収納箱付木製枠	619	4,365
美濃市	(社福) 楓福祉会 (社福) 牧谷会	かえで保育園子育て支援棟★ 牧谷保育園	テーブル、椅子、や ぐらシェルフ等	44	1,072
御嵩町	御嵩町	子育て支援センター	机、棚	3	389
美濃加茂市	美濃加茂市	美濃加茂市中央図書館★	本読み台、案内板等	4	166
可児市	可児市	子育てサロン絆ルーム★ 兼山児童館★	やぐらシェルフ等	3	776
川辺町	川辺町	川辺町児童館★	おもちゃ箱、掲示板	3	397
多治見市	多治見市	星ヶ台保育園 笠原児童館★	机、椅子、箱型什器等	285	4,864
中津川市	(社福) 恵峰会 中津川市	西保育園 めぐみ保育園 苗木公民館★市内中学校	ロッカー、テーブル、 机、椅子等	489	7,999
恵那市	(特非) こぎつねくわーど	つどいの広場「こぎつねの森」★	本棚、キャビネット	11	400
高山市	高山市 (社福) 三日町福祉会	市内小中学校 清見保育園	机・椅子 ベンチ	102	1,835
合計		35施設		1,895	28,767

★ 常設版木育ひろば設置施設 (その他事務費 28 千円)



正木保育園 (羽島市)



沖ノ橋保育園 (岐阜市)

2 利用者の声

調査先 : 平成26年度にぎふの木で学校まるごと木製品導入事業を実施した補助事業者
 調査方式 : アンケート方式
 調査期間 : 平成28年1月～平成28年2月
 調査結果 : 利用者の方の評判、ご意見

- ・木の温かみ、ぬくもりが感じられて良い。
- ・森林や木材、自然に対して意識が向上した。
- ・安全性が高くてよい。
- ・小学生には重たい。

14-2 ぎふの木育教材導入支援事業

(H27実績額：3,227千円/H27予算額：4,000千円)

【事業概要】 ぎふの木を使った教材（おもちゃ、キット等）の導入の助成

【担当課】 林政部 恵みの森づくり推進課

1 事業の目的

- ・将来の森林づくりを担う子どもたちが直接木を見て触れることのできる木製学習教材や木のおもちゃの導入に対して支援することにより、人や自然に対する思いやりとやさしさを考えられる豊かな心を育む「ぎふ木育」の取り組みを進め、木材利用や環境保全に対する理解につなげます。

2 事業の内容

- ・ぎふ木育の取り組みで必要となる木製教材（木のおもちゃ、木材加工キット等）の導入を支援します。
 - 補助対象者：県内の保育園、幼稚園、認定子ども園、小中学校
児童福祉施設、託児所等
 - 補助率：購入費の1/2以内（補助金の上限額100千円/施設）
（※常設版木育ひろばの認定を受け、当該事業により木製おもちゃ等を導入する場合は10/10以内。上限100千円/施設）

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値/計画値	H27年度までの実績値 /5年間の目標値
導入施設数	5年間で250施設のモデル的取り組みを実施	57施設/50施設 *整備箇所 資料編参照	267施設/250施設

4 事業担当課における自己評価

- ・57施設で導入され、計画を達成することができました。
 - ・57施設中44施設が平成27年度に新たに当事業を活用しており、子どもたちが気軽に木に触れられる場を拡大させることに貢献しています。
 - ・平成27年度事業実施主体アンケートの調査結果から、子どもだけではなく大人にもぎふ木育を理解してもらったことがわかります。
 - ◆県産材の木育教材を導入するきっかけになった。 97%
 - ◆導入したぎふの木の教材（おもちゃ）に対して子どもたち（または保護者）の反応が良かった。 97%（「非常に良かった」、「良かった」の合計）
 - ◆「清流の国ぎふ森林・環境税」でこの事業が行われて良かった。 97%
- <その他の意見>
- ・道具を使って棚を組み立てる作業に、いつもより積極的になる子どもを発見できた。
 - ・木のおもちゃは高価で購入には躊躇するが、公共の場で遊ぶことができることがうれしく、また、落ち着いた気分になれる

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

<市町村別実施件数>

圏域	市町村別の導入施設数			計
岐阜圏域	岐阜市 4(1)	各務原市 3	瑞穂市 1(1)	16 施設
	岐南町 6	北方町 2(2)		
西濃圏域	大垣市 2	神戸町 1	揖斐川町 1(1)	8 施設
	大野町 2(2)	池田町 2(2)		
中濃圏域	関市 2(2)	美濃市 4(2)	可児市 2(2)	11 施設
	美濃加茂市 1(1)	御嵩町 1	川辺町 1(1)	
東濃圏域	多治見市 1(1)	瑞浪市 2	中津川市 1(1)	5 施設
	恵那市 1(1)			
飛騨圏域	高山市 17			17 施設
	() はうち常設版木育ひろば設置数			合計 57 施設

57の施設において岐阜県材木育教材の導入が進みました。多くの子どもたちやその保護者に、木のおもちゃ等を通じ、その手触り、におい、重さ、音の響きなどを直に感じてもらうことができました。

アンケートの中には、「木のぬくもりを感じることができ、かつ子どもたちが舐めても安全な木のおもちゃを利用できることに対して、保護者の方に安心感を持ってもらえ、木育を積極的に導入している当施設の姿勢を評価してもらえた」との意見がありました。木育に取り組むことが安心感や信頼感等を高める結果につながっています。

また、自らキットを組み立てる作業では、こだわりを持って丁寧に扱ったり、一つの作業を高い集中力を持って行っていたりなど、その子が持つ新たな個性を発見できる機会にもなっており、教育面での効果も高い事業となっています。



<道具を使用し、棚を組み立てる園児の様子>



<導入製品（つみぼぼ）>

<導入製品（木ままごとセット）>

<おもちゃで遊ぶ園児の様子>

15-1 木質バイオマス利用施設導入促進事業

(H27実績額：27,495千円/H27予算：35,000千円)

【事業概要】 公共施設等における木質バイオマス利用施設の導入の助成

【担当課】 林政部 県産材流通課

1 事業の目的

- ・森林内の未利用材を木質バイオマス資源として利用促進を図り、環境にやさしい低炭素循環型社会の構築を目指すため、木質ペレットやチップを利用する木質ボイラー等の公共施設等への導入を促進します。

2 事業の内容

- ・公共施設等における木質バイオマス利用施設の導入を支援します。
 - 補助対象者：市町村、学校法人、社会福祉法人、医療法人 NPO法人、民間事業者（多くの県民の利用が十分見込まれる商業・観光・レジャー事業等を営む者に限る。）
 - 補助率：事業費の1/2以内（補助金の上限額25,000千円/施設）

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値/計画値	H27年度までの実績値 /5年間の目標値
木質ボイラー導入施設数	木質バイオマス利用量の目標値達成のための整備施設数	1施設/2施設	2施設/10施設
薪・ペレットストーブ導入数	(岐阜県森林づくり基本計画の目標値)	51台/100台	195台/500台

4 事業担当課における自己評価

- ・平成26年度の導入実績は、薪・ペレットストーブ42台でした。平成27年度から、民間事業者（多くの県民の利用が十分見込まれる商業・観光・レジャー事業等を営む者に限る。）も補助対象に拡充したことにより、薪ボイラー1台、薪・ペレットストーブ51台へと大幅に導入が増えました。
- ・施設導入者から「CO2削減のために化石燃料から木質バイオマス燃料へ切り替えていくことの重要性を感じた。」「炎が見えて、炎の温かみが直接感じられて良い。」といった声が寄せられています。

5 事業評価審議会における第三者評価

6 平成27年度事業の実施状況

16の事業主体に助成を行い、17施設において薪ストーブ9台、ペレットストーブ42台、薪ボイラー1台の導入を支援しました。施設利用者からは、「柔らかい炎の温もりがとてもよい」や「暖かく、施設の雰囲気にマッチして大変良い」といった声が寄せられています。

施設所在 市町村	事業主体	設置場所	導入施設	導入 台数	森林・ 環境税(円)
山口市	(特非) コミュニティ美山	グリーンプラザみやま コテージ内	ペレットストーブ	1台	191,000
各務原市	(株)日本温浴研究会	恵みの湯	薪ストーブ	1台	500,000
郡上市	郡上市	明宝デイサービスセンター	薪ボイラー	1台	15,200,918
郡上市	中部スノーアライアンス(株) ひるがの高原スキー場	ひるがの高原スキー場 スカイレストラン内	ペレットストーブ	1台	294,500
美濃加茂市	美濃加茂市	みのかも健康の森	薪ストーブ	1台	685,260
恵那市	丸山木材工業(株)	アンベール事業部シ ョールーム	薪ストーブ	1台	500,000
下呂市	(有)いさぢ	樽や	ペレットストーブ	1台	321,000
高山市	高山市	国府小学校、松倉中学校	ペレットストーブ	37台	5,373,000
高山市	柏木工(株)	柏木工(株)ショール ーム	薪ストーブ	1台	496,000
高山市	(株)インディゴ	くるみ温泉&キャンプ場	薪ストーブ	1台	500,000
高山市	伊藤仁美	ユンヌ・フルール	薪ストーブ	1台	500,000
高山市	飛騨五木(株)	飛騨五木(株)ショール ーム	薪ストーブ	1台	500,000
高山市	平川治	ペンション平川	薪ストーブ	1台	189,000
高山市	ロイヤルパーツ(株)	ゲストハウス桜花	ペレットストーブ	1台	486,000
高山市	(特非) 活エネルギーアカデミー	木の駅プロジェクト駅舎	薪ストーブ	1台	1,250,000
高山市	森玲子	癒しの家そらふね	薪ストーブ	1台	482,000
合計		17施設	薪ストーブ ペレットストーブ 薪ボイラー	42台 9台 1台	27,468,678

(その他事務費 26千円)



明宝デイサービスセンター(郡上市)



各務原温泉 恵みの湯(各務原市)

15-2 県民協働による未利用材の搬出促進事業

(H27 実績額 : 4,493 千円 / H27 予算額 : 6,400 千円)

【事業概要】 市町村と地域住民との協働による未利用材の搬出の助成

【担当課】 林政部 県産材流通課

1 事業の目的

- ・森林内の未利用材を木質バイオマス資源として利用促進を図り、木質バイオマスによる環境にやさしい低炭素循環型社会の構築を目指すため、県民協働による未利用材の搬出を促進します。

2 事業の内容

- ・市町村、地域住民が一体となって取り組む未利用材の搬出を支援します。
 - 補助対象者：市町村
 - 補助率：市町村が助成する額の 1 / 2 以内（補助金の上限額 1,500 円 / t）

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値 / 計画値	H27 年度までの実績値 / 5 年間の目標値
未利用材の搬出量	A 材加工戦略プランに基づく、C・D 材活用目標値の達成のための搬出量	2,971 t / 4,200 t	6,728 t / 20,000 t

4 事業担当課における自己評価

- ・未利用材の搬出実績は 2,971t であり、計画値に対して約 71%でした。
- ・搬出団体について、平成 26 年度の 7 市町・15 地域（220 名）から、平成 27 年度は新たに 2 市で取組みがはじまり、9 市町 21 地域（814 名）に増え、参加者も大幅に増えていることから今後の事業拡大が期待できます。
- ・実施団体などへのアンケート調査では「環境税が本事業に利用されるようになり、山へ入ろう（整備しよう）という機運が高まってきたので、非常に良い取り組みである」との声があり、地域住民が一体となって取り組む環境保全活動として高く評価できます。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

9市町に助成を行い、21地域において地域住民による未利用材の搬出作業が進みました。参加者からは、「地域での活動が活発になってきているため、今後も継続してほしい。」「山を整備しようという機運が高まった。」といった声が寄せられました。

実施所在市町村	事業主体	間接補助事業者	搬出量(t)	森林・環境税(円)
大垣市	大垣市	木の駅上石津実行委員会	250.0	375,000
揖斐川町	揖斐川町	いび森林資源活用センター協同組合	103.9	150,000
関市	関市	「木の駅」in つぼがわ活動組織 「木の駅」in いたどりがわ活動組織	278.2	417,000
郡上市	郡上市	白鳥町木の駅プロジェクト実行委員会 たかす木の駅会議 小川里山クラブ 口明方木の駅実行委員会	253.3	375,000
白川町	白川町	東濃ひのき製品流通協同組合	250.7	375,000
恵那市	恵那市	笠周地域木の駅実行委員会 やまおか木の駅実行委員会	1,138.0	1,705,500
中津川市	中津川市	つけち木の駅プロジェクト実行委員会	133.7	199,000
下呂市	下呂市	中原西森林造成組合 大洞森林造成組合 山之口森林造成組合 黒石・川上森林造成組合 菅田森林造成組合	125.1	187,500
高山市	高山市	笠原木材(株) NPO法人活エネルギーアカデミー NPO法人山と森お助け隊 飛驒五木製材所地域資源活用実行委員会	437.6	655,800
合計		9市町村 22地域	2,970.5	4,439,800

(その他事務費 53 千円)



つけち木の駅プロジェクト実行委員会
(中津川市)



「木の駅」in つぼがわ活動組織 (関市)

16 清流の国ぎふ地域活動支援事業

(H27実績額：19,280千円/H27予算額：23,000千円)

【事業概要】 各種団体等が行う森づくり・川づくり活動等に対する助成

【担当課】 林政部 恵みの森づくり推進課、環境生活部 自然環境保全課

1 事業の目的

- ・ 県内の団体、法人が主体となって自ら企画・立案・実行する創意工夫のある森づくりや川づくり及び水環境等の保全活動を支援することにより、森や川づくりの重要性の理解と関心を高め、社会全体で支える環境保全活動を促進します。

2 事業の内容

- ・ 県民参画を促進する森づくり・川づくりの活動
 - ・ 水環境や生物多様性の保全を目指す活動
 - ・ 子どもたちのための森づくり・川づくりの活動 等
- 補助対象者：県内の団体、法人
- 補助率：
- ・ 補助対象経費500千円以下：10/10以内
 - ・ 補助対象経費500千円を超える分：1/2以内
- (1事業あたり補助金限度額 上限1,250千円、下限100千円)

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値/計画値	H27年度までの実績 値/5年間の目標値
実施団体の 件数	活動の支援を受ける団体の 想定数	42件/30件 *実施一覧 資料編参照	144件/130件

4 事業担当課における自己評価

- ・ 採択予定件数30件を上回る45件・23,758千円の事業応募があり、このうち、採択基準を満たした42件・21,979千円の活動に対し助成しました。
- ・ 地域の自治会による草の根運動的な取組みから、他の団体と連携した流域単位による環境保全活動まで、多様な活動が各地で行われました。
- ・ 活動には平成26年度に比べ約5千4百人増えた延べ約1万3千人と多くの参加を得て、多くの県民の皆さんの意識の向上がうかがえます。
- ・ 平成27年度に新たに当事業を活用した団体は42団体中10団体であり、活用団体は拡がりを見せています。この拡がり活動を活動参加者や活動を自ら実施する者の増加につなげていく必要があります。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

県内に活動拠点のある42団体に助成を行い、森づくり活動（里山保全等も含む）や、川づくり活動（流域交流や水辺環境保全等も含む）に、延べ約1万3千人の県民の皆さんが参加しました。

圏域別	活動団体数 (団体所在地)	参加人数 (人)	活動内容
岐 阜	14	3,013	森づくり：9団体、川づくり：5団体
西 濃	4	3,225	森づくり：1団体、川づくり：3団体
中 濃	11	3,350	森づくり：10団体、川づくり：1団体
東 濃	8	1,592	森づくり：7団体、川づくり：1団体
飛 騨	5	1,863	森づくり：4団体、川づくり：1団体
合 計	42	13,043	森づくり：31団体、川づくり：11団体

<各種団体の活動の様子>



里山林・竹林の整備



長良川の生きものしらべ



森の色えんぴつづくり



ビオトープづくり

1.7 森と木と水の環境教育推進事業

(H27実績額：12,765千円／H27予算額：15,000千円、6月補正後予算額：18,000千円)

【事業概要】子どもたちを対象とした森や木、川に関する環境教育の実施

【担当課】林政部 恵みの森づくり推進課

1 事業の目的

- 子どもたちを対象に、ぎふの豊かな自然（森・川・里山など）の持つ様々な公益的機能やそれらの保全に関する正しい知識の提供、森・川・海のつながりを実感するためのフィールドを活かした環境教育、木に触れ合うことを通じて自然に親しむ体験活動などの実施に対し支援し、将来の清流の国ぎふを担う人づくりを推進します。

2 事業の内容

①緑と水の子ども会議

小中学校、高等学校、特別支援学校に対する環境教育の実施支援
（講師の派遣、教材の提供、バス代負担など）

②木育教室

幼稚園・保育園等の子育て関連施設を対象とする、森と木に関する体験講座の実施
（講師の派遣）

③ぎふ木育キャラバン及びサポーター養成

- ぎふ木育を体験する一般県民対象のイベントの開催（岐阜市、中濃、飛騨）
- 各地域の自然体験指導者や木工関係者等を対象としたサポーター養成研修の開催

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値／計画値	H27年度までの実績値 ／5年間の目標値
実施校（園） の件数	岐阜県森林づくり基本計画に基づく、木育教室・緑と水の子ども会議実施校数	延べ116校（園）／ 80校（園） *実施箇所 資料編参照	延べ440校（園）／ 400校（園）

4 事業担当課における自己評価

- 計画を上回る116校（園）で、森や木や水に関する体験学習を実施することができました。うち30校（園）が初めて本事業を活用しており、体験学習の機会創出につながりました。
- 県内4箇所で開催した木育体験イベントでは、乳幼児からお年寄りまで、合計3,440人が木製品に直接触れ合い親しむ機会を創出することができました。
- 保育士、教員、木材関係事業者、環境保全NPO団体等を対象とした木育指導者研修会を県内3箇所で開催しました。木育推進に意欲のある83名の参加があり、木や木育のすばらしさを伝えることができる「人づくり」を進めることができました。
- 県内の「森のようちえん」及び「プレーパーク」を実践する団体を対象とした「ぎふ木育大交流会」を初めて開催し、2日間で延べ743名の参加があり、団体同士のネットワークを構築することができました。

5 事業評価審議会における第三者評価

6 平成27年度事業の実施状況

○緑と水の子ども会議・木育教室

113の学校等で環境学習を実施し、約5,156人の子どもが参加しました。

学校別	実施校・園数	参加人数
幼稚園・保育園等	34	1,295
小学校	57	2,931
中学校	10	485
高等学校	8	368
特別支援学校	2	77
合計	113	5,156

(延べ116校(園))

主な取組事例

- ◆木育教室「木のカスタネットづくり」(年長児)
- ◆身近な木の実等を使ったアクセサリづくり(小学2年生)
- ◆川の生き物調査(小学3年生)
- ◆森林土壌の働きを知る流水実験(小学4年生)
- ◆植林体験(小学5年生)
- ◆間伐、枝打ち体験(中学1年生)
- ◆学校周辺の自然観察(特別支援学校中学部1~3年生)
- ◆小学生への出前講座(森林教室)(農林高校3年生)



植林体験



木育教室の様子



木のアクセサリづくり



川の生き物調査

○ぎふ木育キャラバン及びサポーター養成

下記の3箇所できふ木育キャラバンを実施し、木に触れ合い親しむ機会を創出することができました。

- 5月 花フェスタ記念公園(可児市)
- 8月 じゅうろくプラザ(JR岐阜駅北)
- 3月 ハートピア古川(飛騨市)

また、可児市・飛騨市のキャラバンの実施前には、木育に興味のある地元住民を対象に研修会を実施し、地域で木育を推進する担い手を育成しました。



18 森から生まれる環境価値普及促進事業

(H27 実績額 : 3,425 千円 / H27 予算額 : 5,000 千円)

【事業概要】 カーボン・オフセットに取り組む団体等への支援、清流の国ぎふ J-VER の県内外への普及啓発・販売促進

【担当課】 環境生活部 環境管理課

1 事業の目的

- ・森林資源の整備を推進し、森林の温室効果ガス吸収源としての新たな環境価値に着目したカーボン・オフセットの取組みについて、県内外への普及啓発を図るとともに、清流の国ぎふ J-VER (岐阜県内から創出されたオフセット・クレジット) の販売促進を図ります。

2 事業の内容

- ①カーボン・オフセットイベントを行う市町村・団体等への支援 (補助金)
 - ・カーボン・オフセットイベント開催やオフセット商品の開発を行う団体への支援
 - 補助率：補助対象経費の 1 / 2 以内 (補助金の上限額 200 千円)
- ②県内外への普及啓発・販売促進
 - ・清流の国ぎふ J-VER の活用相談窓口の開設、企業等への訪問 PR、県内外イベントへのブース出展、カーボン・オフセット商品の物産展の開催等

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値 / 計画値	H27 年度までの実績値 / 5 年間の目標値
カーボン・オフセットを行う団体への支援	5 年間で県内全市町村等が取り組める件数	2 団体 / 9 団体 * 実施箇所 資料編参照	21 団体 / 45 団体
イベント出展等の普及啓発件数	県内外イベントへのブース出展件数	7 件 / 5 件	—

4 事業担当課における自己評価

- ・委託事業において 7 回のイベント出展による岐阜県産 J-VER の周知とフリーダイヤル相談窓口の設置及び訪問による PR 活動を実施しました。
- ・補助事業では、採択件数が計画値を下回ったものの、2 件のカーボン・オフセットイベントには計約 2,200 人が来場し、カーボン・オフセットの取組みの普及啓発を図ることができました。
- ・事業実施により、平成 27 年度は岐阜県産 J-VER を 562t-CO2 販売することができました。
- ・この結果、岐阜県産 J-VER の認証量 69,741t-CO2 に対し、販売量 (累計) は 3,125t-CO2、販売率は 4.5% となり、計画値 2.7% を大きく上回りました。
- ・補助事業については申請団体が減少していることから、相談窓口等を通じ、積極的な PR と団体の掘り起しが必要です。

5 事業評価審議会における第三者評価

6 平成27年度事業の実施状況

(1) カーボン・オフセットイベントを行う市町村・団体等への支援

カーボン・オフセットイベントの開催について2団体へ支援を行いました【表1】。
これらの事業により、合計7トンの二酸化炭素が清流の国ぎふ J-VER によってオフセットされました。

【表1】支援先団体一覧

No	事業主体	カーボン・オフセットの実施事業（オフセット量）
1	大垣市バレーボール協会	「第6回水の都杯9人制女子バレーボール選抜優勝大会」の開催（2t-CO2）
2	一般社団法人 相続安心支援センター	「せいのういきいき終活フェア2015」の開催（5t-CO2）



水の都杯9人制女子バレーボール選抜
優勝大会(大垣市バレーボール協会)



せいのういきいき終活フェア2015
(一般社団法人 相続安心支援センター)

(2) 県内外への普及啓発・販売促進

清流の国ぎふ J-VER の活用相談窓口の開設や、企業・団体向けの活用セミナーを行い、清流の国ぎふ J-VER を活用したカーボン・オフセットの取組みへのアドバイスやコンサルティングを行いました。

また、県内3箇所、県外4箇所（東京、名古屋）で開催されたイベントでブース出展を行い、カーボン・オフセットの取組み及び清流の国ぎふ J-VER の PR を実施しました。

さらに、企業の環境担当者等を対象とした研修ツアーを実施しました。清流の国ぎふ J-VER のプロジェクト事業者及び同クレジットを活用したカーボン・オフセット商品販売事業者を訪問しました。



研修ツアー

19 エコツアーリズム促進事業

(H27実績額：7,272千円／H27予算額：9,568千円)

【事業概要】エコツアーリズム連携会議の開催、団体への支援

【担当課】環境生活部 自然環境保全課

1 事業の目的

岐阜県の豊かな自然を活かしたエコツアーを実施する団体等の商業的自立を促し、エコツアーリズムの普及・定着を図ります。

2 事業の内容

- ①エコツアーリズム連携会議の開催
- ②エコツアーリズムに取り組む団体の支援
 - 補助対象者：市町村、団体等
 - 補助率：10／10（補助金の上限額1,500千円）

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値／計画値	H27年度までの実績値 ／5年間の目標値
連携会議の開催数	連携会議の開催回数	1回／1回	4回／5回
実施団体数	補助金を受けて実施体制を整備する地域（団体）数	5団体／4団体	19団体／18団体

4 事業担当課における自己評価

- ・エコツアーリズム連携会議及び団体への支援、ともに計画通り事業を実施できました。
- ・県内のエコツアーリズム関係者との意見交換においては、地域間、異業種間の連携を深めることができました。
- ・エコツアーリズム推進体制の整備、地域資源の整備及びエコツアーガイドの育成などについて、5団体への支援を行い、エコツアー実施体制の強化を図ることができました。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

(1) エコツーリズム連携会議及びエコツーリズム経営セミナーの開催

エコツーリズム関係団体の情報収集や意見交換及び持続可能な運営体制の構築を学ぶ場として、連携会議及び経営セミナーを開催しました。

	連携会議	経営セミナー	経営セミナー (第2回)
開催 期日	平成28年 1月14日(木)	平成27年 8月27日(木)	平成28年 2月18日
開催 場所	中濃総合庁舎 (美濃市)	がんだて公園 (下呂市)	飛騨小坂ビジ ターセンター (下呂市)
参加 人数	29人	11人	9人



エコツーリズム経営セミナー

(2) エコツアーPRイベントの開催

県内で実施しているエコツアーへの県内外からの参加を促進するため、アウトドアショップ等において、PRイベントを10回実施しました。

(3) エコツーリズムに取り組む団体への支援

県内の5団体に対して補助金(総額:5,278千円)を交付しました。

団体名	事業内容
NPO法人 飛騨市・白川郷自然案内人協会	・地域資源の調査 ・地域資源などの整備 ・ガイド等の育成 等
一般社団法人 中津川観光協会	・地域資源等の整備 ・ガイド・プログラム作成 ・ガイドの育成 等
NPO法人 白川郷自然共生フォーラム	・ガイドの育成
有限会社 中尾温泉	・整備体制の強化 ・地域資源等の整備 ・エコツアーの企画 等
石徹白地区地域づくり協議会	・地域資源等の整備 ・ガイド・プログラムの作成 ・パンフレット等の作成 等

各団体の活動の様子



ガイドの育成
(自然参加プログラム実施状況)



エコツアーのガイド・プログラムの作成(カヤックモデルツアー)



ガイドの育成
(研修実施状況)

20-1 生物多様性に配慮した地域づくりの普及推進事業

※森林・環境税事業推進事業

(H27 実績額：187 千円／H27 予算額：1,000 千円)

【事業概要】 生物多様性シンポジウムの開催

【担当課】 環境生活部 自然環境保全課

1 事業の目的

県民、企業、市町村、民間団体等多様な主体がそれぞれの地域にとって「好ましい自然」とは何かを考え、生物多様性保全・再生に向けた行動につなげていく社会づくりを目指します。

2 事業の内容

- ・生物多様性シンポジウムの開催

(内容)

- ・生物多様性ぎふ戦略の概要説明や策定に携わった研究者や生物多様性の保全活動を実践する有識者等による講演
- ・各地域において生物多様性の保全活動を実施する団体等の活動報告、意見交換
- ・外来生物対策、生物多様性保全に係る専門家の派遣
- ・生物多様性ぎふデータベースの整備

(内容)

- ・生物多様性関連情報を整備し県HP内に「生物多様性ぎふデータベース」を構築

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値／計画値	H27 年度までの実績値 ／5 年間の目標値
生物多様性シンポジウムの開催	生物多様性シンポジウムの開催回数	1 回／1 回	8 回 ／別途計画による

4 事業担当課における自己評価

- ・県内で 1 回外来生物シンポジウムを開催した。シンポジウムには一般の県民をはじめ環境ボランティア・NPO、研究者・教員、学生、自治体職員など計 81 名の方に参加していただきました。講演では、カメ類外来種の現状や防除活動の実態、今後の対策など、広く啓発することができました。
- ・シンポジウムの活動報告においては、ニホンミツバチ飼育を通じて見た外来種、市町村の外来生物対策などについて情報提供を受け、その後意見交換を行い、問題点のあぶり出しや関係機関の連携を深めることができました。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

県内1会場で生物多様性シンポジウムを開催し、81名の方にご参加いただきました。

ストップ外来生物シンポジウム
(平成27年7月15日、岐阜県図書館)
参加人数：81名

○講演

・愛知学泉大学

教授 矢部 隆 氏

○活動報告

・ニホンミツバチ協会

・飛騨市環境課

【アンケートの結果】

アンケート回答者58名のうち、「理解できた」、「概ね理解できた」と回答したのは約97%。



生物多様性セミナーの様子

20-2 清流の国ぎふ森林・環境税事業推進事業

(H27実績額：12,024千円/H27予算額：15,700千円)

【事業概要】 森林・環境税の広報活動、事業評価委員会の開催

【担当課】 林政部 恵みの森づくり推進課

1 事業の目的

- ・森林・環境税を活用した各種事業の概要や事業過程、達成状況などを県民の皆様に理解していただくための広報PRを実施します。
- ・事業の透明性を確保するため、外部有識者や県民の代表者等で構成する第三者機関を設置し、各施策の取り組みへの意見や提案、事業実施後の評価を行います。

2 事業の内容

①森林・環境税事業の広報

- ・活用事業箇所・イベントにおける事業PR用のぼり、看板等の大々的な掲出
- ・マスメディアを活用した事業PRの実施
- ・県民フォーラム（事業実施者による成果発表会、意見交換会）の開催 など

②事業評価委員会の開催

第三者機関「清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価委員会」の設置、委員会の開催

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27年度 実績値/計画値	H27年度までの実績値 /5年間の目標値
森林・環境 基金事業の 広報	毎年の広報計画による	一式/一式	一式
事業評価審 議会の開催	7月(前年度事業の評価) 12月(実施事業への意見) 2月(提案事業への意見)	3回/3回	12回/15回

4 事業担当課における自己評価（広報関係分のみ）

- ・岐阜県で開催された、第39回全国育樹祭等の機会を活用し、森林・環境税に関する広報活動に努めることができました。
- ・また、事業実施時には、事業実施者に対しPR用のぼり旗の掲出や、看板・チラシ等への税の活用事業である旨の表示を条件とし、活用事業を通じた広報活動にも努めてきました。
- ・しかし平成27年9月に実施しました県政モニターアンケート調査結果では、森林・環境税の認知度（「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはある」という回答の割合）が49.7%と前年度に比べ12.2ポイント減少しました。
- ・特に、20～30代における認知度が低い傾向が続いており、こうした層への積極的な広報活動が必要です。
- ・年度末に開催した事業成果を発表するフォーラムに加え、親子で参加できる木に触れ合うイベントでの周知の強化や、これまでの環境税事業をPRする報告会を新たに開催するなど、今後も、様々な機会に県民に対して森林・環境税のPRに取り組んでいきます。

5 平成27年度事業の実施状況

◆森林・環境税の広報活動

(1) イベント会場等における広報

- ・第39回全国育樹祭でのPRブース【10/11】
- ・ぎふ山の日フェスタでのPRブース【8/1】
- ・森と木とのふれあいフェアでのPRブース【10/24,25】
など

(2) マスメディアを活用した事業PR

- ・県内全小学校全児童へ配布されるタブロイド紙への
広告記事掲載
- ・新聞での全国育樹祭特集記事「森林・環境税」シリーズ
の掲載
- ・水源林保全キャンペーンの実施

(3) 県民フォーラムの開催

- ・開催日：3月5日（土）
- ・場所：ソフトピアジャパンセンター（大垣市）
- ・内容：基調講演、活動報告会
- ・参加者数：153人

(4) 県民周知アンケート調査

実施名称	実施日	実施場所	回答数	森林・環境税の周知度	
平成27年度 県政モニター	9月	郵送、 ネット	410	○内容について知っている	19.5%
				○聞いたことはあるが内容は知らない	30.2%
				○今まで全く知らなかった	50.2%



全国育樹祭でのPR（揖斐川町）



森林・環境税に関する
県民フォーラム（大垣市）

◆清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価委員会の開催

開催	開催日	主な議事内容
第1回	7月8日 (水)	・H26事業の実績報告 ・H26事業の事業評価 ・H27事業の進捗報告
第2回	12月22日 (火)	・H28事業の方針案、予算案 ・基金事業の総括評価 ・木育拠点の整備
第3回	2月17日 (水)	・H28提案事業の採択



第1回事業評価審議会（県庁）

2 1 清流の国ぎふ市町村提案事業

(H27 実績額：106,823 千円／H27 予算額：125,000 千円)

【事業概要】市町村が提案する事業に対する助成

【担当課】環境生活部 自然環境保全課

林政部 恵みの森づくり推進課、県産材流通課、森林整備課

1 事業の目的

- ・清流の国ぎふ森林・環境税の考え方（制度案）で5つの施策に掲げる、①環境保全を目的とした水源林等の整備、②里山林の整備・利用の促進、③生物多様性・水環境の保全、④公共施設等における県産材の利用促進、⑤地域が主体となった環境保全活動の促進を効果的に推進します。

2 事業の内容

市町村が特に必要と考える事業に対し支援します。

○補助対象：市町村

○補助率：10／10以内（上限:5,000 千円、下限 500 千円／事業）

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	H27 年度 実績値／計画値	H27 年度までの実績 値／5 年間の目標値
実施の件数	市町村からの提案数	48 件／提案数による *実施一覧 資料編参照	229 件／提案数による

4 事業担当課における自己評価

- ・74 件の提案の中から採択された、28 市町村・48 件の事業について取組みが行われ、地域の森林・環境の課題解決の一助となりました。
- ・公募に際し、市町村に対する説明会や相談会を開催し、きめ細やかな支援を行った結果、森林が少なく比較的市街地の多い市町村でも活用が進みました。
- ・他市町村の実施事例を参考にして事業を計画する市町村や、地域団体のほか、他市町村と連携して取り組む市町村が見られ、更なる取組みの拡がり期待できます。

5 事業評価審議会における第三者評価

--

6 平成27年度事業の実施状況

平成27年度事業も過去3年と同様、将来を担う子どもたちへの環境教育の推進や環境保全を担う人材育成のための講座開催など、人づくりの観点からの提案が最も多くの割合を占めました。

特徴的な事業例として、新たに整備した庁舎への木製家具の設置（北方町）、全国育樹祭併催行事への来場者に地域の自然を紹介する巨樹・巨木林ツアーの開催（高山市）、低中層湿原での地元住民の方々と協働した環境調査の実施（瑞浪市）等が挙げられます。



里山案内人講座の開催
（可児市）

< 施策別提案事業の内容 >

施策の区分	件数	主な事業内容
里山林の整備・利用の促進	7	・住宅団地周辺森林の景観維持・安全確保のための整備 ・里山利用施設の遊歩道の整備 等
生物多様性・水環境の保全	12	・希少植物保全のための周辺整備の実施 ・特定外来生物の駆除及び住民への啓発活動 等
公共施設等における県産材の利用促進	8	・保育園の木製遊具設置 ・新庁舎への木製家具の導入 等
地域が主体となった環境保全活動の促進	21	・里山整備の担い手の育成講座 ・地域の自然と歴史を感じる巨樹・巨木ツアーの開催 等
合計	48	

< 市町村別実施件数 >

圏域	実施市町村と件数				計
岐阜圏域	岐阜市 1件	羽島市 2件	各務原市 3件	山県市 2件	11件
	本巣市 1件	北方町 2件			
西濃圏域	大垣市 1件	垂井町 1件	安八町 2件	揖斐川町 2件	9件
	池田町 1件	大野町 2件			
中濃圏域	美濃市 2件	郡上市 1件	美濃加茂市 2件	可児市 3件	14件
	坂祝町 1件	富加町 1件	八百津町 1件	白川町 2件	
	御嵩町 1件				
東濃圏域	多治見市 3件	瑞浪市 1件	中津川市 4件	恵那市 1件	9件
飛騨圏域	下呂市 1件	高山市 3件	飛騨市 1件		5件
				合計	48件

第4章 平成27年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業総括表

施策区分	事業名	5年間の事業計画量	5力年の必要額(当初)	H24年度事業				H25年度事業				H26年度事業				H27年度事業				
				当初予算額	計画量	実績額	実績量	当初予算額	計画量	実績額	実績量	当初予算額	計画量	実績額	実績量	当初予算額	計画量	実績額	実績量	
I 環境保全を目的とした水源林等の整備	1-1 環境保全林整備事業	15,000ha	2,435,000	358,000	2,200ha	285,110 (295,866)	1,633ha	447,800	3,000ha	217,609 (393,009)	2,181ha	433,262 (644,320)	3,300ha	332,573 (504,205)	2,643ha	486,508 (725,588)	3,500ha	449,087 (646,385)	3,382ha	
	1-2 水源林境界明確化促進事業	400ha (H25~H28)		—	—	—	—	15,170	100ha	11,580	79.33ha	15,170	100ha	9,865	68.21ha	15,170	100ha	11,502	85.33ha	
	1-3 県民協働による森の通信簿事業	11団体 (H26~H28)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	5,000	5団体	3,827	5団体	3,000	3団体	2,866	3団体
	2-1 水源林公有林化支援事業	150ha		75,000	10,000	20ha	3,224	4.03ha	20,000	40ha	9,937	11.30ha	22,000	35ha	27,426	32.85ha	24,228	35ha	21,738	25.63ha
			2,510,000	368,000		288,334		482,970		239,126		475,432		373,691		528,906		485,193		
II 里山林の整備・利用の促進	3 里山林整備事業	2,600ha	395,000	58,000	280ha	50,194	240.83ha	105,892	400ha	108,821	454.31ha	223,625	600ha	273,784	923.92ha	208,868	600ha	252,162	544.44ha	
	4 環境保全モデル林整備事業	5箇所剪定・整備	55,000	3,800	1箇所	3,160	選定1箇所	50,000	選定1箇所 整備1箇所	47,499	選定1箇所 整備1箇所	55,000	選定1箇所 整備1箇所	50,153	選定2箇所 整備1箇所	105,000	選定1箇所 整備2箇所	93,241	選定1箇所 整備2箇所	
			450,000	61,800		53,354		155,892		156,320		278,625		323,937		313,868		345,403		
III 生物多様性水環境の保全	5-1 流域清掃活動推進事業	5流域	221,000	2,300	2流域	2,066	2流域	3,300	3流域	2,635	3流域	4,300	4流域	2,045	3流域	3,300	5流域	604	3流域	
	5-2 流域協働による効率的な河川清掃事業	5流域		25,000	2流域	24,998	2流域	37,000	3流域	36,812	3流域	49,300	4流域	49,299	4流域	49,300	5流域	44,978	3流域	
	6 イタセンバラ生息域外保全推進事業	1箇所	20,200	15,700	1箇所	13,857	1箇所	800	1箇所	329	1箇所	744	1箇所	581	1箇所	618	1箇所	588	1箇所	
	7-1 野生生物保護管理事業(ニホンジカ)	市町村の実施計画による	339,750	11,250	600頭	11,575	1,362頭	39,900	1600頭	21,141	1,884頭	67,000	2,654頭	67,186	6,363頭	80,000 (104,400)	3,100頭	45,208 (84559)	2,916頭	
	7-2 野生生物保護管理事業(オリ・処理)	捕獲オリ 500基 処理設備 50基		1,800	オリ100基 処理10基	438	オリ74基 処理2基	1,800	オリ100基 処理10基	234	オリ34基 処理1基	1,800	オリ100基 処理10基	135	オリ35基 処理0基	1,800	オリ75基 処理10基	811	オリ88基 処理0基	
	7-3 野生生物保護管理事業(担い手)	25人		2,500	5人	436	1人	2,500	5人	2,338	6人	2,500	5人	1,651	4人	2,500	5人	3,083	7人	
	8 野生動物総合対策推進事業	1機関	104,000	20,800	1機関	20,580	1機関	20,800	1機関	20,717	1機関	21,248	1機関	21,013	1機関	21,248	1機関	20,982	1機関	
	9-1 生きものにぎわうため池再生事業	25箇所	116,000	2,500	5箇所	2,405	5箇所	2,500	5箇所	2,483	5箇所	2,500	5箇所	2,376	5箇所	3,000	5箇所	2,516	6箇所	
	9-2 生きものにぎわう水田再生事業	5地区		3,000	1地区	1,749	1地区	3,000	1地区	2,166	1地区	3,000	1地区	2,237	1地区	4,000	1地区	2,990	3地区	
	9-3 里地里川生態系保全支援事業(団体)	延べ20団体		10,200	4団体	7,153	4団体	10,200	4団体	7,217	5団体	10,200	4団体	9,506	5団体	20,200	4団体	9,584	5団体	
	9-4 里地里川生態系保全支援事業(市町村)	延べ25市町村		5,000	5市町村	3,033	4市町	5,000	5市町村	4,855	6市町	5,000	5市町村	5,173	6市町	8,570	5市町村	8,113	6市町	
	10 河川魚道の機能回復事業	点検魚道 673箇所 修繕魚道 253箇所	280,000	50,000	点検673箇所 修繕50箇所	44,830	点検673箇所 修繕33箇所	50,000	点検673箇所 修繕50箇所	4,999 (215,613)	点検672箇所 修繕40箇所	70,000 (292,000)	点検672箇所 修繕50箇所	69,862 (298,605)	点検672箇所 修繕50箇所	50,000 (250,000)	点検672箇所 修繕50箇所	49,969 (316,482)	点検672箇所 修繕99箇所	
11 地域協働水質改善事業	1地域	30,000	2,000	1地域	855	1地域	6,028	1地域	6,712	1地域	7,742	1地域	3,693	1地域	8,673	1地域	8,484	1地域		
12 上流域と下流域の交流事業	延べ75回	52,500	9,000	15回	7,578	17回	9,000	15回	7,546	16回	9,252	15回	7,860	13回	9,997	20回	9,154	18回		
			1,047,450	161,050		141,553		191,828		120,184		254,586		242,617		263,206		207,064		
IV 公共施設等における県産材の利用促進	13 木の香る快適な教育施設等整備事業	65施設	716,550	85,800	6施設	37,424	3施設	146,970	9施設	140,156	9施設	208,000	13施設	188,405	12施設	158,000	8施設	102,755	10施設	
	14-1 ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業	6,000セット	90,000	9,000	900セット	6,810	688セット	12,000	1,200セット	9,082	767セット	12,000	1,200セット	11,144	578セット	31,000	1,200セット	28,795	1,895セット	
	14-2 ぎふの木育教材導入支援事業	250施設		5,000	50施設	3,946	70施設	5,000	50施設	3,822	89施設	5,000	50施設	2,400	51施設	4,000	50施設	3,227	57施設	
	15-1 木質バイオマス利用施設導入促進事業	ボイラー 10施設 ストーブ 500台	365,000	43,105	ボイラー1施設 ストーブ191台	16,428	ボイラー1施設 ストーブ97台	35,000	ボイラー1施設 ストーブ45台	2,351	ボイラー0施設 ストーブ75台	35,000	ボイラー2施設 ストーブ100台	10,054	ボイラー0施設 ストーブ42台	35,000	ボイラー2施設 ストーブ100台	27,495	ボイラー1施設 ストーブ51台	
	15-2 県民協働による未利用材の搬出促進事業	20,000t		4,245	3,130t	748	512.3t	6,340	4,200t	1,469	963.6t	6,400	4,200t	3,434	2,233t	6,400	4,200t	4,493	2,971	
			1,171,550	147,150		65,356		205,310		156,880		266,400		215,437		234,400		166,765		
V 地域が主体となった環境保全活動の促進	16 清流の国ぎふ地域活動支援事業	100件(団体)	80,000	12,000	20件	13,304	31件	16,000	20件	18,885	36件	23,000	30件	15,881	36団体	23,000	30件	19,280	42団体	
	17 森と木と水の環境教育推進事業	400校(園)	50,000	7,500	80校	4,879	100校	10,000	100校	7,468	103校	12,000	80校	9,458	124校	15,000	80校	12,765	113校	
	18 森から生まれる環境価値普及促進事業	45団体、普及啓発	25,000	5,000	9団体	4,547	8団体	5,000	9団体	4,372	7団体	5,000	9団体	3,490	4団体	5,000	9団体	3,425	2団体	
	19 エコツーリズム促進事業	15団体→18団体 会議5回	25,000	5,000	3団体	4,626	4団体 1回	5,000	3団体	4,637	5団体 1回	10,060	4団体	7,802	5団体 1回	9,568	4団体 1回	7,272	5団体 1回	
	20-1 生物多様性に配慮した地域づくり普及推進事業	一式	25,000	1,000	一式	0	一式	1,000	一式	529	一式	4,000	一式	854	一式	1,000	一式	187	一式	
	20-2 清流の国ぎふ森林・環境税事業推進事業	一式、15回		1,500	一式、3回	936	一式、3回	4,000	一式、3回	3,281	一式、3回	9,800	一式、3回	8,126	一式	15,700	一式、3回	12,024	一式	
			205,000	32,000		28,292		41,000		39,172		63,860		45,611		69,268		54,953		
I~V共通	21 清流の国ぎふ市町村提案事業	提案数による	500,000	100,000	提案数による	54,481	66件	100,000	提案数による	85,690	62件	125,000	提案数による	110,711	53件	125,000	提案数による	106,823	53件	
合計			5,884,000	870,000		631,370		1,177,000		797,372		1,463,903		1,312,002		1,534,648		1,366,205		

清流の国ぎふ森林・環境基金事業 平成27年度実績一覧

I 環境保全を目的とした水源林等の整備

1-1 環境保全林整備事業(市町村・林業事業体等補助)

No	整備対象市町村	実施場所等	実施面積 (ha)	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	岐阜市	岐阜市則松大洞谷他	21.96	3,930,241	2,439,025
2	山県市	山県市葛原字小津洞他	415.60	72,148,240	33,271,301
3	本巣市	本巣市根尾神所字保木山他	194.08	40,357,169	26,582,758
4	大垣市	大垣市上石津町細野熊坂他	96.55	18,124,266	13,847,764
5	海津市	海津市南濃町太田杉生平他	33.87	6,500,395	3,732,906
6	垂井町	垂井町大滝東谷他	51.79	11,385,733	8,741,481
7	関ヶ原町	関ヶ原町野上間谷他	17.91	4,128,255	3,197,383
8	揖斐川町	揖斐川町谷汲神原水掛他	249.69	46,047,425	33,873,939
9	池田町	池田町願成寺	4.54	1,046,470	574,537
10	関市	関市洞戸上外戸他	132.41	25,118,490	19,438,635
11	美濃市	美濃市片知屋官他	100.52	18,812,896	13,917,943
12	郡上市	大和町神路仏石他	425.24	77,020,384	60,956,749
13	美濃加茂市	美濃加茂市下米田町則光	10.00	1,925,000	1,925,000
14	可児市	可児市西帷子	10.00	2,305,000	2,305,000
15	坂祝町	坂祝町勝山他	5.00	1,152,500	1,152,500
16	富加町	富加町大平賀山崎他	5.72	1,090,200	1,090,200
17	川辺町	川辺町下麻生	18.00	4,149,000	4,149,000
18	七宗町	七宗町上麻生他	20.00	4,344,000	4,344,000
19	八百津町	八百津町久田見字亀淵他	112.00	21,315,962	21,315,962
20	白川町	白川町赤河他	100.00	18,900,000	8,694,001
21	東白川村	東白川村越原栃山他	60.52	11,233,121	5,261,634
22	御嵩町	御嵩町大久後小洞他	12.00	2,766,000	2,766,000
23	瑞浪市	瑞浪市稲津町萩原他	4.69	819,343	434,445
24	中津川市	中津川市阿木字奥ノ平他	155.18	29,650,722	17,805,062
25	恵那市	恵那市東野字花無山他	336.81	70,205,250	44,780,406
26	下呂市	下呂市馬瀬中切字上ヶ洞他	420.73	76,121,944	57,859,087
27	高山市	高山市国府町糠塚字前ヶ洞他	200.14	39,493,306	28,295,220
28	飛騨市	飛騨市宮川町万波他	160.67	30,305,203	20,940,226
29	白川村	白川村島字小林他	6.17	1,099,259	505,660
計				641,495,774	444,197,824
県事務費				4,889,109	4,889,109
合計			3381.79	646,384,883	449,086,933

1-2 水源林境界明確化促進事業(市町村補助)

No	整備対象市町村	実施場所等	実施面積 (ha)	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	高山市	高山市荘川町三谷 ほか	85.33	11,475,000	11,475,000
計				11,475,000	11,475,000
県事務費					26,939
合計				11,475,000	11,501,939

1-3 県民協働による森の通信簿事業

No	圏域(市町村)	事業主体	活動を行う水源地域の名称(水道区分・取水状況)	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	中濃(郡上市)	高鷲町林業グループ	切立水源(簡易水道・河川自流)	403,822	403,000
2	中濃(白川町)	特定非営利活動法人 美濃白川どんぐり会	黒川浄水場(簡易水道・河川自流)	582,346	500,000
3	東濃(恵那市)	特定非営利活動法人 奥矢作森林塾	岩倉取水(簡易水道・河川自流)	510,117	500,000
計				1,496,285	1,403,000
県事業(委託事業:5つのグループが行う森の通信簿の活動指導及び森の通信簿の作成を岐阜大学に委託)				1,382,400	1,382,400
県事務費				80,692	80,692
合計				2,959,377	2,866,092

2 水源林公有林化支援事業(市町村補助、県事業)

No	実施市町村	事業場所	箇所数	実施面積 (ha)	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	白川町	加茂郡白川町黒川字丸山6793-2 他	1	6.91	8,692,096	8,692,096
2	八百津町	加茂郡八百津町福地字蔵橋1-3 他	1	18.72	20,389,300	10,000,000
計			2	25.63	29,081,396	18,692,096
県事務費					54,418	54,418
県事業(委託事業:女性のための森と水の写真教室)					2,991,592	2,991,592
合計					32,127,406	21,738,106

清流の国ぎふ森林・環境基金事業 平成27年度実績一覧

II 里山林の整備・利用の促進

3 里山林整備事業(市町村・団体等補助)

No	整備対象市町村	森林整備関係										施設整備関係		事業費 千円	森林・環境税 円	
		整備対象事業地		侵入竹の除去 ha	森林病害虫の防除 ha (m3)	広葉樹等の植栽 ha	修景等の環境保全 ha	不用木の除去 ha	危険木の除去 ha	バッファー整備 ha	附帯施設整備 一式	整備面積 ha	既存施設の改修			
		箇所数	所在地										施設数			保全対象施設名
1	岐阜市	13	長良古津ほか	0.41		0.60	7.94	3.04	0.23	8.23	1箇所	20.45	1	ながら川ふれあいの森	10,507	10,324,120
2	各務原市	1	鞠沼茅場					5.04				5.04	—		1,890	920,000
3	山県市	5	伊自良湖、平井坂ほか					72.09	0.55			72.64	—		17,082	16,998,684
4	本巣市	1	根尾板所									—	1	淡墨公園	3,699	3,680,000
5	大垣市	1	青墓									—	1	憩いの森	1,782	1,782,000
6	海津市	2	南濃町羽根 南濃町太田									—	2	月見の森 石津御岳	7,622	6,478,000
7	揖斐川町	11	谷汲名礼、谷汲徳穂ほか				4.00	47.33	0.32	18.54	1箇所	70.19	—		26,823	26,444,000
8	美濃市	2	百沢、大矢田	0.11				5.10	0.32			5.53	—		3,188	3,134,000
9	関市	11	迫間前平、千疋裏山ほか	0.76				41.69	3.37			45.82	—		23,090	22,425,000
10	郡上市	4	明宝奥住、石徹白ほか					11.10	0.88			11.98	2	明宝音楽の森、城山花咲の森	10,799	10,578,280
11	美濃加茂市	8	伊深町大洞、山之上新宮ほか					27.92		13.00		40.92	1	健康の森	21,304	19,684,000
12	可児市	6	東帷子、兼山ほか					19.71		1.94		21.65	2	可児やすらぎの森、鳩吹山	11,326	11,326,400
13	坂祝町	7	勝山城ヶ洞、勝山上新宮ほか					2.90	0.80	4.94		8.64	1	勝山西部登山道	12,780	12,744,300
14	富加町	5	加治田郷ヶ洞ほか					30.25	0.10	2.00		32.35	1	梨割山遊歩道	13,918	13,918,000
15	川辺町	5	下麻生、上川辺ほか					14.85	0.20	3.00		18.05	—		6,570	6,570,000
16	七宗町	6	上麻生、神測					9.60	0.53			10.13	—		5,140	5,140,000
17	白川町	2	白山高平、河岐柿ヶ平					72.25				72.25	—		14,040	14,040,000
18	御嵩町	4	大久後、中						0.26	3.00		3.26	1	みたけの森	7,893	7,893,120
19	中津川市	11	茄子川坂本、付知町護山ほか					17.51	1.20			18.71	—		6,632	6,570,161
20	恵那市	1	明智町城山					0.46				0.46	—		264	92,000
21	下呂市	25	萩原町中呂、乗政ほか			0.32	2.63	20.01	5.18	11.03	3箇所	39.17	—		19,963	19,058,170
22	高山市	32	上岡本町、新宮町ほか		(66.48)				5.85	3.42		9.27	—		20,338	20,169,015
23	飛騨市	4	古川町杉崎、古川町黒内ほか				16.90	14.43		1.90		33.23	—		6,296	6,296,400
24	白川村	4	萩町、馬狩、鳩谷、平瀬		(180.0)	0.50			1.50	2.70		4.70	—		5,724	5,724,000
計				1.28	(517.9)	1.42	31.47	415.28	21.29	73.70	5箇所	544.44	13		258,670	251,989,650
県事務費																172,694
合計																252,162,344

4 環境保全モデル林整備事業(県事業) 2カ年計画

No	実施内容	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
平成24年度 選定箇所(美濃市古城山)			
1	平成26年4月23日～6月6日 環境保全モデル林(美濃市古城山地区)の標識設置等工事(工事費:2,721,600円)		
2	平成26年6月8日 古城山山開きイベントの開催		
3	平成26年9月18日 新規プレイヤーとして1団体(NPO法人グリーンウッドワーク協会)が加入(計5団体となる)		
4	平成27年10月17日 「ろうきん森の学校」開校式(「ろうきん森の学校」は、労働金庫連合会が活動資金を支援し、NPO法人ホールアース研究所を主幹団体として実施する環境教育事業)		
平成25年度 選定箇所(可児市我田の森)			
1	平成26年7月～平成27年5月 環境保全モデル林の施設整備(管理棟、パイオトイレ、製材機、作業道等) ※一部23,262,400円を平成27年度予算に繰り越し		
2	平成27年5月23日 オープニング・セレモニー及びオープニング・イベント開催	93,241,341	93,241,341
平成26年度 選定箇所(土岐市土岐高山城跡の森)			
1	平成27年6月8日 岐阜県環境保全モデル林第3号「土岐高山城跡の森」の整備推進に関する協定締結		
2	平成27年11月～平成28年6月 環境保全モデル林の施設整備(管理棟、パイオトイレ、展望台(東屋)、作業道等) ※一部28,974,360円を平成28年度予算に繰り越し		
平成26年度 選定箇所(中津川市加子母福崎の森)			
1	平成27年6月17日 岐阜県環境保全モデル林第4号「加子母福崎の森」の整備推進に関する協定締結		
2	平成27年11月～平成28年3月 環境保全モデル林の施設整備(管理棟、パイオトイレ、木材搬出架線、木馬道、作業道等)		
平成27年度 選定箇所(揖斐川町城台山)			
1	平成27年3月23日～5月22日 環境保全モデル林の公募		
2	平成27年8月12日 第5号「揖斐川町城台山」選定		
3	平成27年9月15日 里山活動をするプレイヤーを選定		
4	平成27年10月16日 第1回整備・活用計画策定会議開催		
5	平成27年11月11日 現地視察		
6	平成28年1月22日 第2回整備・活用計画策定会議開催		
7	平成28年3月25日 第3回整備・活用計画策定会議開催	93,241,341	93,241,341
合計			

清流の国ぎふ森林・環境基金事業 平成27年度実績一覧

Ⅲ 生物多様性・水環境の保全

5 流域清掃活動推進事業

5-1 流域清掃活動推進事業(団体補助)

No	事業主体	対象流域	実施内容	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	特定非営利活動法人 明るい未来のある地域づくりを進める会	土岐川	・平成27年10月18日に流域清掃活動実施 ・市民団体、企業、行政との連携体制づくり	503,613	503,000
計				503,613	503,000
県事務費				101,162	101,162
合計				604,775	604,162

5-2 流域協働による効率的な河川清掃事業(県事業)

No	実施内容		事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	長良川流域 長良川 (岐阜市長良古津)	河道内の竹の伐採・除根・処分	4,999,320	4,999,320
2	長良川流域 長良川 (美濃市生楡)	河道内の竹の伐採・処分、流木撤去	4,213,080	4,213,080
3	長良川流域 板取川 (美濃市長瀬)	河道内の樹木及び竹の伐採・処分	3,426,840	3,426,840
4	長良川流域 津保川 (関市倉知)	河道内の樹木及び竹の伐採・処分、がれき処理	4,104,000	4,104,000
5	長良川流域 その他9箇所(長良川、武儀川他)	河道内樹木の伐採・処分等	3,255,120	3,255,120
6	揖斐川流域 粕川 (池田町舟子)	河道内樹木の伐採・処分	886,680	886,680
7	揖斐川流域 杭瀬川 (池田町草深)	河道内樹木の伐採・処分	113,400	113,400
8	揖斐川流域 桂川 (揖斐川町上ミ野)	河道内樹木の伐採・処分	986,040	986,040
9	揖斐川流域 府内川 (揖斐川町谷汲長瀬)	河道内樹木の伐採・処分	818,640	818,640
10	揖斐川流域 その他22箇所(花田川、東川他)	河道内樹木の伐採・処分等	17,175,240	17,175,240
11	土岐川流域 土岐川 (瑞浪市土岐町)	河道内及び法面の樹木の伐採・処分	747,360	747,360
12	土岐川流域 平園川 (多治見市笠原町)	河道内樹木の伐採・処分	999,000	999,000
13	土岐川流域 妻木川 (土岐市土岐津町)	河道内樹木の伐採・処分	528,120	528,120
14	土岐川流域 肥田川 (土岐市肥田町)	河道内樹木の伐採・処分	869,400	869,400
15	土岐川流域 その他4箇所(高田川、狭間川他)	河道内樹木の伐採・処分等	1,855,440	1,855,440
			44,977,680	44,977,680

6 イタセンパラ生息域外保全推進事業(県事業) 5カ年計画

No	実施内容	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	イタセンパラ域外保全推進事業費	587,550	587,550
合計		587,550	587,550

清流の国ぎふ森林・環境基金事業 平成27年度実績一覧

7 野生生物保護管理事業

7-1 個体数調整を目的としたニホンジカの捕獲事業

(市町村補助)

No	実施市町村	捕獲実施地域	実施期間	捕獲頭数	捕獲従事者数 (人)	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	山県市	山県市内全域	H27.11.15～ H28.2.15	106 (オス59、メス47)	0	1,060,000	1,060,000
2	本巣市	本巣市北部地域	H27.11.15～ H28.2.15	264 (オス95、メス169)	0	2,640,000	2,640,000
3	大垣市	旧上石津町内	H27.11.15～ H28.3.15	30 (オス8、メス22)	0	300,000	300,000
4	養老町	養老庁内全域	H27.7.1～ H28.3.31	50 (オス22、メス28)	17	585,000	585,000
5	垂井町	樽井町市之尾地内	H27.11.1～ H28.1.31	10 (オス5、メス5)	0	100,000	100,000
6	揖斐川町	揖斐川町全域	H27.11.15～ H28.2.29	650 (オス289、メス361)	0	6,500,000	6,500,000
7	池田町	池田町全域	H27.11.15～ H28.3.15	99 (オス40、メス59)	0	993,366	993,366
8	七宗町	七宗町全域	H27.11.15～ H28.3.15	145 (オス64、メス81)	0	1,450,000	1,450,000
9	白川町	白川町一円地内	H27.11.15～ H28.3.15	48 (オス20、メス28)	200	1,480,000	1,480,000
10	関市	関市全域	H27.11.15～ H28.3.15	218 (オス118、メス100)	0	2,180,000	2,180,000
11	郡上市	郡上市全域	H27.11.15～ H28.3.15	774 (オス353、メス421)	0	7,740,000	7,740,000
12	高山市	高山市全域	H27.11.15～ H28.3.15	94 (オス49、メス45)	79	1,335,000	1,335,000
13	下呂市	下呂市内全域	H27.11.15～ H28.3.15	428 (オス153、メス275)	126	5,110,000	5,110,000
合計				2916 (オス1275、メス1641)	422	31,473,366	31,473,366

(わな捕獲を中心とした捕獲体制モデル事業に係る補助)

No	事業主体	地区数	地区名	事業の内容	免許取得 者数	捕獲頭数	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	大垣市	1	多良地区	大量のくくりわな等を活用した地域住民総出による捕獲の実施などわな捕獲を中心とした新たな捕獲体制の整備	11	31	1,200,000	1,200,000
2	海津市	1	南濃町	大量のくくりわな等を活用した地域住民総出による捕獲の実施などわな捕獲を中心とした新たな捕獲体制の整備	0	108	800,000	800,000
3	垂井町	1	市之尾地内	大量のくくりわな等を活用した地域住民総出による捕獲の実施などわな捕獲を中心とした新たな捕獲体制の整備	0	10	267,688	267,688
4	郡上市 (郡上市鳥獣被害防止対策協議会)	3	大和町下栗巣 大和町上栗巣 大和町下古道	大量のくくりわな等を活用した地域住民総出による捕獲の実施などわな捕獲を中心とした新たな捕獲体制の整備	5	4	3,547,571	3,547,571
4	下呂市	1	中原地区	大量のくくりわな等を活用した地域住民総出による捕獲の実施などわな捕獲を中心とした新たな捕獲体制の整備	3	1	1,200,000	1,200,000
合計		7			19	154	7,015,259	7,015,259

(認定事業者育成事業)(団体補助)

No	事業主体	事業の内容	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	特定非営利活動法人 Wildlife Service Japan	鳥獣捕獲等事業者として認定を受けるために必要な各種講習等の実施及び受講	296,490	296,490
合計			296,490	296,490

(わな捕獲技術向上推進事業(県事業))

No	実施内容	開催回数	参加者数	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	わな捕獲技術向上推進研修会の開催	3回	141	1,987,200	1,987,200
県事務費				58,616	58,616
合計				2,045,816	2,045,816

(指定管理鳥獣捕獲等事業)

No	実施内容	実施期間	捕獲頭数	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	県が主体で実施する、集中的かつ広域的な個体数調整捕獲事業	11月～3月	60頭	43,768,851	4,377,851
合計				43,768,851	4,377,851

7-2 アライグマ等を捕獲するためのオリ等の購入事業 (市町村補助)

No	実施市町村	購入予定品の規格(mm)	オリの 基数	処理施設の 基数	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	岐阜市	W290×H290×D650	20	0	121,716	60,858
2	羽島市	W280×H280×D650	4	0	28,944	14,472
3	各務原市	W290×H290×D650	3	0	25,466	12,733
4	笠松町	W265×H315×D815	5	0	56,700	28,350
5	岐南町	W350×H370×D940	5	0	49,680	24,840
6	富加町	W410×H520×D1140	6	0	65,448	32,724
7	多治見市	W265×H315×D815	15	0	139,320	69,660
合計			58	0	487,274	243,637

(団体補助)

No	実施市町村	購入予定品の規格(mm)	オリの 基数	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	金華山えこねっと	W265×H315×D815	10	186,800	186,800
2	ぎふハンターネットワーク	W265×H315×D815 W254×H330×D1070 W310×H360×D910	20	380,576	380,576
合計			30	567,376	567,376

7-3 有害鳥獣捕獲等に従事する市町村職員の育成事業(市町村補助)

No	実施市町村	育成の内容	育成人員数	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	山県市	銃所持許可取得、銃等購入、有害捕獲従事者への登録	2	999,804	999,804
2	美濃加茂市	銃所持許可取得、銃等購入、有害捕獲従事者への登録	1	471,988	471,988
3	七宗町	銃所持許可取得、銃等購入、有害捕獲従事者への登録	1	396,980	396,980
4	中津川市	銃所持許可取得、銃等購入、有害捕獲従事者への登録	1	275,400	275,400
5	飛騨市	銃所持許可取得、銃等購入、有害捕獲従事者への登録	1	438,980	438,980
6	下呂市	銃所持許可取得、銃等購入、有害捕獲従事者への登録	1	500,000	500,000
合計			7	3,083,152	3,083,152

8 野生動物総合対策推進事業(県事業) 5カ年計画

No	実施内容	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	被害問題が大きい野生動物(哺乳類)に関する調査・研究 (狩猟者意識調査、集落ぐるみ対策支援、ニホンザル生息調査、野生動物保護管理の施策提言、サテライト授業の実施、教員免許講習の講座実施)	20,000,000	20,000,000
2	施策の企画立案の支援		
3	現場対応の技術的支援		
4	人材育成		
県事務費		981,665	981,665
合計		20,981,665	20,981,665

清流の国ぎふ森林・環境基金事業 平成27年度実績一覧

9 里地生態系保全支援事業

9-1 生きものにぎわうため池再生事業(県事業)

No	実施内容	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	農業用ため池 伊自良溜池(山県市) 外来種駆除	2,515,320	2,515,320
2	農業用ため池 追洞池(美濃加茂市) 外来種駆除		
3	農業用ため池 上野池(美濃加茂市) 外来種駆除		
4	農業用ため池 上之平2号(中津川市) 外来種駆除		
5	農業用ため池 浮沼ため池(恵那市) 外来種駆除		
6	農業用ため池 井戸上上の池(多治見市) 外来種駆除		
合計		2,515,320	2,515,320

9-2 生きものにぎわう水田再生事業(県事業)

No	実施内容	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	水田魚道の設置促進のための研修会の実施	2,993,764	2,993,764
2	水田魚道の効果検証のための調査		
合計		2,993,764	2,993,764

9-3 里地生態系保全支援事業(団体支援)

No	実施団体名	事業の内容	活動場所	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	東海タナゴ研究会	生物多様性の保全、復元を目的とした地域住民による里川管理の構築	海津市、養老町	2,630,000	2,500,000
2	特定非営利活動法人 山菜の里いび	耕作放棄地を有効活用し葉草の保全を実施	揖斐川町	2,344,000	2,344,000
3	かわせみの杜 関山田・棚田の会	耕作放棄地の再生、無農薬稲作(冬季湛水)の普及、畔、農作業通路、水路の整備、保全管理	関市	1,771,803	1,700,000
4	里山クラブ可児	棚田跡でのピオトップ池及び水路の整備	可児市	3,442,000	2,500,000
5	上白金生態景協議会	環境にやさしい畦畔管理方法のモデル的な実施と生態系保全に関連する水公園計画の立案	関市	489,411	489,000
計				10,677,214	9,533,000
県事務費				51,132	51,132
合計				10,728,346	9,584,132

9-4 里地生態系保全支援事業(市町村支援)

No	実施団体名	事業の内容	実施場所	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	笠松町	スクミリンゴガイの駆除	笠松町	1,246,162	623,081
2	瑞穂市	スクミリンゴガイの駆除	瑞穂市	1,894,707	947,353
3	本巣市	スクミリンゴガイの駆除	本巣市	1,976,400	988,200
4	岐南町	スクミリンゴガイの駆除	岐南町	1,182,382	500,000
5	各務原市	スクミリンゴガイの駆除	各務原市	8,100,000	4,050,000
6	輪之内町	スクミリンゴガイの駆除	輪之内町	2,009,677	1,004,838
合計				16,409,328	8,113,472

清流の国ぎふ森林・環境基金事業 平成27年度実績一覧

10 河川魚道の機能回復事業(県事業)

No	実施内容		事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	11月～3月	点検結果に基づく堆積土砂除去等の魚道の修繕(99箇所)	316,481,960	49,969,400
合計			316,481,960	49,969,400

11 地域協働水質改善事業(県事業) 5カ年計画

No	実施内容		事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	輪之内町地域協働水質改善協議会の運営、環境導水実施計画策定等に係る補助金交付		8,483,890	8,483,890
2	河川プロフィール調査の実施(13地点、年間5回 平成24年12月より継続実施)			
合計			8,483,890	8,483,890

12 上流域と下流域の交流事業(県事業)

実施内容							
No	開催日	コース名	開催場所	募集定員	参加人数	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	7月18日(土)	伊勢湾で遊んで学ぶ! シーカヤック体験と干潟の生きもの観察①	三重県津市・マリナー河芸	30	17	9,049,384	9,049,384
2	7月20日(月・祝)	長良川を見て感じて学ぶ! 生きもの観察とEボート川下り	岐阜市・長良川	24	15		
3	7月25日(土)～ 26日(日)	南飛騨馬瀬の里山を満喫! 沢登りと森のニンジャ体験	下呂市・美輝の里	24	22		
4	7月26日(日)	夏の涼と里山文化を五感で感じる揖斐春日の森	揖斐川町春日・春日森の文化博物館	24	16		
5	8月1日(土)	清流長良川をはぐくむ郡上を満喫! 沢登りと水の利用学習	郡上市八幡町	40	31		
6	8月2日(日)	森と水のつながりを学ぼう! 岐阜の宝もの「飛騨小坂の滝めぐり」	下呂市小坂町・小坂巖立公園	30	24		
7	8月7日(金)	清流の旅へ出発! 樽見ローカル鉄道運転体験&揖斐川生きもの観察①	本巣市・樽見鉄道 揖斐川町藤橋・水と森の学習館	24	26		
8	8月8日(土)	水面から涼を感じるカヌー体験と 長良川ローカル鉄道乗車&車両基地見学	郡上市八幡町	40	26		
9	8月9日(日)	アカウミガメのふるさと「吉崎海岸」と 環境未来館で学ぶ四日市の環境保全	三重県四日市市・吉崎海岸、四日市市公害と環境未来館	24	不催行 (最少催行人員未達)		
10	8月22日(土)	自然を全身で体感しよう! 中津川・けやき平のツリークライミング	中津川市・けやき平公園	40	17		
11	8月23日(日)	ツチノコ発見! 東白川村でゆったりのんびり カワゲラウオッチング	東白川村・こもれびの里	40	21		
12	8月29日(土)	伊勢湾で遊んで学ぶ! シーカヤック体験と干潟の生きもの観察②	三重県津市・マリナー河芸	40	23		
13	8月30日(日)	清流の旅へ出発! 樽見ローカル鉄道運転体験&揖斐川生きもの観察②	本巣市・樽見鉄道 揖斐川町藤橋・水と森の学習館	24	26		
14	9月13日(日)	森の保全活動から感じる岐阜の宝もの! 高層湿原と巨木原生林の「天生県立自然公園」	飛騨市・天生県立自然公園	22	16		
15	11月1日(日)	飛騨荘川の清流・巨木・滝を巡る! 里山サイクリングとピザ&クラフト手作り体験	高山市荘川町・OD-FARM荘川	24	24		
16	11月3日(火・祝)	地上と地底から水のつながりを学ぼう! ひるがの分水嶺と縄文洞ミステリーツアー	郡上市・分水嶺公園/縄文洞	24	25		
17	11月8日(日)	間伐・薪割り・うどん打ち! 東白川村の里山体験	東白川村・こもれびの里	40	23		
18	11月15日(日)	木にふれて森を学ぼう! 奥矢作の炭焼き&間伐体験	恵那市串原・奥矢作レクリエーションセンター	24	不催行 (最少催行人員未達)		
19	11月22日(日)	清流をたどり、森を感じよう! 樽見鉄道運転体験と森林浴オリエンテーリング	本巣市・樽見鉄道 揖斐川町藤橋・水と森の学習館	24	20		
20	1月9日(土)～ 10日(日)	冬の自然と食文化の魅力を満喫! 雪原ハイキングと高山ふるさと体験	高山市朝日町 高山市丹生川町	24	不催行 (最少催行人員未達)		
21	1月17日(日)	ジビエ料理もいただきます! 冬の郡上白鳥で雪遊び&アニマルトレッキング	郡上市白鳥町	30	18		
計			実施回数:18コース	616	390	9,049,384	9,049,384
県事務費						104,875	104,875
合計						9,154,259	9,154,259

清流の国ぎふ森林・環境基金事業 平成27年度実績一覧

IV 公共施設等における県産材の利用促進

13 木の香る快適な教育施設等整備事業(市町村・学校法人・社会福祉法人等補助)

No	事業主体	整備施設の名称	施設所在市町村	事業区分	規模(m2)	事業費(円)	森林・環境税(円)
1	学校法人 小島学園	木の香るだいちこども園 ※	各務原市	内装木質化	1,715	250,992,000	8,770,000
2	海津市	海津市立城南中学校	海津市	内装木質化	2,230	580,705,200	11,420,000
3	揖斐川町	谷汲デイサービスセンター	揖斐川町	木造化	528	311,008,000	8,976,000
4	関市	関市立関商工高等学校	関市	内装木質化	1,263	237,600,000	7,250,000
5	関市	関市立西部保育園	関市	内装木質化	978	197,640,000	6,890,000
6	社会福祉法人 清流会	きらら美濃加茂	美濃加茂市	木造化	642	103,753,000	10,914,000
7	多治見市	多治見市立星ヶ台保育園	多治見市	内装木質化	2,011	446,602,000	12,240,000
8	NPO法人ぎふ村	ぎふ村高齢者健康増進施設 ※	中津川市	木造化	972	216,000,000	16,524,000
9	社会福祉法人 たんぽぽ福祉会	就労継続支援事業所 くりくりの里中津川和風レストラン ※	中津川市	木造化	301	137,679,000	5,117,000
10	社会福祉法人清徳会	清徳会宙	高山市	内装木質化	2,334	696,816,000	14,530,000
計						3,178,795,200	102,631,000
県事務費						123,303	123,303
合計						3,178,918,503	102,754,303

※: H28年度へ完成を繰り越した事業

14-1 ぎふの木で学校まると木製品導入事業(市町村・学校法人・社会福祉法人等補助)

No	事業主体	導入先施設の名称	施設所在市町村	購入品	設置個数	事業費(円)	森林・環境税(円)
1	岐阜市	岐阜市立中央図書館(ぎふメディアコスモス)☆	岐阜市	角テーブル	12	1,823,040	400,000
2	社会福祉法人和光会	加納西保育園	岐阜市	角テーブル スタッキングチェア	6 21	531,360	246,000
3	社会福祉法人和光会	沖ノ橋保育園	岐阜市	角テーブル	6	304,560	141,000
4	社会福祉法人ともいき福祉会	三里保育園	岐阜市	園児用ロッカー(9人用) 園児用ロッカー(12人用) 園児用本棚 園児用椅子(0歳児) 園児用椅子(1歳児)	2 1 2 1 5	789,048	394,000
5	瑞穂市	瑞穂市図書館分館☆	瑞穂市	傾斜型両面書架	1	400,000	400,000
6	北方町	北方町新庁舎☆	北方町	可動本棚	1	450,360	400,000
7	北方町	北方町立図書館☆	北方町	置床 図書展示架 掲示板 本立て おもちゃ箱	4 1 2 14 2	398,736	389,880
8	社会福祉法人正木保育園会	正木保育園	羽島市	折りたたみテーブル スタッキングチェア	6 36	648,000	324,000
9	社会福祉法人八実会	石山保育園	海津市	本棚	1 1	815,400	388,000
10	社会福祉法人竜谷福祉会	ながさわ保育園	大垣市	机 イス 下駄箱 下駄箱 オープン棚 ロッカー	30 120 2 7 4 2	3,288,492	1,642,000
11	揖斐川町	揖斐川町子育て支援センター☆	揖斐川町	台形テーブル 木製棚	6 1	498,960	400,000

12	揖斐郡養基小学校養基保育所組合	養基児童館☆	池田町	半円テーブル スタッキングチェア	4 8	399,600	399,600
13	池田町	池田町図書館☆	池田町	ロッカー 本棚 半円テーブル	1 1 2	179,280	179,280
14	社会福祉法人大野町社会福祉協議会	東保育園子育て支援センター すくすく☆	大野町	棚 サークル	4 2	399,924	399,924
15	社会福祉法人樹心会	豊木保育園子育て支援センター ももたろう☆	大野町	折り畳みテーブル 絵本展示棚 パーテーション ベビーチェア	4 2 2 5	549,720	400,000
16	関市	市内小学校	関市	机(天板)	617	7,579,845	3,789,000
17	関市	わかさぎ児童センター☆	関市	収納箱付木製枠	1	297,000	288,360
18	関市	むげがわ児童センター☆	関市	収納箱付木製枠	1	297,000	288,360
19	社会福祉法人楓福祉会	かえで保育園☆	美濃市	テーブルイス	8 32	544,320	272,000
20	社会福祉法人楓福祉会	かえで保育園 子育て支援センター	美濃市	床敷きパネル キャビネット	1 2	400,000	400,000
21	社会福祉法人牧谷会	牧谷保育園 子育て支援センター☆	美濃市	やぐらシェルフ	1	399,600	399,600
22	御嵩町	御嵩町子育て支援センター ぼっぼかん☆	御嵩町	木製机 木製棚	1 2	388,800	388,800
23	美濃加茂市	美濃加茂市中央図書館☆	美濃加茂市	作業台 本読み台 案内板	2 1 1	166,320	166,320
24	可児市	子育てサロン 絆一む☆	可児市	やぐらシェルフ	1	410,400	400,000
25	可児市	兼山児童館☆	可児市	据置型床フローリング キャスター付物入	1 1	375,840	375,840
26	川辺町	川辺町児童館☆	川辺町	おもちゃ箱 掲示板	2 1	397,440	397,440
27	多治見市	星ヶ台保育園	多治見市	園児用机 園児用イス 0歳児イス 給食配膳台	49 204 6 19	9,666,000	4,466,000
28	多治見市	笠原児童館内親子ひろば☆	多治見市	椅子 テーブル 箱型什器	4 2 1	423,760	397,840
29	社会福祉法人恵峰会	西保育園	中津川市	ロッカー	8	1,073,088	496,000
30	社会福祉法人恵峰会	めぐみ保育園	中津川市	ワゴン付収納棚	8	2,185,920	1,012,000
31	中津川市	市内小中学校	中津川市	机・椅子セット	470	12,182,400	6,091,000
32	中津川市	苗木公民館☆	中津川市	半長方形テーブル 半円形テーブル	2 1	497,340	400,000
33	特定非営利活動法人こぎつねくわーど	つどいの広場「こぎつねの森」☆	恵那市	本棚 キャビネット	10 1	400,000	400,000
34	高山市	市内小中学校	高山市	机・椅子セット	100	3,726,000	1,800,000
35	社会福祉法人三日町福祉会	清見保育園	高山市	ベンチ	2	70,200	35,000
計					1,895	52,957,753	28,767,244
県事務費						28,000	28,000
合計						52,985,753	28,795,244

☆：常設版木育ひろば設置施設

14-2 ぎふの木育教材導入支援事業(市町村・学校法人・社会福祉法人等補助)

No	事業主体	導入先施設の名称	施設所在市町村	教材種類	導入数	事業費(円)	森林・環境税(円)
1	岐阜市	岐阜市立中央図書館(ぎふメディアコスモス)☆	岐阜市	おもちゃ	14	103,680	92,880
2	岐阜市立精華中学校	岐阜市立精華中学校	岐阜市	キット	468	559,882	100,000
3	社会福祉法人和光会	加納西保育園	岐阜市	キット	35	98,500	45,602
4	社会福祉法人わかば会	若葉保育園	岐阜市	キット	21	10,500	5,250
5	学校法人那加学園	子苑第一幼稚園	各務原市	おもちゃ	5	100,000	46,296
6	学校法人那加学園	子苑第二幼稚園	各務原市	おもちゃ	40	99,360	46,000
7	学校法人杉山第三学園	うめま第一幼稚園	各務原市	キット	257	145,900	67,546
8	瑞穂市	瑞穂市図書館 分館☆	瑞穂市	キット	1	100,000	100,000
9	岐南町	岐南さくら南保育園、うれしの保育園、うれしの東保育園、北保育教育園、中保育教育園	岐南町	キット	209	519,156	259,578
10	岐南町立西小学校	岐南町立西小学校	岐南町	キット	40	20,000	10,000
11	社会福祉法人登豊会	うれしの東保育園	岐南町	キット	51	35,700	17,850
12	北方町	北方町新庁舎☆	北方町	おもちゃ	7	116,640	100,000
13	北方町	北方町立図書館☆	北方町	おもちゃ	70	99,792	99,792
14	大垣市立興文幼稚園	大垣市立興文幼稚園	大垣市	キット	28	19,600	9,800
15	大垣市立東幼稚園	大垣市立東幼稚園	大垣市	キット	23	11,500	5,750
16	神戸町	子育て支援センター	神戸町	キット	20	10,000	5,000
17	揖斐川町	揖斐川町子育て支援センター☆	揖斐川町	おもちゃ	4	98,496	98,496
18	社会福祉法人大野町社会福祉協議会	東保育園子育て支援センター すくすく☆	大野町	おもちゃ	1	99,900	99,900
19	社会福祉法人樹心会	豊木保育園☆	大野町	おもちゃ	12	226,152	100,000
20	揖斐郡養基小学校養基保育所組合	養基児童館☆	池田町	おもちゃ	3	100,000	100,000
21	池田町	池田町図書館☆	池田町	おもちゃ	10	56,680	55,840
22	関市	わかくさ児童センター☆	関市	おもちゃ	23	198,720	100,000
23	関市	むげがわ児童館☆	関市	おもちゃ	23	198,720	100,000
24	社会福祉法人愛育会	美濃保育園	美濃市	キット	76	200,000	100,000
25	社会福祉法人博愛福祉会	下牧保育園	美濃市	キット	6	230,000	100,000
26	社会福祉法人楓福祉会	かえて保育園☆	美濃市	おもちゃ	1	100,000	100,000
27	社会福祉法人牧谷会	牧谷保育園☆	美濃市	おもちゃ	24	100,440	100,000
28	美濃加茂市	美濃加茂市中央図書館☆	美濃加茂市	キット	13	83,808	83,808
29	可児市	子育てサロン 絆る一む☆	可児市	おもちゃ	26	99,576	99,576
30	可児市	兼山児童館☆	可児市	おもちゃ	15	104,112	100,000
31	社会福祉法人上米田福祉会	川辺町児童館☆	川辺町	おもちゃ	3	100,000	100,000
32	学校法人杉山第三学園	みたけ幼稚園	御嵩町	キット	116	68,400	31,666

33	多治見市	笠原児童館内親子ひろば☆	多治見市	おもちゃ	10	100,000	100,000
34	瑞浪市	瑞浪市立みどり幼稚園 瑞浪市立一色幼稚園	瑞浪市	おもちゃ	4	295,704	147,852
35	中津川市	苗木公民館☆	中津川市	おもちゃ	15	105,084	100,000
36	特定非営利活動法人こぎつねくわーど	つどいの広場「こぎつねの森」☆	恵那市	おもちゃ	1	100,000	100,000
37	高山市	東、西、南、北、山王、江名子、新宮、三枝、 花里、丹生川、清見、荘川、宮、久々野、朝 日、本郷、栃尾(計17小学校内留守家庭児	高山市	おもちゃ	17	596,700	298,350
合計		57施設			1,692	5,312,702	3,226,832

☆：常設版木育ひろば設置施設

15-1 木質バイオマス利用施設導入促進事業(市町村・学校法人・社会福祉法人等補助)

No	事業主体	導入先施設の名称	施設所在市町村	導入施設	導入台数	事業費(円)	森林・環境税(円)
1	NPO法人コミュニティ美山	キャンプ場	山田市	ペレットストーブ	1	383,616	191,000
2	(株)日本温浴研究会	恵みの湯	各務原市	薪ストーブ	1	1,168,453	500,000
3	郡上市	デイサービス	郡上市	薪ボイラー	1	49,572,000	15,200,918
4	ひるがの高原スキー場	スキー場	郡上市	ペレットストーブ	1	636,120	294,500
5	美濃加茂市	みのかも健康の森	美濃加茂市	薪ストーブ	1	1,370,520	685,260
6	丸山木材工業(株)	ショールーム	恵那市	薪ストーブ	1	1,662,000	500,000
7	(有)いさぢ	樽や	下呂市	ペレットストーブ	1	643,000	321,000
8	高山市	国府小学校、松倉中学校	高山市	ペレットストーブ	37	16,209,000	5,373,000
9	柏木工(株)	ショールーム	高山市	薪ストーブ	1	1,081,080	496,000
10	(株)インディゴ	キャンプ場	高山市	薪ストーブ	1	1,465,000	500,000
11	伊藤仁美	ゲストハウス	高山市	薪ストーブ	1	1,016,000	500,000
12	飛騨五木(株)	ショールーム	高山市	薪ストーブ	1	1,094,040	500,000
13	平川治	ペンション平川	高山市	薪ストーブ	1	410,000	189,000
14	ロイヤルパーツ(株)	ゲストハウス	高山市	ペレットストーブ	1	1,050,000	486,000
15	NPO法人活エネルギーアカデミー	NPO施設	高山市	薪ストーブ	1	2,700,000	1,250,000
16	森 玲子	ヒーリングサロン	高山市	ペレットストーブ	1	965,520	482,000
小計					52	81,426,349	27,468,678
県事務費						25,906	25,906
合計						81,452,255	27,494,584

15-2 県民協働による未利用材の搬出促進事業(市町村補助)

No	事業主体	間接補助事業者	実施市町村	林地残材搬出量(t)	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	大垣市	木の駅上石津実行委員会	大垣市	250.0	1,000,000	375,000
2	揖斐川町	いび森林資源活用センター協同組合	揖斐川町	103.9	600,000	150,000
3	関市	「木の駅」INつぼがわ活動組織 「木の駅」INいたどりがわ活動組織	関市	278.2	2,000,000	417,000
4	郡上市	白鳥町木の駅プロジェクト実行委員会 たかす木の駅会議 小川里山クラブ 口明方木の駅実行委員会	郡上市	253.3	1,658,000	375,000
5	白川町	東濃ひのき製品流通協同組合	白川町	250.7	875,000	375,000
6	恵那市	笠周地域木の駅実行委員会 やまおか木の駅実行委員会	恵那市	1,138.0	7,800,000	1,705,500
7	中津川市	つけち木の駅プロジェクト	中津川市	133.7	1,200,000	199,000
8	下呂市	中原西森林造成組合 大洞森林造成組合 山之口森林造成組合 黒石・川上森林造成組合 菅田森林造成組合	下呂市	125.1	875,000	187,500
9	高山市	笠原木材株式会社 NPO法人活エネルギーアカデミー NPO法人山と森お助け隊 飛騨五木製材所地域資源活用実行委員会	高山市	437.6	3,000,000	655,800
計				2,970.5	19,008,000	4,439,800
県事務費					52,949	52,949
合計					19,060,949	4,492,749

清流の国ぎふ森林・環境基金事業 平成27年度実績一覧

V 地域が主体となった環境保全活動の促進

16 清流の国ぎふ地域活動支援事業(団体・法人補助)

No	事業主体	事業の名称	活動場所	参加人数	事業費(円)	森林・環境税(円)
1	特定非営利活動法人長良川自然学校	長良川 川の学校事業	関市、郡上市	87	620,261	500,130
2	長良川流域子ども協議会	長良川流域の子どもたちの交流を目的とした森・川・海の体験活動事業	山県市、郡上市	137	1,294,810	488,310
3	特定非営利活動法人長良・自然とくらし楽校	森と川、人のつながりを考える流域体験活動事業	岐阜市、関市、揖斐川町	348	525,519	425,275
4	大洞シデコブシ保存会	大洞シデコブシ群落保全事業	岐阜市	137	201,616	166,041
5	森・川・海ひだみの流域連携協議会	森・川・海ひだみの流域活動と流域活動フォーラムの開催事業	飛騨市、岐阜市、三重県鳥羽市	125	361,092	309,392
6	特定非営利活動法人ぎふし森守クラブ	(木育)森林環境教育[第14回ドングリこま回し大会]事業	岐阜市	482	259,200	259,200
7	NPO法人生涯里山学習園	里山保全体験活動	岐阜市	149	505,329	449,329
8	ふれあい里山の会	三田洞小山地域周辺の里山保全・竹林再生事業	岐阜市	224	297,674	297,674
9	NPO法人竹林救援隊	竹林の間伐と放置竹林を無くすための啓発活動	岐阜市	553	285,071	244,973
10	カンチ安食の森実行委員会	「カンチ安食の森」里山プロジェクト事業	岐阜市	201	686,859	544,987
11	といろ	「木に触れて、木に学び、木と生きる」木育寺小屋	山県市	57	1,003,393	519,419
12	大桑の魅力PR会	森林内の登山を通じ歴史、生植物に触れ合う体験事業	山県市	65	244,710	235,520
13	山県楽しいプロジェクト	グリーンワークショップツアー IN 山県	山県市	55	409,128	409,128
14	特定非営利活動法人四国山を守る会	四国山香の森公園整備・植林・ふれあい体験事業	山県市	183	192,567	192,567
15	木曾三川子ども狂言クラブ	木曾三川子ども狂言「治山治水の巻」	海津市、中津川市、名古屋市	1,270	2,851,260	1,112,980
16	府中地区まちづくり協議会	「未来に繋ぐ自然体験学習の里」づくり	垂井町	1,157	753,804	594,500
17	特定非営利活動法人ピープルズコミュニティ	ぎふ地球環境塾の開催事業	安八町、海津市、大垣市、揖斐川町	672	2,009,721	507,043
18	雲上の桜 愛好会	池田町宝樹雲上の桜を未来に残そう、増やそう！！	池田町	126	139,170	139,170
19	山の駅ふくべ	「木育は森から始めよう」によるふくべの森活用事業	美濃市	160	495,210	495,210
20	特定非営利活動法人グリーンウッドワーク協会	伐って、使って、植える 広葉樹の森づくりとグリーンウッドワーク事業	美濃市	135	591,843	530,087
21	小那比いのころ会	小那比川里山環境再生事業	郡上市	80	430,488	430,320
22	岐阜森林愛護隊	郡上市「高平延年の森」整備事業	郡上市	147	245,652	245,652
23	みのかもアルプホルンクラブ	アルプホルンを吹こう	美濃加茂市	950	1,178,873	420,747
24	みの国民参加の森づくりをすすめる会	都市住民と協働の里山管理システム構築推進事業	富加町	494	708,990	517,223
25	木曾川左岸遊歩道友の会	木曾川左岸遊歩道等周辺整備事業	可児市	918	861,526	563,751
26	里山クラブ可児	環境保全林「我田の森」と耕作放棄再生棚田ピオトープ、池ピオトープの生物多様性を活用した親子体験環境リーダー育成、ぎふ証明材を使った社会人の管理棟家具作り体験講座事業	可児市	132	1,140,181	810,064
27	可茂森林組合	H27可茂南部100年の森づくりプロジェクト【エコ薪】でCO2削減せよ！	七宗町	105	1,029,665	727,827
28	特定非営利活動法人美濃白川どんぐり会	落葉樹林植林・育成、河川環境保全事業	白川町	123	928,548	714,274
29	白川の里山を守る会	・里山林の竹林整備と廃棄竹の活用事業	白川町	106	449,247	449,247
30	北山町ボランティア会ABCC	希少動植物の保護とそれに伴う水辺の公園整備活動	土岐市		578,360	531,740
31	小里川ダム里山教室	2015秋の小里川ダム湖周ウォーキング	瑞浪市	322	365,195	289,333
32	中津川シデコブシの会	シデコブシ自生地・群生地の環境整備事業	中津川市	349	492,620	492,620
33	特定非営利活動法人恵那山みどりの会	「森の学校はっばば」の活動拠点としての「なすの森」整備事業	中津川市	179	416,230	416,230
34	ひるかわ里山活性化委員会	里山活性化事業	中津川市	72	431,640	423,190
35	加子母むらづくり協議会	国指定天然記念物「加子母大杉」の周辺整備	中津川市	160	500,000	500,000
36	特定非営利活動法人里山を守る会武並	里山の再生、現存の池と滝の再現(余水対策工事、第3期活動事業)	恵那市	33	521,749	503,950
37	土岐川・庄内川源流森の健康診断実行委員会	土岐川・庄内川の源流の森の健康診断と森の学校、間伐材活用体験を通じた、市民参加による森づくり、地域づくりと上下流の人ともの交流	恵那市	477	423,833	423,833
38	南ひだグリーン・ツーリズム推進協議会	地域資源を活かした環境学習支援モデルの構築	下呂市	542	400,185	334,521
39	特定非営利活動法人森のなりわい研究所	森のユニバーサルデザインフィールド化へ向けての試行的取り組み	下呂市外	666	583,495	458,185

40	保養地の森を良くする会	美しく楽しい四美の森づくり事業	下呂市	100	319,095	319,095
41	二本木生産森林組合	飛騨高山「彦谷の里」里山活用と広葉樹林育成事業	高山市	442	550,800	505,000
42	ひだの未来の森づくりネットワーク	フリーマガジンと協働した森林に関わる情報発信活動	白川村	113	572,667	534,433
計				13,043	26,857,276	19,032,170
県事務費						248,065
合計					26,857,276	19,280,235

17 森と木と水の環境教育推進事業(県事業)

No	学校名	所在市町村	緑と水の子ども会議	木育教室	参加人数	事業費(円)	森林・環境税(円)
1	学校法人上楽学園ながもり第二幼稚園	岐阜市	-	○		6,626,957	6,626,957
2	学校法人上楽学園長森幼稚園	岐阜市	-	○			
3	加納西保育園	岐阜市	-	○			
4	社会福祉法人 わかば会若葉保育園	岐阜市	-	○			
5	大垣市立興文幼稚園	大垣市	-	○			
6	大垣市立東幼稚園	大垣市	-	○			
7	高山市子育て支援センター	高山市	-	○			
8	高山市立城山保育園	高山市	-	○			
9	脇之島児童センター	多治見市	-	○			
10	板取めばえ保育園	関市	-	○			
11	関市立西部保育園	関市	-	○			
12	社会福祉法人 恵峰会西保育園	中津川市	-	○			
13	社会福祉法人 恵峰会めぐみ保育園	中津川市	-	○			
14	中津川市坂本ふれあい施設	中津川市	-	○			
15	中津川市児童センター	中津川市	-	○			
16	のぞみ保育園	中津川市	-	○			
17	学校法人杉山第三学園うめま第一幼稚園	各務原市	-	○			
18	社会福祉法人小松河福祉会前宮保育所	各務原市	-	○			
19	幼児教育センターみなみ園	郡上市	-	○			
20	岐南町立北保教育園	岐南町	-	○			
21	岐南町立中保教育園	岐南町	-	○			
22	社会福祉法人 登豊会うれしの東保育園	岐南町	-	○			
23	社会福祉法人 登豊会うれしの保育園	岐南町	-	○			
24	社会福祉法人 豊誠会岐南さくら南保育園	岐南町	-	○			
25	垂井町立垂井西保育園	垂井町	-	○			
26	垂井町立垂井幼稚園	垂井町	-	○			
27	垂井町立宮代保育園・幼稚園	垂井町	-	○			
28	神戸町子育て支援センター	神戸町	-	○			
29	自然育児 こどもの庭	八百津町	-	○			
30	学校法人杉山第三学園みたけ幼稚園	御嵩町	-	○			
幼稚園・保育園等		小計	0	30			
31	岐阜市立加納小学校	岐阜市	○				
32	岐阜市立白山小学校	岐阜市	○				
33	大垣市立川並小学校	大垣市	○				
34	高山市立宮小学校	高山市	○				
35	高山市立栢尾小学校	高山市	○				
36	多治見市立市之倉小学校	多治見市	○				
37	関市立瀬尻小学校	関市	○				
38	関市立倉知小学校	関市	○				
39	関市立博愛小学校	関市	○				
40	関市立板取小学校	関市	○				
41	関市立武儀西小学校	関市	○				
42	関市立武儀東小学校	関市	○	○			
43	中津川市立蛭川小学校	中津川市	○				
44	中津川市立付知南小学校	中津川市	○				

45	美濃市立牧谷小学校	美濃市	○		
46	瑞浪市立陶小学校	瑞浪市	○		
47	羽島市立正木小学校	羽島市	○		
48	恵那市立長島小学校	恵那市	○		
49	恵那市立東野小学校	恵那市	○		
50	恵那市立明智小学校	恵那市	○		
51	美濃加茂市立三和小学校	美濃加茂市	○		
52	美濃加茂市立山手小学校	美濃加茂市	○		
53	美濃加茂市立蜂屋小学校	美濃加茂市	○		
54	可児市立旭小学校	可児市	○		
55	可児市立南帷子小学校	可児市	○		
56	飛騨市立河合小学校	飛騨市	○		
57	飛騨市立宮川小学校	飛騨市	○		
58	本巣市立外山小学校	本巣市	○	○	
59	本巣市立土貴野小学校	本巣市	○		
60	郡上市立牛道小学校	郡上市	○		
61	郡上市立高鷲北小学校	郡上市	○		
62	郡上市立西和良小学校	郡上市	○		
63	郡上市立大和第一北小学校	郡上市	○		
64	郡上市立那留小学校	郡上市	○		
65	郡上市立八幡小学校	郡上市	○		
66	郡上市立和良小学校	郡上市	○		
67	下呂市立下原小学校	下呂市	○		
68	下呂市立上原小学校	下呂市	○		
69	下呂市立中原小学校	下呂市	○		
70	下呂市立萩原小学校	下呂市	○		
71	下呂市立尾崎小学校	下呂市	○		
72	岐南町立西小学校	岐南町		○	
73	笠松町立笠松小学校	笠松町	○		
74	養老町立広幡小学校	養老町	○		
75	養老町立上多度小学校	養老町	○		
76	養老町立養北小学校	養老町	○		
77	輪之内町立福東小学校	輪之内町	○		
78	揖斐川町立坂内小学校	揖斐川町	○		
79	揖斐川町立春日小学校	揖斐川町	○		
80	揖斐川町立小島小学校	揖斐川町	○		
81	揖斐川町立清水小学校	揖斐川町	○		
82	揖斐川町立大和小学校	揖斐川町	○		
83	揖斐川町立谷汲小学校	揖斐川町	○	○	
84	揖斐川町立北方小学校	揖斐川町	○		
85	揖斐川町立揖斐小学校	揖斐川町	○		
86	組合立養基小学校	池田町	○		
87	池田町立宮地小学校	池田町	○		
88	七宗町立神淵小学校	七宗町	○		
89	白川町立佐見小学校	白川町	○		
90	白川町立白川小学校	白川町	○		
91	御嵩町立伏見小学校	御嵩町	○		
	小学校	小計	60	4	0
92	関市立洞戸中学校	関市	○	—	
93	関市立板取中学校	関市	○	—	
94	中津川市立蛭川中学校	中津川市	○	—	
95	本巣市立本巣中学校	本巣市	○	—	
96	郡上市立郡上東中学校	郡上市	○	—	
97	揖斐川町立谷汲中学校	揖斐川町	○	—	
98	揖斐川町立北和中学校	揖斐川町	○	—	
99	揖斐川町立揖斐川中学校	揖斐川町	○	—	
100	白川町立黒川中学校	白川町	○	—	

101	白川町立佐見中学校	白川町	○	—			
中学校		小計	10	0	0		
102	岐阜県立岐山高等学校	岐阜市	○	—			
103	私立岐阜聖徳学園高等学校	岐阜市	○	—			
104	岐阜県立大垣東高等学校	大垣市	○	—			
105	岐阜県立飛騨高山高等学校	高山市	○	—			
106	岐阜県立 恵那農業高等学校	恵那市	○	—			
107	岐阜県立加茂農林高等学校	美濃加茂市	○	—			
108	岐阜県立大垣養老高等学校	養老町	○	—			
109	岐阜県立岐阜農林高等学校	北方町	○	—			
高等学校		小計	8	0	0		
110	岐阜県立岐阜本巣特別支援学校	岐阜市	○	—			
111	県立郡上特別支援学校	郡上市	○	—			
112	岐阜県立海津特別支援学校	海津市	○	—			
113	岐阜県立揖斐特別支援学校	揖斐川町	○	—			
特別支援学校等		小計	4	0	0		
合計			82	34	0		
ぎふ木育の普及活動(子育て世代を中心とした県民向け木育体験イベント等)の実施					0	1,566,100	1,566,100
常設版「ぎふ木育ひろば」の看板制作及び訪問研修の実施						958,284	958,284
					0	9,151,341	9,151,341

17-2 森と木と水の環境教育推進事業(市町村補助)

No	事業主体	実施学校名	実施内容	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	羽島市	正木小学校	葉っぱの行灯づくり	70,280	70,280
2	揖斐川町	揖斐小学校、北方小学校 小島小学校、谷汲中学校	マイ箸作り、紙すき体験、ツリークライミング、水源地の見学等	373,966	373,966
3	池田町	宮地小学校	マイ箸・マイスプーンづくり、自然観察、徳山ダム 見学等	121,900	121,900
4	関市	武儀西小学校、武儀東小学校 博愛小学校	分水嶺公園の見学、長良川源流域の見学、野鳥 の巣箱の設置、武儀川流域の見学等	221,047	221,047
5	美濃加茂市	蜂谷小学校 山手小学校	グリーンオリエンテーリング、ギフチョウが生息す る森の観察	393,552	290,400
6	可児市	南帷子小学校	木を使った遊び道具作りとそれを使った自然体験	298,549	298,549
7	中津川市	付知南小学校	地元の木材を利用したベンチの制作	103,620	103,620
合計		13校		1,582,914	1,479,762

17-3 清流の国ぎふ森のおもちゃ美術館2015開催事業(県事業)

No	実施内容	参加人数 (人)	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	都市部住民の親・子・孫の三世を対象とした、木のおもちゃで遊び木に触れ合うイベント 開催日:10/8~10(3日間)、開催場所:ぎふ清流文化プラザ(岐阜市学園町)	2150	2,134,240	2,134,240
合計			2,134,240	2,134,240

18-1 森から生まれる環境価値普及促進事業(県事業)

No	実施内容		事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	清流の国ぎふJ-VERの県内外への普及啓発・販売促進:J-VER活用相談窓口の開設、企業等への訪問PR、県内外イベントのブース出展、研修ツアーの開催等		2,905,200	2,905,200
県事務費			175,308	175,308
合計			3,080,508	3,080,508

18-2 森から生まれる環境価値普及促進事業(市町村・団体等補助)

No	実施内容		事業費 (円)	森林・環境税 (円)	
1	大垣市バレーボール協会	大垣市 カーボン・オフセットイベントの開催	イベント「第6回水の都杯9人制女子バレーボール選抜優勝大会」開催に伴うCO2排出量のカーボン・オフセット	289,440	144,000
2	一般社団法人相続安心支援センター	大垣市 カーボン・オフセットイベントの開催	イベント「せいのういきき終活フェア2015」開催に伴うCO2排出量のカーボン・オフセット	504,394	200,000
合計			793,834	344,000	

19-1 エコツーリズム促進事業(県事業)

No	実施内容	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	エコツーリズム連携会議の開催(開催期日:平成28年1月14日(木))	315,206	315,206
2	エコツーリズム経営セミナーの開催(開催期日:平成27年8月27日(木)、平成28年2月18日(木))	166,235	166,235
3	エコツアーPR事業(アウトドアショップ等でのPRイベント開催)	1,384,811	1,384,811
4	エコツーリズム推進拠点づくり事業(白山地域エコツーリズム推進意見交換会の開催:平成28年2月10日(水))	127,519	127,519
合計		1,993,771	1,993,771

19-2 エコツーリズム促進事業(市町村・団体等補助)

No	事業主体	所在地	実施内容	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	特定非営利法人 飛騨市・白川郷自然案内協会	飛騨市	・地域資源の調査 ・エコツアーの企画 ・ガイドの育成 等	367,105	367,105
2	有限会社 中尾温泉	高山市	・推進体制やネットワークの強化 ・地域資源の整備 ・エコツアーの企画 等	1,219,781	1,219,781
3	一般社団法人 中津川観光協会	中津川市	・地域資源等の整備 ・ガイドンス及びプログラムの作成 ・ガイドの育成 等	1,223,153	1,223,153
4	石徹白地区地域づくり協議会	郡上市	・地域資源の調査 ・地域資源の整備 ・パンフレット及びホームページの作成 等	1,340,210	1,340,210
5	特定非営利活動法人 白川郷自然共生フォーラム	白川村	・ガイドの育成	1,127,505	1,127,505
合計				5,277,754	5,277,754

20-1 生物多様性に配慮した地域づくりの普及推進事業

(地域セミナーの開催)

No	開催日	行事名	開催場所	参加人数	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	7月15日(火)	「ストップ外来生物」シンポジウム	岐阜県図書館	81	187,498	187,498
合計				81	187,498	187,498

20-2 清流の国ぎふ森林・環境税事業推進事業(県事業)

No	開催日	行事名	開催場所等	人数等	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	7月8日(水)	第1回清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価委員会開催	岐阜県庁	8	12,024,118	12,024,118
2	7月中旬	県内全小学校全生徒へ配布のタブロイド紙「まなびのトビラ」紙上での特集記事	県内全小学校	120,000		
3	4月1日(月)～7月31日(金)	平成26年度森林・環境税ホームページページアクセス数	県ホームページ	68,004		
4	8月1日(日)	ぎふ山の日フェスタで森林・環境税 PRブース	JR岐阜駅周辺	3000		
5	8月～12月	マスメディアを活用した水源林保全キャンペーン		-		
6	9月～10月	県政モニターアンケート調査(森林・環境税認知度等調査)		573		
7	9月上旬	H26年度森林・環境税実施報告書(概要版)の作成・配布	県内各所	8,000		
8	10月上旬	全国育樹祭特集記事「森林・環境税」シリーズ 全6回	岐阜新聞・中日新聞	-		
9	10月11日(日)	第39回全国育樹祭で森林・環境税 PRブース	谷汲緑地公園			
10	10月24,25日	森と木とのふれあいフェアで森林・環境税 PRブース	県庁前公園			
12	10月下旬	平成26年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業成果報告書の作成・配布	市町村、県機関等	400		
13	12月22日(火)	第2回清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価委員会開催	岐阜県庁	7		
14	2月17日(水)	第3回清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価委員会開催	岐阜県庁	9		
15	3月5日(土)	「第4回緑豊かな清流の国ぎふづくり県民フォーラム」(森林・環境税関連事業)	ソフトピアジャパンセンター	153		
合計				200,154		

清流の国ぎふ森林・環境基金事業 平成27年度実績一覧

I～V共通 市町村が提案する事業への助成

2.1 清流の国ぎふ市町村提案事業(市町村補助)

No	事業主体	事業の名称	実施場所	内容	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
1	岐阜市	童話の森周辺再整備事業	ながら川ふれあいの森	ウッドチップ舗装、木製ベンチ、木製看板の設置、森林整備体験の実施	4,093,184	4,093,184
2	羽島市	羽島市運動公園園路広場整備事業	羽島市運動公園内	公園内歩道の木質舗装、東屋の設置	7,344,000	3,142,640
3	羽島市	県産材使用木製遊具設置事業(堀津保育園)	羽島市内(堀津保育園)	木製遊具の導入	6,421,680	3,014,000
4	各務原市	住宅団地周辺の里山林修復安全事業	各務原市内	里山林斜面における危険・不要木の除伐剪定	3,888,000	3,888,000
5	各務原市	アルゼンチンアリ防除対策事業	各務原市内	特定外来生物アルゼンチンアリの防除	752,050	752,050
6	各務原市	「ふれあいバス」バス停整備事業	各務原市民球場	既存木質バス停の修繕、屋根付きバス停の新設	1,812,240	815,400
7	山県市	住民参加の里山整備事業	山県市内	住民参加の里山整備(除間伐、パターゾーン整備、山ツツジ植栽、住民への整備講習会)の実施	2,085,480	2,002,320
8	山県市	ギフチョウ生息地域調査事業	山県市内	ギフチョウ保護のための生息状況調査	617,585	617,585
9	本巣市	淡墨公園周辺森林整備事業	淡墨公園周辺	展望広場舗装、歩道改修及び擬木製手摺の新設、森林整備	4,422,600	3,860,000
10	北方町	北方町新庁舎整備に伴う木製家具導入事業	北方町庁舎	住民交流スペース、待合スペース、カウンター等への県産材家具の導入	10,453,320	4,500,000
11	北方町	住民との協働による糸貫川環境保全プロジェクト事業	北方町内糸貫川流域	住民と協働した糸貫川の環境保全のための取組、体制整備	4,296,995	4,296,995
12	大垣市	森林の大切さを学ぶ林業・木育体験交流事業	大垣駅通り	パネルや林産物の展示、木育体験講座の実施	591,671	591,671
13	垂井町	垂井町内の福祉複合施設整備に伴う県産材家具導入事業	垂井町内	木製テーブル・椅子の導入と内覧会の開催	11,422,080	4,500,000
14	安八町	外来生物駆除実施地区助成事業	安八町内	ジャンボタニシ駆除による水稲被害抑制と生物多様性保全の普及啓発	841,649	767,243
15	安八町	消防団詰所整備事業	安八町役場敷地内	消防詰所の改修に伴う内装木質化	6,696,000	1,407,000
16	揖斐川町	揖斐川上流に実のなる木を植えよう大作戦(徳山ダム上流)	徳山ダム上流	植樹活動や施肥などの保育活動の実施	927,020	927,020
17	揖斐川町	つなごう！森と海そしてわたしを～いびがわキッズ探検隊2015～	揖斐川町内「ふじはし星の家」	ふじはし星の家での宿泊体験、海辺の自然の家でのシュノーケリング体験	636,636	615,480
18	池田町	大津谷登山道整備事業	池田町願成寺地内	支障木伐採、倒木処理、人力切土、基面整正、ベンチ据付など	4,999,320	4,500,000
19	大野町	住民協働による清流保全活動促進事業	大野町全域	印刷委託費	446,040	446,040
20	大野町	散策道木柵整備事業	大野町内	住民参加による木柵整備	2,236,500	1,939,945
21	美濃市	美濃市木育推進事業	木育ひろば8か所、美濃市保健センター、森林文化アカデミー	保育園での木育ひろばの開設、1歳児への木のおもちゃのプレゼント、プレーパークの設置	5,260,000	4,001,000
22	美濃市	美濃市里山の恵み推進事業	美濃市吉川町、片知板山、西市場地内	里山遊びや薪づくりイベントの開催、土地の木の苗木の植栽	2,080,140	2,080,140
23	郡上市	里山林現地研修事業	郡上市内	里山林の見学会、講習会、交流会の実施	460,793	460,793
24	美濃加茂市	生物多様性地域連携促進事業	美濃加茂市、加茂郡町村	加茂圏域7市町村が連携した生物多様性保全の取組	4,957,839	3,958,670
25	美濃加茂市	みのかも里山整備体験ツアー	美濃加茂市山之上町地内	大人向け講座、及び子ども向け講座の実施	2,451,423	2,385,800
26	可児市	里山を楽しもう・可児市から	可児市内、花フェスタ記念公園	記念植樹、スタンプラリー、親子木工教室、ジビエの提供、林業機械の展示と実演	2,144,036	1,620,000
27	可児市	特定外来生物(オオキンケイギク)防除事業	可児市内全域	特定外来生物オオキンケイギクの防除	1,149,956	1,149,956
28	可児市	緑の資源のネットワークづくり	我田の森ほか	「里山案内人」育成講座の開催、フォローアップ講座の開催	591,880	591,880
29	坂祝町	アルゼンチンアリ防除対策事業	坂祝町内	特定外来生物アルゼンチンアリの防除	557,274	557,274
30	富加町	歴史と里山活用広場整備事業	富加町夕田	遊歩道に休憩広場を造成し、木製柵や看板、ベンチの設置	2,274,474	2,274,474
31	八百津町	源流を巡る森づくり事業 3期	古山神、碓洞、瀬ヶ平	傷害木除去、遊歩道整備、チップ敷設、松山の地表掻き起し	2,789,316	2,696,446
32	白川町	雑木林利活用講座	町有林「笹平どんぐりの森」	技術講習会、意見交換会、安全講習会の開催	1,069,313	1,069,313
33	白川町	水源の森づくり川上・川下交流事業	三川笹平高原グラウンド及び白川町町有林「笹平どんぐりの森」	三重県漁連との森林整備活動交流、美濃白川山の日のつどい開催	1,060,000	1,060,000
34	御嵩町	町民参加による環境モデル林整備事業	御嵩地内北山町有林	ボランティアによるナラ枯れ除去、遊歩道沿いへの植林、苗木の育成	3,528,701	3,528,701
35	多治見市	貴重な地域固有の植物が生息する里山を守り・育てる事業	多治見市内	希少植物(シデコブシ、ハナノキ)の保全と自然観察等への活用	1,707,722	1,707,722
36	多治見市	多治見市火葬場木製家具導入事業	多治見市内	県産材を使用したテーブル、椅子の導入	9,633,600	4,500,000

No	事業主体	事業の名称	実施場所	内容	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
37	多治見市	たじみエコカレッジ運営事業	多治見市内	市民向け環境講座の開催	927,219	927,219
38	瑞浪市	瑞浪市生物多様性保全事業(黒の田湿地環境調査事業)	瑞浪市(黒の田湿地)	黒の田湿地の環境・生態系調査	3,240,000	3,240,000
39	中津川市	シデコブシ等重要自生地保全事業	中津川市内	希少植物(シデコブシ・ハナノキ・ヒトツバタゴ)の重要自生地の保全対策	1,660,950	1,660,950
40	中津川市	特定外来生物の分布調査及び駆除活動推進事業	中津川市内全域	特定外来生物(オオキンケイギク等)の分布調査と駆除活動	3,351,316	3,351,316
41	中津川市	自然共生地域づくり推進事業	中津川市内全域	地域住民が主体となった自然共生地域づくりの各施策の展開	4,182,315	4,182,315
42	中津川市	中津川市森林文化伝承・森の恵み保全事業	加子母地域 明治座及びその周辺	フォーラムの開催、明治座見学会及び地歌舞伎の開催、お手撒き苗への記念育樹	2,183,229	2,183,229
43	恵那市	恵那市里山林整備・森林環境教育講座事業	恵那市内	山しごと手習い塾3回、市内小学生を対象とした体験活動3回	1,506,340	1,506,340
44	下呂市	「ありがとう 未来へつなげ 森のめぐみ」推進事業	市内、萩原町四美皇樹の社	散策路整備3,300m、広葉樹植栽1,000本、木製ベンチ50基	4,479,485	3,396,934
45	高山市	「森林・林業・環境機械展示実演会」における地元産間伐材利用ベンチ設置	高山市内	木製ベンチ41基	1,992,600	996,300
46	高山市	ひだ位山巨樹・巨木林観察会	一ノ宮町内モンデウス飛驒位山スノーパーク	ツアー実施、記念冊子作成、案内人の事前研修	500,000	500,000
47	高山市	五色ヶ原・乗鞍周辺生態系調査事業	高山市	登山道整備に向けた市民参加型生態系調査の実施	972,000	972,000
48	飛驒市	生物多様性保全対策事業	飛驒市内	特定外来生物(オオキンケイギク等)の防除	3,527,545	3,527,545
計					145,223,516	106,762,890
県事務費						60,088
合計					145,223,516	106,822,978

清流の国ぎふ森林・環境税条例

平成二十三年岐阜県条例第四十五号
改正平成二十四年岐阜県条例第七号

(趣旨等)

- 第一条** この条例は、全ての県民がその恩恵を享受している森林及び河川の有する県土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の確保その他の公益的機能の重要性に鑑み、その公益的機能の維持増進を図るための事業に必要な財源を確保するため、清流の国ぎふ森林・環境税として、岐阜県税条例（昭和二十五年岐阜県条例第二十二号。以下「県税条例」という。）に定める県民税の均等割の税率の特例を定めるものとする。
- 2 県民税の均等割のうち、次条及び第三条の規定により加算した額に係るものを「清流の国ぎふ森林・環境税」と称する。

(個人の県民税の均等割の税率の特例)

- 第二条** 平成二十四年度から平成二十八年度までの各年度分の個人の県民税の均等割の税率は、県税条例第二十四条の規定にかかわらず、同条に定める額に千円を加算した額とする。

(法人の県民税の均等割の税率の特例)

- 第三条** 平成二十四年四月一日から平成二十九年三月三十一日までの間に開始する各事業年度若しくは各連結事業年度又は地方税法（昭和二十五年法律第二百二十六号）第五十二条第二項第四号の期間に係る法人の県民税の均等割の税率は、県税条例第三十二条第一項の規定にかかわらず、同項の表の上欄に掲げる法人の区分に応じ、それぞれ当該下欄に定める額に、当該額に百分の十を乗じて得た額を加算した額とする。
- 2 前項の規定の適用がある場合における県税条例第三十二条第二項の規定の適用については、同項中「前項」とあるのは、「清流の国ぎふ森林・環境税条例（平成二十三年岐阜県条例第四十五号）第三条第一項」とする。

(基金への積立て)

- 第四条** 知事は、清流の国ぎふ森林・環境税に係る収納額に相当する額から清流の国ぎふ森林・環境税の賦課徴収に要する費用の額を控除して得た額を、清流の国ぎふ森林・環境基金（清流の国ぎふ森林・環境基金条例（平成二十三年岐阜県条例第五十一号）に基づく清流の国ぎふ森林・環境基金をいう。）に積み立てるものとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成二十四年四月一日から施行する。
(県税条例附則第五条の二の規定の適用がある場合における個人の県民税の均等割の税率の特例)
- 2 県税条例附則第五条の二の規定の適用がある場合においては、第二条中「第二十四条」とあるのは、「附則第五条の二」とする。

清流の国ぎふ森林・環境基金条例

平成二十三年岐阜県条例第五十一号

(設置)

第一条 森林及び河川の有する県土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の確保その他の公益的機能の維持増進を図るための事業に要する資金に充てるため、清流の国ぎふ森林・環境基金（以下「基金」という。）を設置する。

(積立て)

第二条 基金として積み立てる額は、次に掲げる額の合計額として一般会計歳入歳出予算で定める額とする。

- 一 清流の国ぎふ森林・環境税条例（平成二十三年岐阜県条例第四十五号）第四条の規定により基金に積み立てるものとされている額
- 二 前条に定める基金の設置の目的のために寄附された寄附金の額

(管理)

第三条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

- 2 基金に属する現金は、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。

(運用益の処理)

第四条 基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、基金に編入するものとする。

(繰替運用)

第五条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。

(目的外の取崩し)

第六条 知事は、基金に属する現金を預貯金等（預金保険法（昭和四十六年法律第三十四号）第二条第二項に規定する預金等及び農水産業協同組合貯金保険法（昭和四十八年法律第五十三号）第二条第二項に規定する貯金等をいう。以下同じ。）として金融機関に預入れし、又は信託している場合において、当該金融機関に係る保険事故（預金保険法第四十九条第二項各号に掲げる保険事故及び農水産業協同組合貯金保険法第四十九条第二項各号に掲げる保険事故をいう。）が発生したときは、当該金融機関に対する債務（借入金に係る債務及び保証契約に基づく債務をいう。）と当該預貯金等に係る債権を相殺するため、基金を取り崩すことができる。

(委任)

第七条 この条例に定めるもののほか、基金に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、平成二十四年四月一日から施行する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会規則をここに公布する。

平成二十五年四月一日

岐阜県知事 古田 肇

岐阜県規則第六十二号

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会規則

(趣旨)

第一条 この規則は、岐阜県附属機関設置条例（平成二十五年岐阜県条例第一号）第二条の規定に基づき、清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第二条 審議会は、次の事項を調査審議する。

- 一 清流の国ぎふ森林・環境基金条例（平成二十三年岐阜県条例第五十一号）に基づく清流の国ぎふ森林・環境基金を財源とする事業（以下「基金事業」という。）の実施後の評価
- 二 基金事業についての提言
- 三 その他基金事業に関する事項

(組織)

第三条 審議会は、委員十人以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者その他知事が適当と認める者のうちから、知事が任命する。

(委員の任期)

第四条 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長)

第五条 審議会に会長を置き、委員のうちから互選する。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第六条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところ

るによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を述べさせることができる。

(庶務)

第七条 審議会の庶務は、林政部恵みの森づくり推進課において処理する。

(委任)

第八条 この規則に定めるもののほか、審議会の組織及び運営について必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

平成28年7月1日現在

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会 委員名簿

[任期:平成27年4月1日～平成29年3月31日]

(50音順 敬称略)

氏名	所属・役職等	備考
かさい ひろまさ 笠井 博政	株式会社OKB総研 調査部 副部長	
こみやま あきら 小見山 章	国立大学法人岐阜大学 応用生物科学部 教授	
すずき まこと 鈴木 誠	愛知大学 地域政策学部 教授	
たかぎ あきよし 高木 朗義	国立大学法人岐阜大学 工学部 教授	
たけなか まさこ 竹中 昌子	財団法人岐阜県地域女性団体協議会 会長	
とくち なおこ 徳地 直子	国立大学法人京都大学 フィールド研究センター 教授	
ところ ひろし 所 洋士	公認会計士	
もりかわ ゆきえ 森川 幸江	弁護士	
やまおか のりこ 山岡 典子	長良川温泉若女将会 副会長	
9名		

* 徳地委員、山岡委員の任期は平成27年7月1日～平成29年3月31日



【問い合わせ先】

岐阜県 林政部 恵みの森づくり推進課
〒500-8570
岐阜市藪田南2-1-1
電話：058-272-8472（直通）
FAX：058-278-2702
E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp